SPEEDIA

プリンタ活用ガイド

プリンタの様々な機能をご活用いただくための手順をまとめました。
本書はN3600を例に説明しています。機種によって操作・設定方法が異なる部分は本文中に併記されていますので読み替えてご利用ください。

T-921P-9F
MA1010-G　2010年10月18日　第6版発行

目次

エコロジー編

セキュリティ編

知っていると便利な使い方編

ご 注 意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。

(2) 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
最新版の説明書が弊社ホームページからダウンロードできる場合がありますのでご活用ください。
http://casio.jp/ppr/
説明書の改訂に伴い、参照先のページがズレる場合があります。あらかじめご了承ください。

(3) プリンタ本体やプリンタドライバなどのソフトウェアは、機能アップのため変更する場合があります。このため、本書に記載の画面表示例や操作手順が実際の製品と異なる場合があります。

(4) 本書に掲載のWindows画面表示は、特に指定がない限りWindows XP環境で、N3600の画面を例に説明しています。OS環境やプリンタの機種により画面デザインは異なります。あらかじめご了承ください。

(5) 本書の手順はワードパッドから印刷する場合を例にしています。ご使用のアプリケーションによって、一部の手順が異なる場合があります。

(6) 「Microsoft」「Windows」は米国Microsoft corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。

(7) その他の社名、商品名およびソフトウェア名は、一般に各社の商標または登録商標です。

エコロジー編

この編では、用紙やトナーを節約して印刷する方法、節電モードをスケジュール化する方法などについて説明しています。

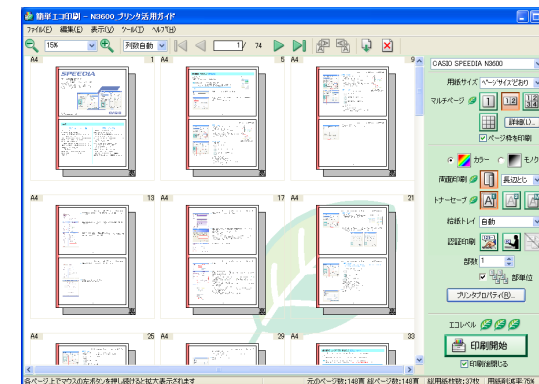
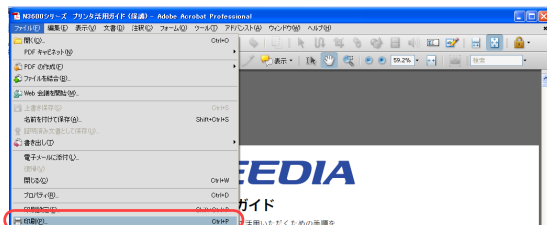
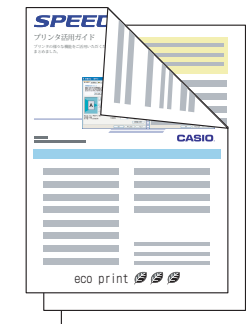
エコ印刷設定を簡単に変えたい［簡単エコ印刷］

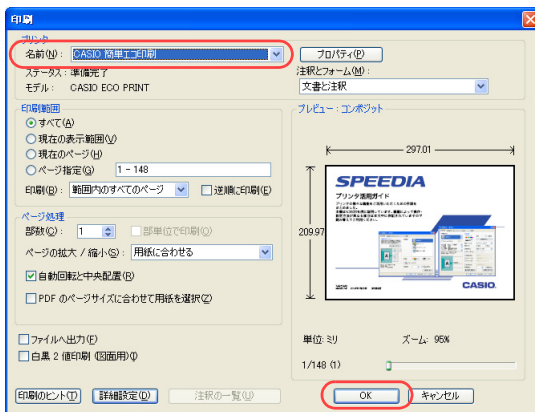
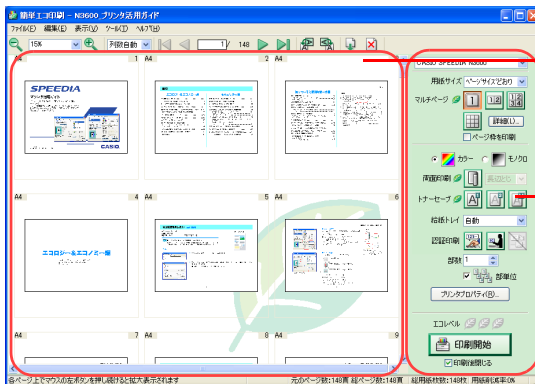
両面印刷やマルチページやトナーセーブなどのエコ印刷設定が、プレビューを確認しながら簡単に設定できますので、思いがけない設定ミスによるミスプリントが防止できます。プレビューを見ながらページの移動／削除／追加ができます。異なる形式の文書を１つにまとめて一括印刷できます。

●文書を印刷する際に「簡単エコ印刷」プリンタを選択して印刷します。

※「簡単エコ印刷」のインストール方法や詳しい操作方法の説明は ☞ 簡単エコ印刷ソフトウェアマニュアルマニュアルをご覧ください。

※ここでは、プリンタ活用ガイド（本書）を「簡単エコ印刷」で印刷する方法を例に説明します。

手順

1.「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「CASIO 簡単エコ印刷」プリンタを選択して「ＯＫ」ボタンをクリックします。

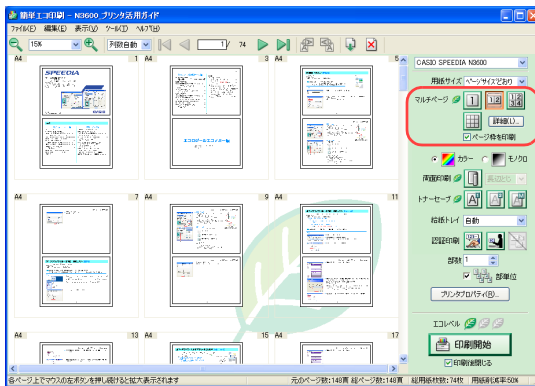
●インストール時に「簡単エコ印刷」を通常使うプリンタに設定できます。

3. しばらく待つと「簡単エコ印刷」編集画面が開きます。

ドキュメントビュー

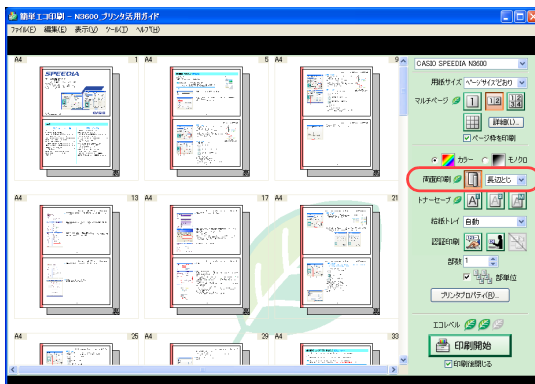
印刷結果がプレビュー表示されます。設定を変更すると、どのような印刷結果になるかを印刷する前に確認できます。

作業ウィンドウ

各種設定をクリックするだけで簡単に印刷設定を変更できます。

エコ印刷設定とエコレベル表示

マークが付いている「マルチページ」「両面印刷」「トナーセーブ」の３つがエコ印刷設定です。マルチページや両面印刷をすることにより用紙を節約したり、トナーセーブによりトナーを節約すると、「エコレベル」表示の マークが１つずつ増えていきます。

1. 「マルチページ」ボタンをクリックすると１枚の用紙に複数のページをレイアウトして印刷できます。

●図の例は１枚の用紙に２ページレイアウトしたものです。「詳細」ボタンをクリックして任意のページレイアウトも設定できます。

2. 「両面印刷」ボタンをクリックすると両面印刷できます。

●とじる位置が赤い帯で表示されます。図の例は「長辺とじ」を指定したものです。プルダウンメニューにより任意のとじ位置を設定できます。
●裏面を表示したいときは、左側のドキュメントビューの「裏」（グレーで表示されている部分）をクリックします。

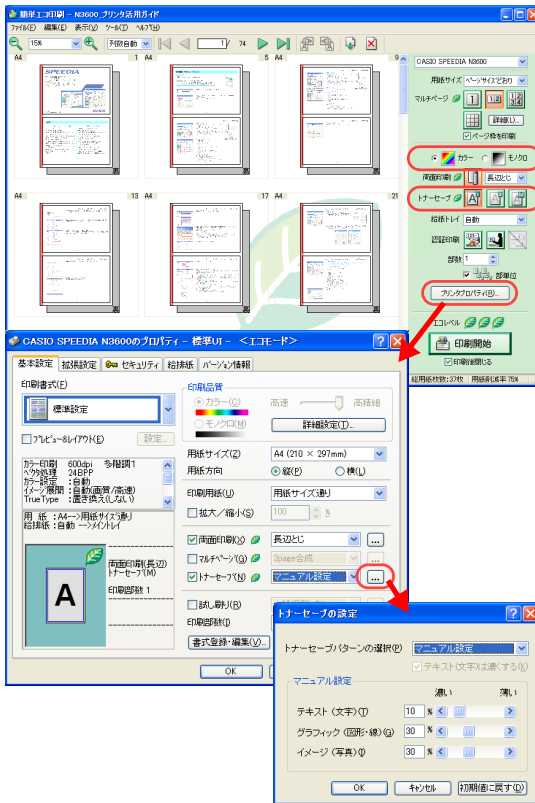
3. 「トナーセーブ」ボタンをクリックするとトナーを節約して印刷できます。

●図の例は「トナーセーブレベル１（トナーを約30%節約）」を指定したものです。その他に「トナーセーブレベル２（トナーを約50%節約）」「マニュアル設定」を指定できます。

●「モノクロ」をクリックすると、カラートナーを使用せずにグレースケールで印刷します。

トナーセーブ「マニュアル設定」について

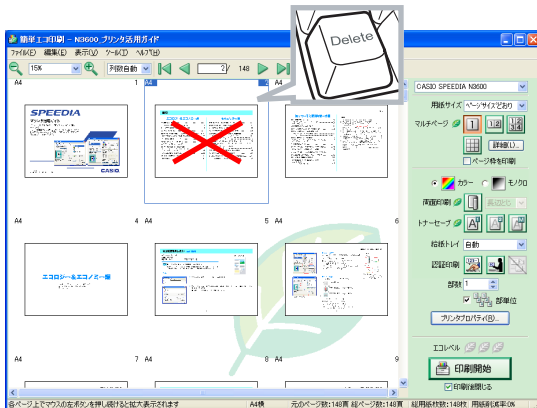
テキスト（文字）、グラフィック（図形・線）、イメージ（写真）ごとにトナーセーブ量を変えて印刷できます。「プリンタプロパティ」ボタンをクリックし、「トナーセーブ」の[...]ボタンをクリックすると「トナーセーブの設定」画面が表示されます。テキスト、グラフィック、イメージごとにトナーセーブ量の設定を変更してください。

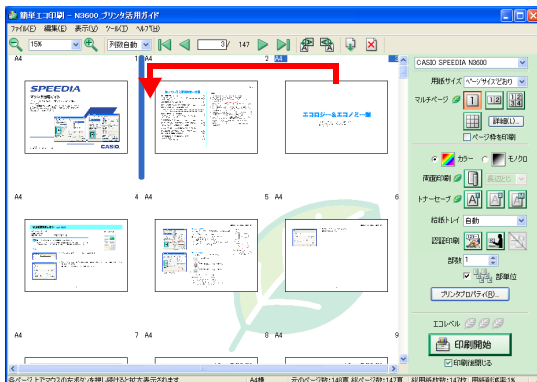
※「トナーセーブ」は使用するトナーの量を減らして印刷しますので色味が薄くなります。

ページレイアウトの変更方法

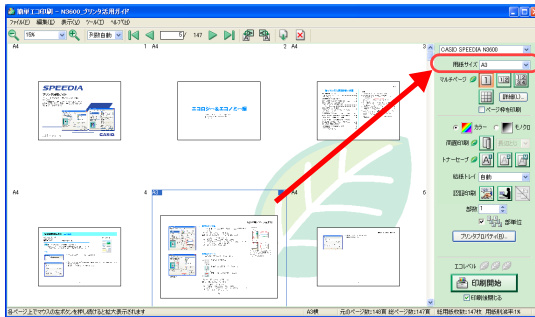
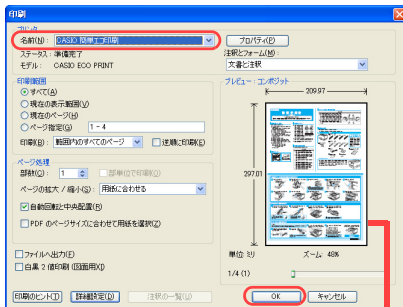
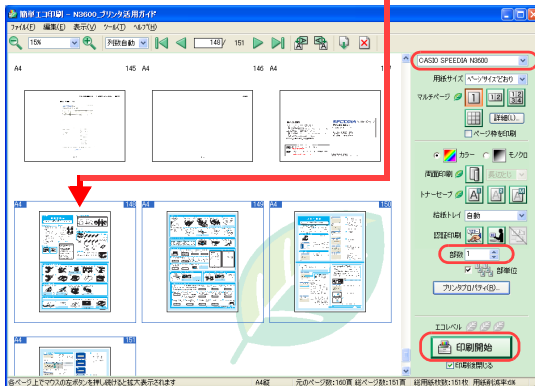
プレビューを見ながら、ページを削除したり、順番を入れ替えたり、別の文書からページを取り込んだりして、希望のレイアウト設定に組み直して印刷できます。

<ページの選択方法>

「Shift」キーや「Ctrl」キーやマウスのドラッグにより一度に複数のページを選択して、削除、移動、拡大／縮小などができますのでご活用ください。

- 選択したいページの上で左クリックすると１ページ選択できます。
- メニューバーの「編集」→「すべて選択」で全部のページを選択できます。
- 開始ページの上で左クリックし、終了ページの上で「Shift」キーを押しながら左クリックすると、連続した複数のページを選択できます。
- キーボードの「Ctrl」キーを押しながら選択したいページを順次左クリックすると任意のページを追加選択できます。
- ページの外（空白部分）で左クリックしたままマウスを移動すると四角い点線の枠ができます。この点線の枠がかかっているページが範囲選択できます。

1. 削除したいページを左クリックしてキーボードの「Delete」キーを押すと消えます。

●削除したいページを右クリックして「削除」を選択しても消えます。

2. 移動したいページを左クリックして移動先にドラッグ＆ドロップすると移動します。

●移動したいページを右クリックして「切り取り」を選択し、移動先ページを右クリックして「貼り付け」を選択しても移動できます。（移動先のページの後に「切り取り」したページが移動します。）

3. 拡大／縮小印刷したいページを選択して「用紙サイズ」を変更すると、用紙サイズに合わせて拡大／縮小印刷できます。

4. 追加したい別の文書を「CASIO　簡単エコ印刷」プリンタを選択して「印刷」すると末尾に追加されます。

5. 印刷する「プリンタ」を選択し、「部数」を指定して「印刷開始」ボタンをクリックすると印刷が始まります。

- 暗証番号認証印刷をクリックすると、あらかじめ指定した暗証番号をプリンタ操作パネルから入力しないと印刷を開始しないように設定できます。
  ※詳しくは ☞ **他の人に見られないように印刷したい［認証印刷（暗証番号認証）］（65ページ）**をご覧ください。
- ICカード認証印刷をクリックすると、あらかじめ登録したICカードをプリンタのICカードリーダに読み込ませないと印刷を開始しないように設定できます。
  ※詳しくは ☞ **他の人に見られないように印刷したい［認証印刷（ICカード認証）］（58ページ）**をご覧ください。

両面に印刷したい [両面印刷]

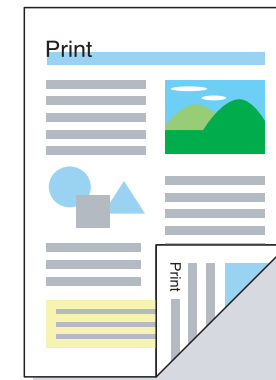
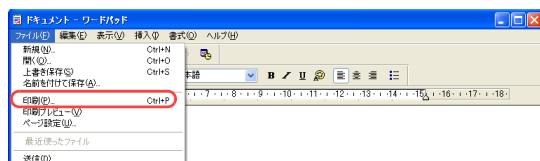
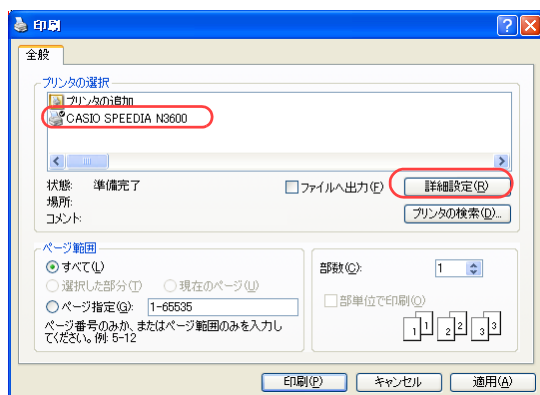
用紙の両面に印刷できます。

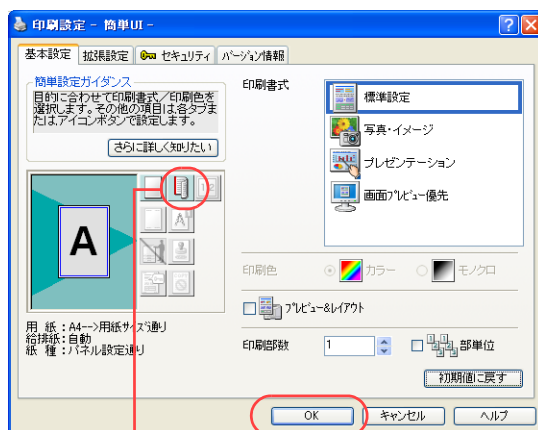
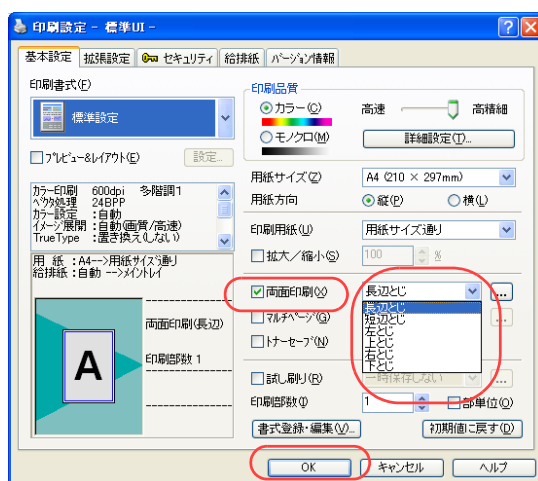
≪N6100の場合≫
両面印刷をするには、オプションの両面印刷装置が必要です。

用紙の両面に印刷

●プリンタのプロパティで「両面印刷」を設定します。

※ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。
他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

手 順

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

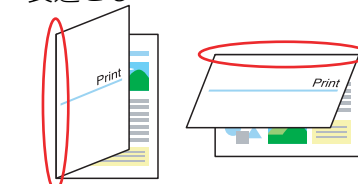
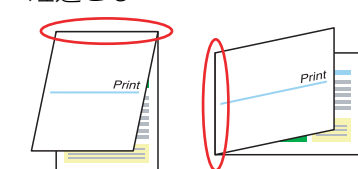
●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

両面印刷のアイコン

3. ■標準UIの場合

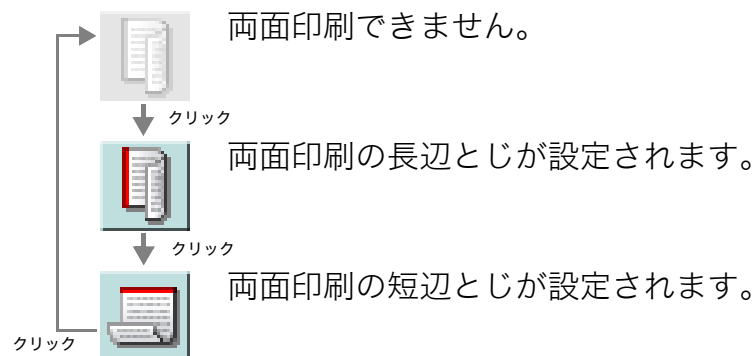
①「両面印刷」にチェックマークを付け、とじる方向を選択します。

②「OK」ボタンをクリックします。

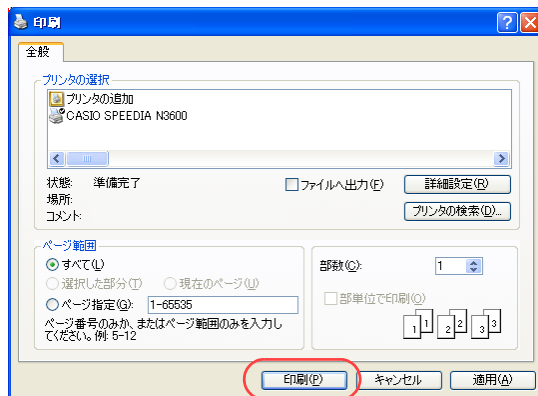
●綴じしろを設定する場合は、次の手順で操作します。

①「拡張設定」タブをクリックします。
②「綴じしろ」にチェックマークを付けます。
③「設定...」ボタンをクリックし、「綴じしろの設定」ダイアログボックスで綴じしろ量を設定します。
④「OK」ボタンをクリックします。

とじ方向には、上記のほかに左とじ、上とじ、右とじ、下とじがあります。詳しくはプリンタドライバのヘルプをご覧ください。

■簡単UIの場合

① 両面印刷のアイコンをクリックします。

②「OK」ボタンをクリックします。

●次の手順で設定することもできます。

①「拡張設定」タブをクリックします。
②「両面印刷」にチェックマークを付けます。
③「長辺とじ」または「短辺とじ」のどちらかをクリックします。
④「OK」ボタンをクリックします。

4. 「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。

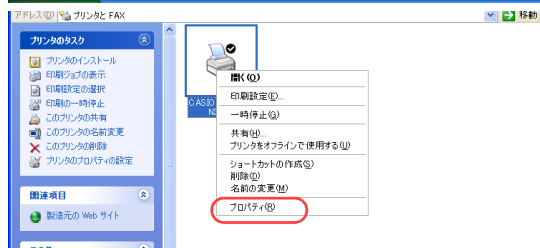
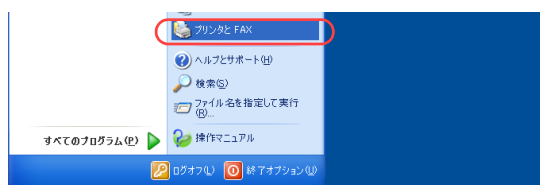
プリンタのデフォルトを両面印刷にしたい【両面印刷】

プリンタのデフォルトを変更し、常に両面印刷するように設定できます。

≪N6100の場合≫
両面印刷をするには、オプションの両面印刷装置が必要です。

●OSの「プリンタとFAX」フォルダから、プリンタドライバの設定を両面に設定します。

※この操作はアプリケーション側からは設定できません。必ずOSの「プリンタとFAX」フォルダから操作してください。

手順

1. 「スタート」メニューの「プリンタとFAX」を選択して「プリンタとFAX」フォルダを開きます。

●Windows 98/Me/2000の場合は、「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を開きます。

2. 「CASIO SPEEDIA N3600」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

3. 「印刷設定」ボタンをクリックします。

両面印刷のアイコン

4. ■標準UIの場合

①「両面印刷」にチェックマークを付け、とじる方向を選択します。

②「OK」ボタンをクリックします。

●綴じしろを設定する場合は、次の手順で操作します。

①「拡張設定」タブをクリックします。
②「綴じしろ」にチェックマークを付けます。
③「設定...」ボタンをクリックし、「綴じしろの設定」ダイアログボックスで綴じしろ量を設定します。
④「OK」ボタンをクリックします。

とじ方向には、上記のほかに左とじ、上とじ、右とじ、下とじがあります。詳しくはプリンタドライバのヘルプをご覧ください。

■簡単UIの場合

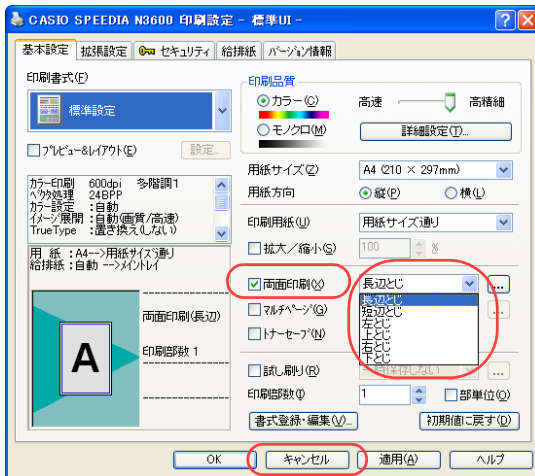
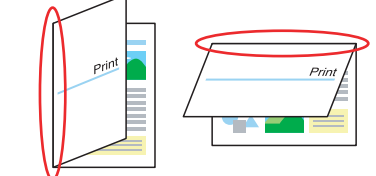
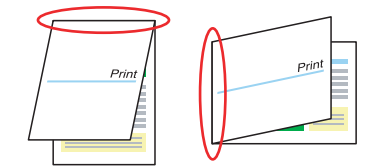
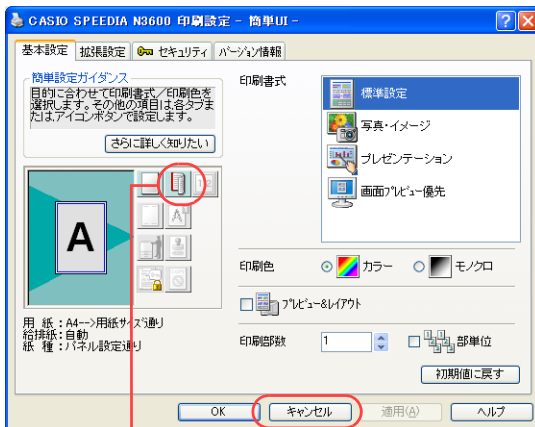
① 両面印刷のアイコンをクリックします。

両面印刷できません。

クリック

両面印刷の長辺とじが設定されます。

クリック

両面印刷の短辺とじが設定されます。

クリック

②「OK」ボタンをクリックします。

●次の手順で設定することもできます。

①「拡張設定」タブをクリックします。
②「両面印刷」にチェックマークを付けます。
③「長辺とじ」または「短辺とじ」のどちらかをクリックします。
④「OK」ボタンをクリックします。

5. 「OK」ボタンをクリックします。

●プリンタドライバのデフォルトが両面印刷に設定されます。

全ユーザのデフォルトを両面印刷にしたい [ドライバ連携]

プリンタドライバ連携を利用して、全ユーザのプリンタドライバのデフォルトを変更できます。

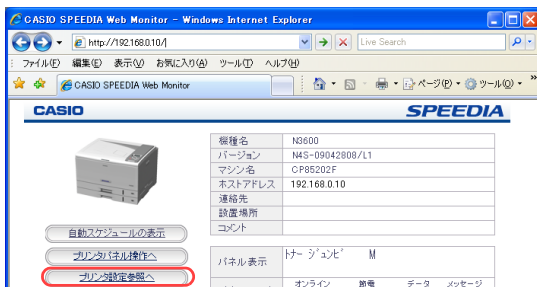
≪N6100の場合≫
両面印刷をするには、オプションの両面印刷装置が必要です。

※ 使用できるWebブラウザとOSは、次のとおりです。
Webブラウザ
・Microsoft Internet Explorer 6.0 ServicePack1以上
・Mozilla Firefox 1.5以上
OS
・Windows 98/Me/2000/XP/Server2003/Vista

※ 詳しくは ☞ ハードウェアマニュアル Web設定編をご覧ください。

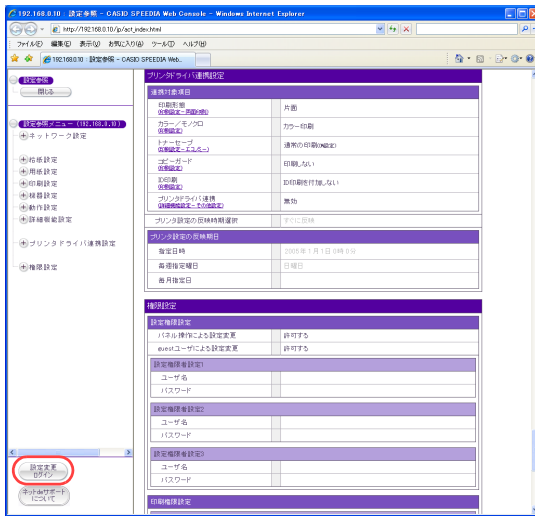
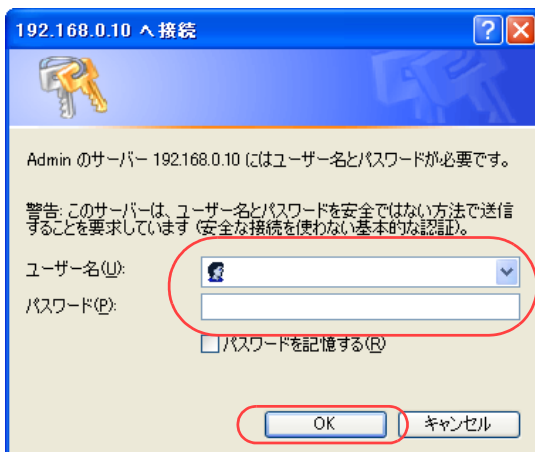
●Webブラウザから「印刷設定」を開き、「印刷形態」で「両面＊＊＊」を設定します。

手 順

（例） IPアドレスが192.168.0.10の場合

1. Webブラウザを起動します。

2. アドレス欄にプリンタのIPアドレスを入力します。
●プリンタに接続され、Top画面にプリンタの動作状態が表示されます。

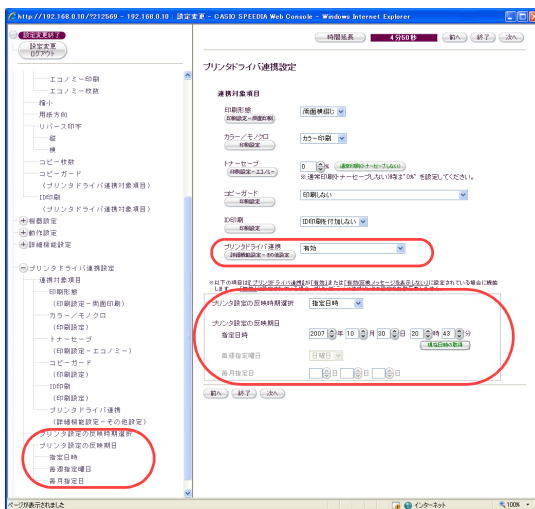
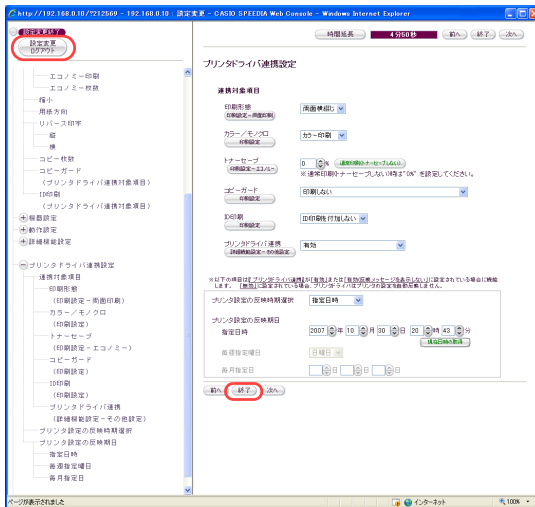
3. 「プリンタ設定参照へ」ボタンをクリックします。

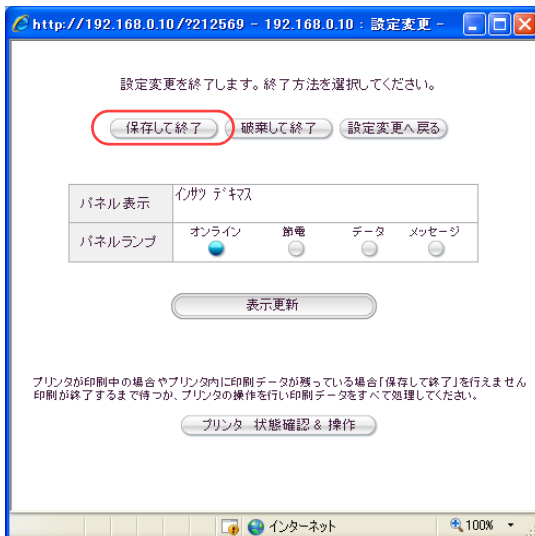
4. 「設定変更ログイン」ボタンをクリックします。

5. ログイン画面が表示された場合は、設定権限者登録で登録されているユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

●ログイン画面は、Webブラウザの起動後に１回だけ表示されます。
●工場出荷時デフォルトでは、次のように設定されています。
ユーザー名：guest
パスワード：（パスワードなし）
●工場出荷時の状態でお使いいただくと、プリンタへアクセスできる多くのユーザが設定変更を行うことができ、印刷結果に思わぬ影響を及ぼすことがあります。
設定権限者登録でプリンタの管理者を登録した後は、「guest」ユーザは設定変更ができないように、権限を変更しておくことをおすすめします。

6. 「印刷設定」の「＋」ボタンをクリックして、「両面印刷」をクリックします。

7. 「印刷形態」を「両面横綴じ」または「両面上綴じ」に、「自動片面」を「する」に設定します。

8. 日時を指定して全ユーザのプリンタドライバ設定を変更する場合は､「プリンタドライバ連携設定」の「＋」ボタンをクリックします。

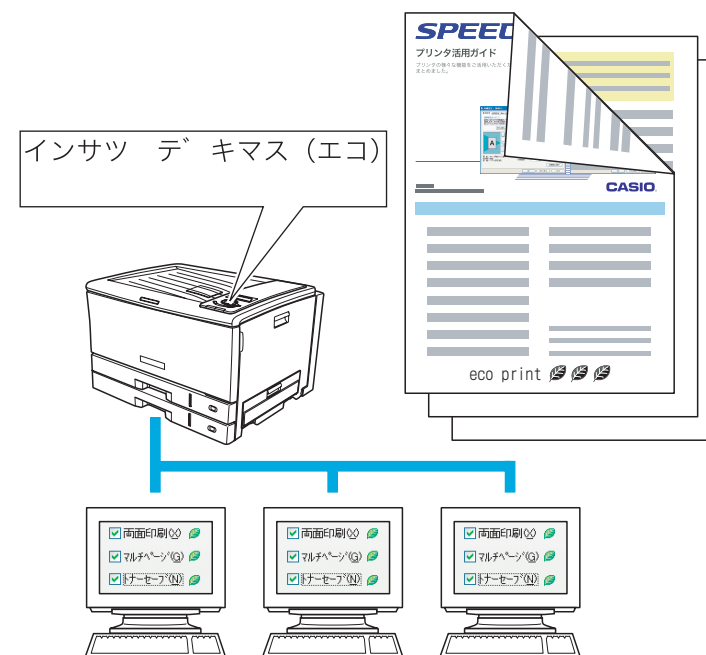
9. 「プリンタドライバ連携」を「有効」に設定します。
「プリンタ設定の反映時期選択」で「指定日時」を選択し、「プリンタ設定の反映期日」に設定を反映させたい日時を入力します。

10.「設定変更ログアウト」ボタンまたは「終了」ボタンをクリックします。

11.「保存して終了」ボタンをクリックします。

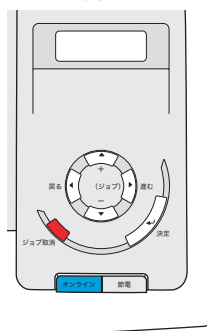
●変更した設定内容がプリンタに反映されます。

全ユーザのデフォルトをエコモードにしたい [一発エコモード]

一発エコモードを利用して、全ユーザのプリンタドライバのデフォルトをエコモード（両面印刷・マルチページ印刷・トナーセーブ）に設定できます。各ユーザが個別に設定する必要がなくなります。また、用紙の余白にエコロジーに配慮した印刷の度合いを示す マークを印刷できるようになります。

≪N6100の場合≫
オプションの両面印刷装置が取り付けられていない場合、両面印刷は使用（設定）できません。

※ 使用できるWebブラウザとOSは、次のとおりです。
Webブラウザ
・Microsoft Internet Explorer 6.0 ServicePack1以上
・Mozilla Firefox 1.5以上
OS
・Windows 98/Me/2000/XP/Server2003/Vista

※ 最新のプリンタ制御ソフト、プリンタドライバ、SPEEDIAマネージャが必要です。
詳しくはホームページをご覧ください。 http://casio.jp/support/ppr/download/

● 操作パネルの 節電 ボタンを４秒以上長押しすると全ユーザのプリンタドライバのデフォルトがエコモードになります。Web設定でもエコモードの切り替えや詳細設定を変更できます。

手 順

一発エコモード「OFF」

インサツ　デ゛キマス

節電 ボタン長押し

一発エコモード「ON」

インサツ　デ゛キマス（エコ）

■ 操作パネルによる方法

1. 節電 ボタンを４秒以上長押しすると、表示パネルが「インサツデキマス（エコ）」（一発エコモード）に変わります。

2. プリンタに接続しているすべてのコンピュータのプリンタドライバ設定が、あらかじめWeb設定で指定されたエコロジーに配慮した印刷設定に変更されます。

●「一発エコモード」の設定内容は以下の通りです。

両面印刷（とじる位置）	：両面印刷長辺とじ
自動片面（単独ページの取り扱い）	：する（単独ページを両面印刷しない）
トナーセーブパターン	：レベル１（約30%のトナーを節約）
テキスト（文字）の濃度	：濃くする
エコレベル印刷	：する

規定値はWeb設定の「一発エコモードの設定」で変更できます。詳しくは ☞ **8.一発エコモードの規定値を設定します。（24 ページ）**をご覧ください。

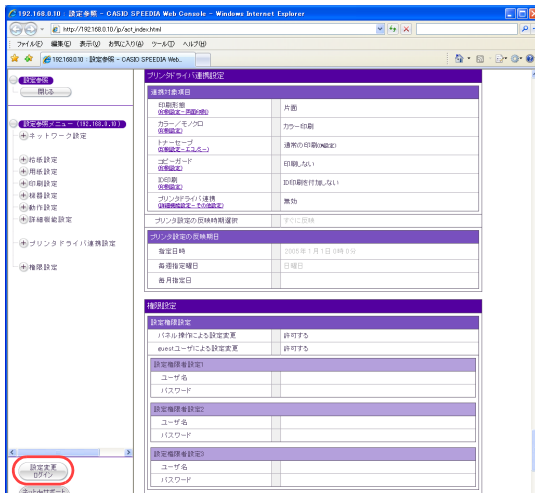
●各ユーザは任意に設定変更できます。

・一時的な変更は、アプリケーション側のプリンタ設定（プロパティ）で変更してください。

・継続的な変更は、「スタート」→「プリンタとFAX」から「N3600アイコンを右クリックして「印刷設定」で変更してください。（Windows XPの例）

■ Web設定による方法

1. Webブラウザを起動します。

（例） IPアドレスが192.168.0.10の場合

2. アドレス欄にプリンタのIPアドレスを入力します。

●プリンタに接続され、Top画面にプリンタの動作状態が表示されます。

3. 「プリンタ設定参照へ」ボタンをクリックします。

4. 「設定変更ログイン」ボタンをクリックします。

5. ログイン画面が表示された場合は、設定権限者登録で登録されているユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

●ログイン画面は、Webブラウザの起動後に１回だけ表示されます。
●工場出荷時デフォルトでは、次のように設定されています。
　ユーザー名：guest
　パスワード：（パスワードなし）
●工場出荷時の状態でお使いいただくと、プリンタへアクセスできる多くのユーザが設定変更を行うことができ、印刷結果に思わぬ影響を及ぼすことがあります。
　設定権限者登録でプリンタの管理者を登録した後は、「guest」ユーザは設定変更ができないように、権限を変更しておくことをおすすめします。

6. 「エコモード設定」をクリックします。

7. 「一発エコモード」をONに設定します。

8. 一発エコモードの規定値を設定します。
「一発エコモード」をONにしたときに、全ユーザのプリンタドライバをどのような規定値に変更するかを設定します。

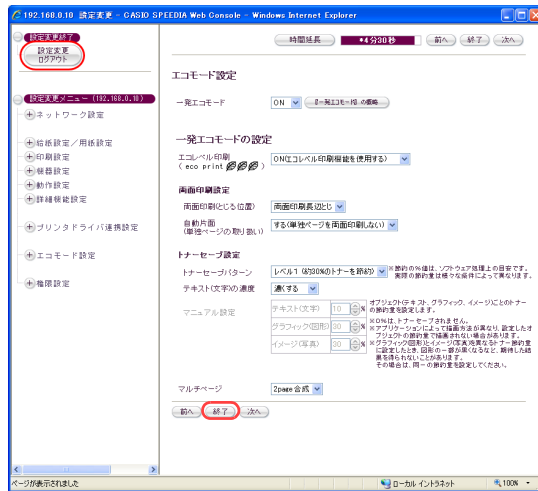
●「エコレベル印刷」
エコレベル印刷をONにすると、印刷された用紙の余白にエコロジーに配慮した印刷の度合いが の個数で印刷されます。
「両面印刷」「マルチページ」「トナーセーブ」それぞれが １個に対応しています。
すべて使用している場合は が３個印刷され、すべて使用していない場合は は印刷されません。

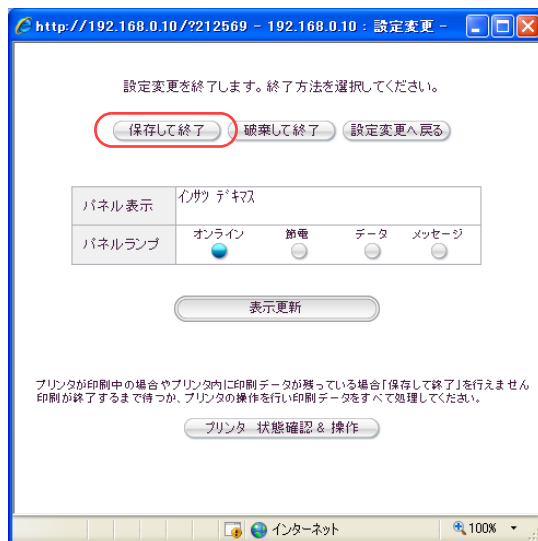
●「両面印刷設定」
両面印刷を「する／しない」を設定します。
とじる位置（表と裏の向き）を選択します。「自動片面」を「する」に設定すると１ページだけのデータは両面印刷しません。

●「トナーセーブ設定」
トナーセーブを「する／しない」を設定します。
「レベル１（約30％のトナーを節約）」「レベル２（約50％のトナーを節約）」を選択します。「マニュアル設定」を選択すると「テキスト（文字）」「グラフィック（図形）」「イメージ（写真）」ごとにトナーセーブレベルを設定できます。

●「マルチページ」
マルチページ印刷を「する／しない」を設定します。
１面に「2page合成」するか「4page合成」印刷するかを選択します。

エコレベル印刷

9. 「設定変更ログアウト」ボタンまたは「終了」ボタンをクリックします。

10. 「保存して終了」ボタンをクリックします。

●変更した設定内容がプリンタに反映され、すべてのユーザのプリンタドライバ設定が変更されます。

複数ページを１枚の用紙に印刷したい［マルチページ（2page合成/4page合成)］

１枚の用紙に、複数のページをまとめて印刷できます。

●プリンタのプロパティで「マルチページ」を設定します。

※ここでは､ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。
他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

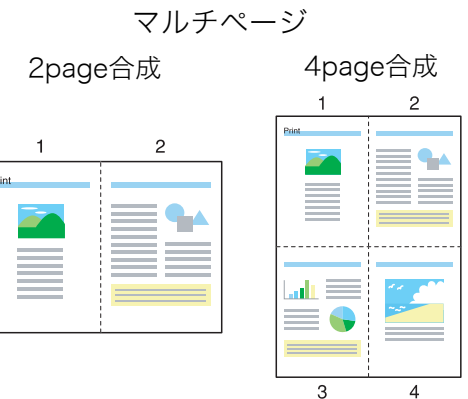
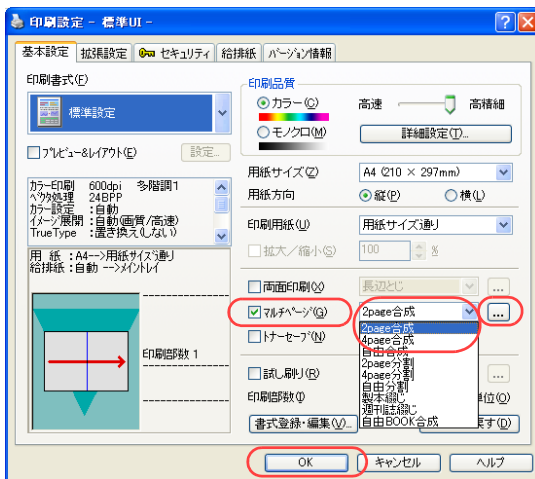
手 順

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

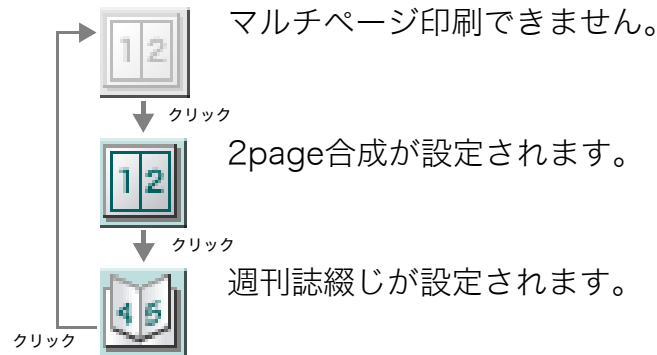
3. ■標準UIの場合

①「マルチページ」にチェックマークを付け、「2page合成」または「4page合成」を選択します。
②「OK」ボタンをクリックします。

●[...]ボタンをクリックすると、「マルチページの設定」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでページの配置を変更できます。
「自由指定」ボタンをクリックすると、用紙方向などを指定して、さらに多くのページを１ページに印刷できます。

マルチページ印刷のアイコン

■簡単UIの場合

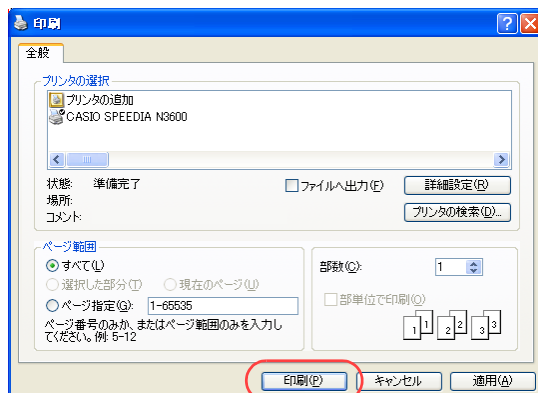
※ 簡単UIでは「2page合成」だけを設定できます。「4page合成」や、もっと多くのページを合成したい場合は、標準UIを使用してください。

① マルチページのアイコンをクリックします。

②「OK」ボタンをクリックします。

●次の手順で設定することもできます。

①「拡張設定」タブをクリックします。
②「マルチページ」にチェックマークを付けます。
③「合成」をクリックします。
④「OK」ボタンをクリックします。

4.「印刷」ボタンをクリックします。

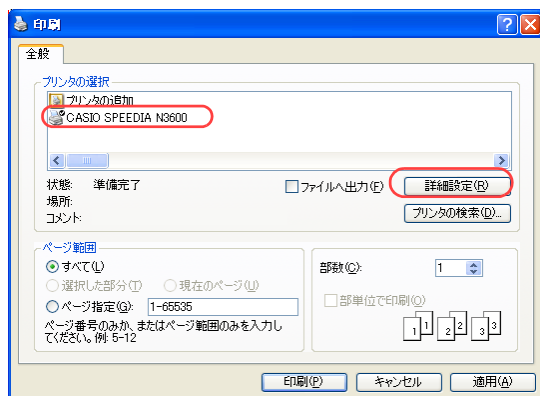
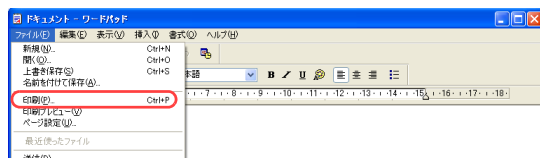
●印刷が開始されます。

本のように印刷したい [マルチページ（製本綴じ/週刊誌綴じ)]

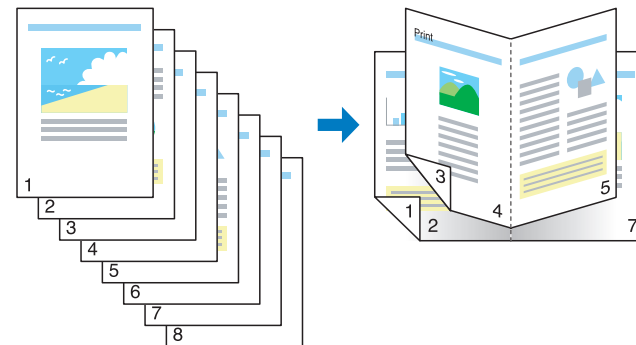
１枚の用紙に複数のページをまとめ、製本できるようにページを配置して印刷できます。

≪N6100の場合≫
製本印刷をするには、オプションの両面印刷装置が必要です。

●プリンタのプロパティで「マルチページ」を設定します。

※ここでは､ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

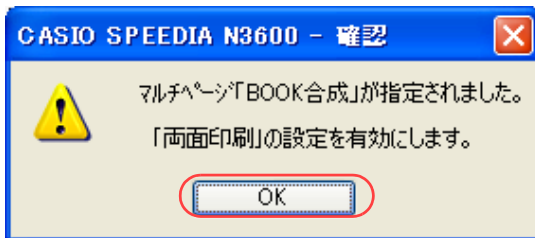
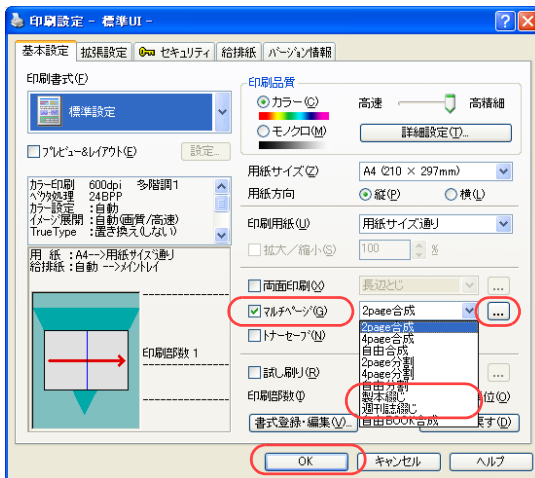
手 順

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

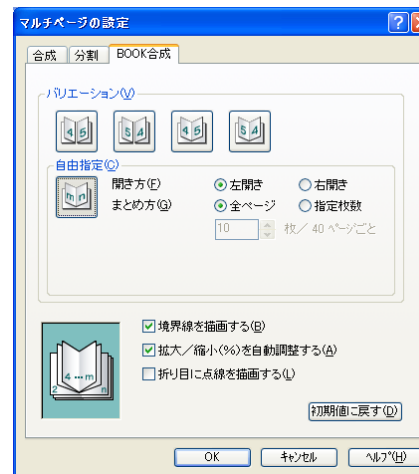
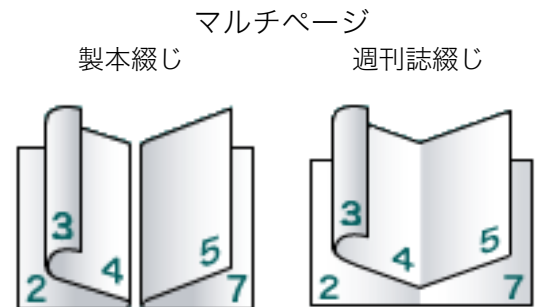
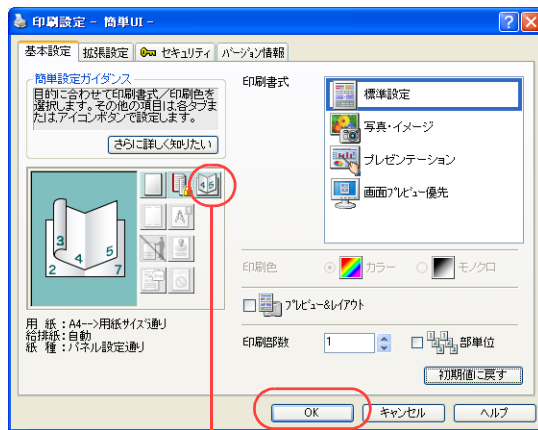
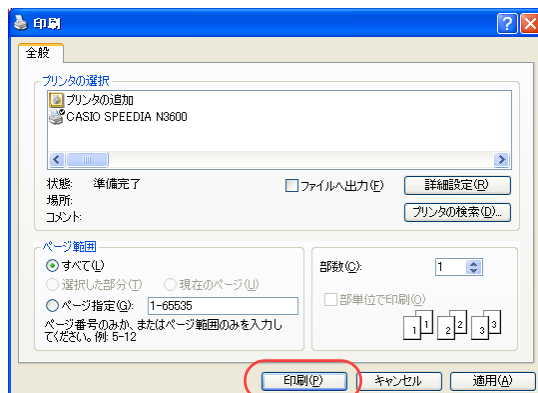
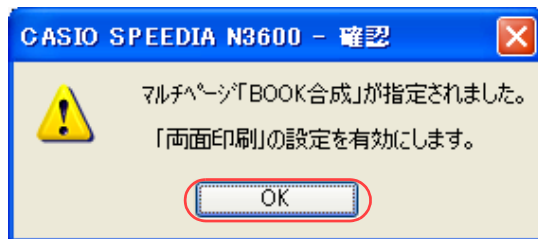
2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. ■標準UIの場合

①「マルチページ」にチェックマークを付け、「製本綴じ」または「週刊誌綴じ」を選択します。

② 左記ダイアログボックスが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

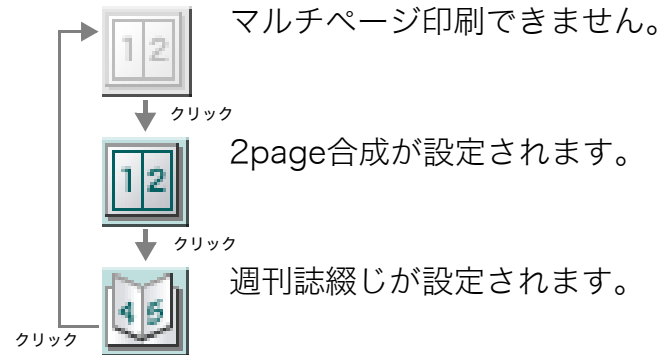
※ BOOK 合成を設定すると、自動的に両面印刷が設定されます。

③「OK」ボタンをクリックします。

●[…]ボタンをクリックすると、「マルチページの設定」ダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスでページの配置を変更できます。
「自由指定」ボタンをクリックすると、開き方やまとめ方を指定して、さらに多くのページをBOOK合成できます。

週刊誌綴じのアイコン

■簡単UIの場合

① マルチページのアイコンをクリックして「週間誌綴じ」を選択します。
② 左記ダイアログボックスが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

マルチページ印刷できません。

2page合成が設定されます。

週刊誌綴じが設定されます。

※ 製本綴じは設定できません。

※ BOOK合成を設定すると、自動的に両面印刷が設定されます。

③「OK」ボタンをクリックします。

●次の手順で設定することもできます。

①「拡張設定」タブをクリックします。
②「マルチページ」にチェックマークを付けます。
③「週刊誌」をクリックします。
④「OK」ボタンをクリックします。

4.「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。

5. 印刷された用紙を製本します。
・製本綴じの場合　：印刷された用紙を１枚ずつ折り、ホッチキスで留めます。
・週刊誌綴じの場合：印刷された用紙をまとめて折り、ホッチキスで留めます。

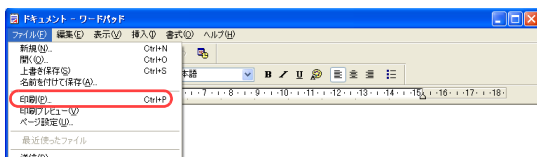
※ 週刊誌綴じの場合、印刷枚数が多いと用紙を折りづらくなります。
このような場合、標準UIの手順３で「自由指定」ボタンをクリックすると１束としてまとめる用紙の枚数を設定できます。

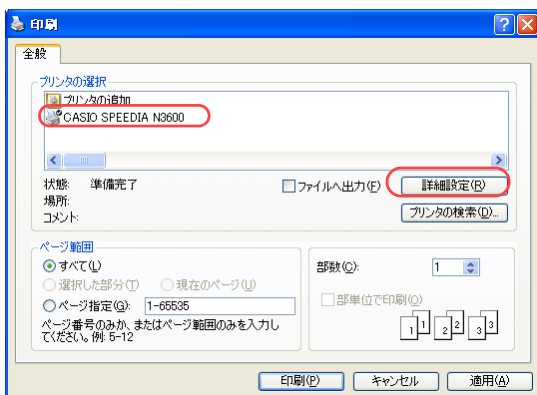
トナーを節約して印刷したい [トナーセーブ]

トナーの使用量を減らして印刷することができます。試し印刷などの場合にご利用ください。

● プリンタのプロパティで「トナーセーブ」を設定します。

● プリンタ操作パネルでは、１～100%の数値を指定してトナーセーブのレベルを設定できます。
詳しくは ハードウェアマニュアル 操作パネル編をご覧ください。

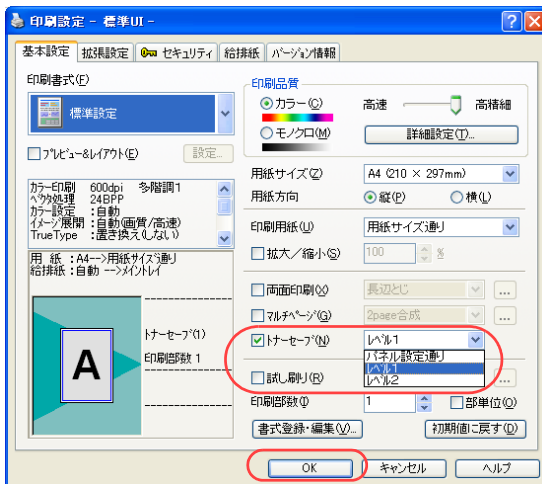
※ ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

手順

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. ■標準UIの場合

①「トナーセーブ」にチェックマークを付け、トナーセーブのレベルを選択します。
②「OK」ボタンをクリックします。

●トナーセーブのレベルについては、下記の「■簡単UIの場合」をご覧ください。

トナーセーブのアイコン

■簡単UIの場合

① トナーセーブのアイコンをクリックしてトナーセーブのレベルを選択します。

※ 下表の割合（%）は、ソフトウェア処理上の目安です。実際の節約量は様々な印刷条件によって異なります。

トナーセーブ設定されません。

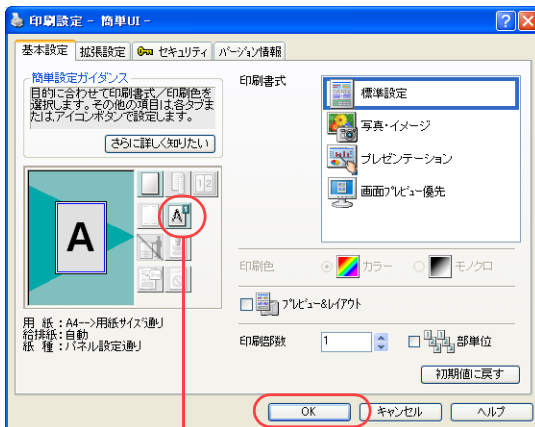
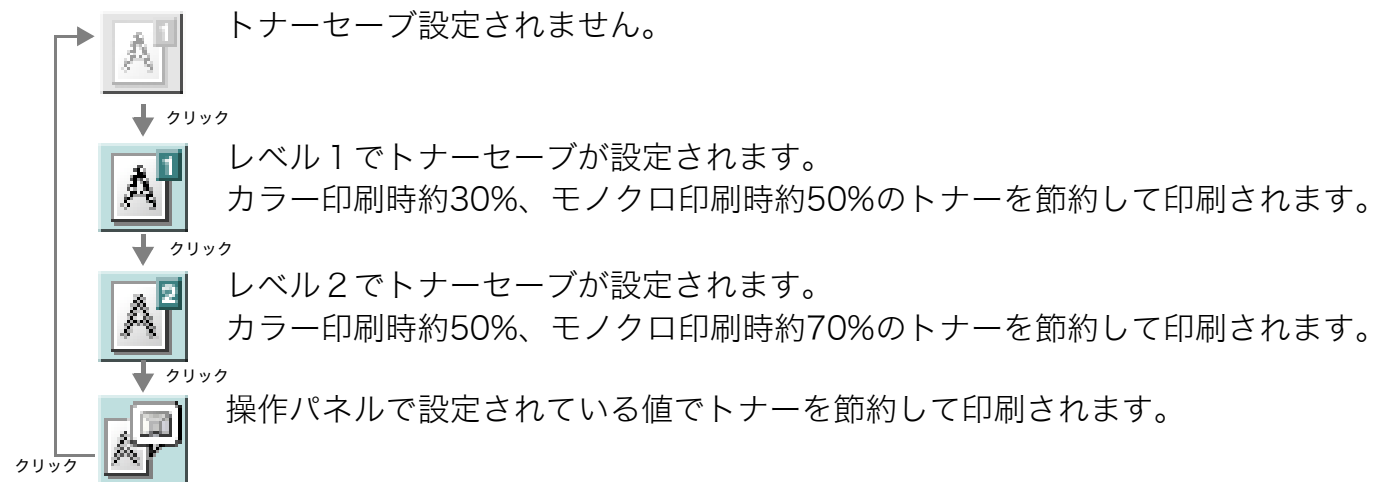
クリック

レベル１でトナーセーブが設定されます。
カラー印刷時約30%、モノクロ印刷時約50%のトナーを節約して印刷されます。

クリック

レベル２でトナーセーブが設定されます。
カラー印刷時約50%、モノクロ印刷時約70%のトナーを節約して印刷されます。

クリック

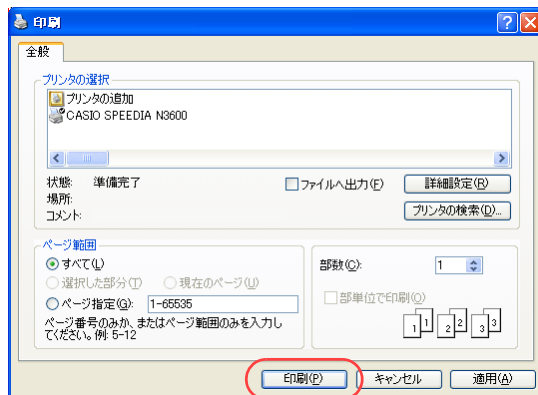
操作パネルで設定されている値でトナーを節約して印刷されます。

クリック

②「OK」ボタンをクリックします。

●次の手順で設定することもできます。

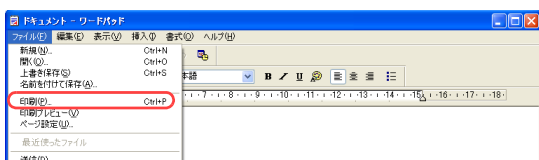
①「拡張設定」タブをクリックします。
②「トナーセーブ」にチェックマークを付け、トナーセーブのレベルを選択します。
③「OK」ボタンをクリックします。

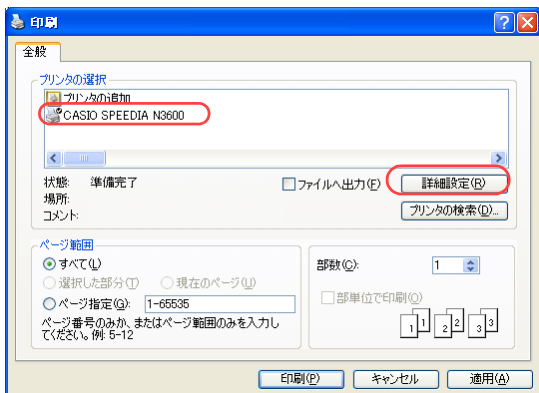
4. 「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。

カラー原稿をモノクロで印刷したい [モノクロ]

カラー原稿をモノクロで印刷できます。

● プリンタのプロパティで「印刷品質」の「モノクロ」ボタンをクリックします。

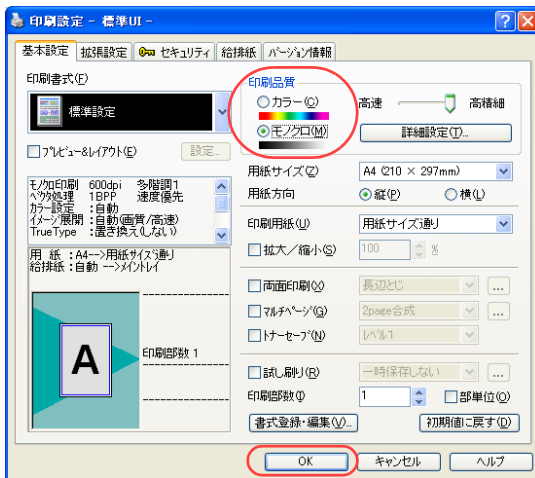
※ ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

手 順

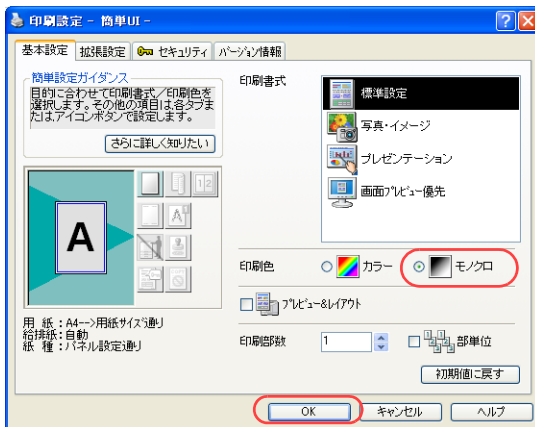
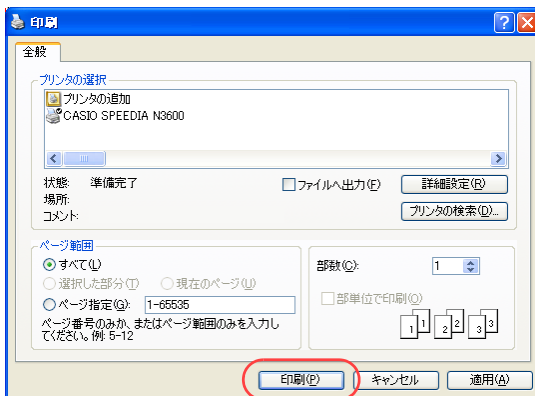
1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. ■標準UIの場合

①「印刷品質」の「モノクロ」ボタンをクリックします。
②「OK」ボタンをクリックします。

●「詳細設定」ボタンをクリックすると、「詳細設定のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスで解像度やグレースケール処理などを変更できます。詳しくはプリンタドライバのヘルプをご覧ください。

■簡単UIの場合

①「印刷色」の「モノクロ」ボタンをクリックします。
②「OK」ボタンをクリックします。

4. 「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。

強制的にモノクロで印刷したい [立ち上げモード]

カラーの消耗品がなくなった場合など、プリンタ操作パネルの操作で強制的にモノクロ印刷に設定できます。

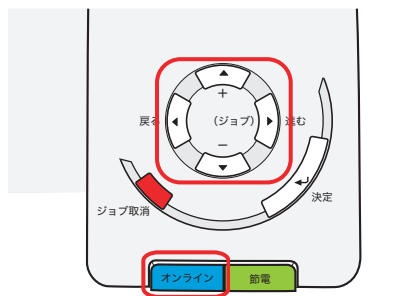
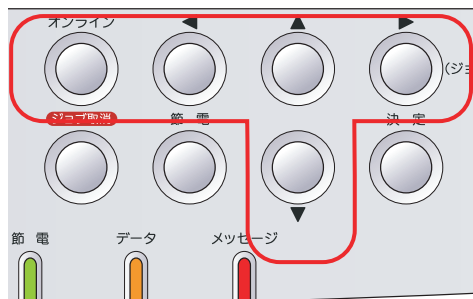
注意

・操作パネルの設定後、プリンタ電源のOFF/ONが必要です。設定は電源OFF/ON後から有効になります。

● プリンタの操作パネルから、「立ち上げモード」を「モノクロ（センヨウ）」に設定します。

● Webブラウザから設定することもできます。詳しくは **ハードウェアマニュアル Web設定編**をご覧ください。

手 順

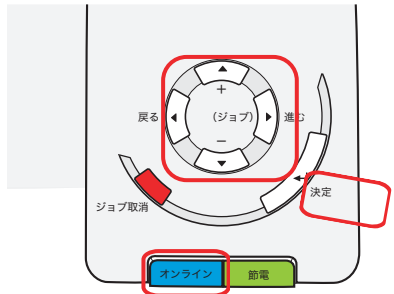
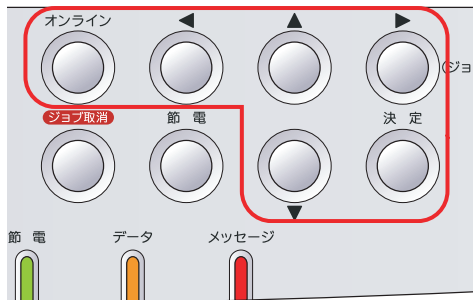
≪N3000シリーズの場合≫

≪N6100の場合≫

1. 未印字データがないことを確認し、操作パネルの［オンライン］ボタンを押します。

2. ▼ボタンを５回押します。
≪N6100の場合≫
▼ボタンを６回押します。

キノウ　セッテイ
▼▲　キキ　セッテイ　▶

3. ▶ボタンを１回押します。

［　キキ　セッテイ　］
▼　ＬＣＤキト゛チョウセイ　▶

≪N3000シリーズの場合≫

≪N6100の場合≫

4. ▼ボタンを２回押します。

5. ▶ボタンを１回押します。

6. ▼ボタンを２回押します。

7. 決定ボタンを押します。

8. オンラインボタンを押して終了します。

9. プリンタの電源をOFF/ONします。

確認してから残りを印刷したい [試し刷り印刷]

オプションのハードディスクが装着されている場合は、１部だけ印刷して内容を確認してから残りの部数を印刷することができます。

※ この機能は、ハードディスクが装着されている場合にだけ使用できます。

● プリンタドライバのイントール後に、「環境設定」タブの「装置構成」でハードディスクを設定しておく必要があります。この操作は１回だけで、以降は不要です。

☞ 装置構成を設定する（ハードディスクの追加）（41 ページ）

● 実際に印刷をするときは、プリンタのプロパティで「試し刷り印刷」を設定します。

☞ 試し刷り印刷を設定する（43 ページ）

手 順

装置構成を設定する（ハードディスクの追加）

※「環境設定」タブは、アプリケーション側からは表示できません。必ず、OSの「プリンタとFAX」フォルダから操作してください。

※「ハードディスク」が既に「装着済」に表示されている場合、この操作は不要です。

1. 「スタート」メニューの「プリンタとFAX」を選択して「プリンタとFAX」フォルダを開きます。

●Windows 98/Me/2000の場合は、「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を開きます。

2. 「CASIO SPEEDIA N3600」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

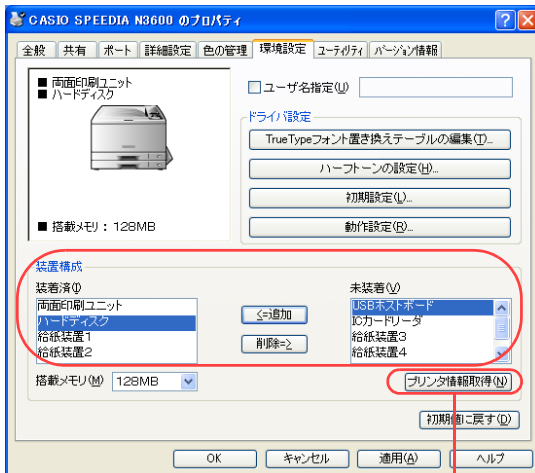
3. 「環境設定」タブをクリックします。

「プリンタ情報取得」ボタン

4. 「装置構成」の「未装着」に表示されている「ハードディスク」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

●「ハードディスク」が「装着済」に表示されます。

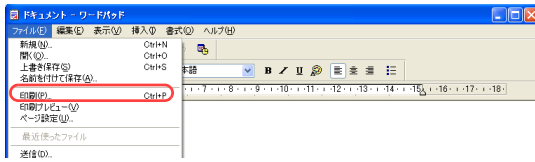
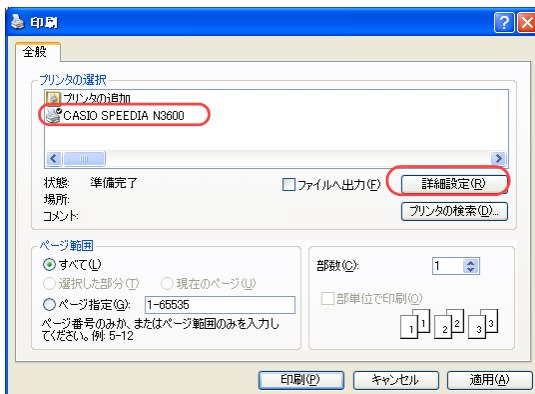
●「プリンタ情報取得」ボタン

- TCP/IPネットワーク接続で、印刷ポートに「Standard TCP/IP Port」を使用している場合、このボタンをクリックするとプリンタの装置構成を自動的に取得できます。
- USB接続の場合、コンピュータのUSBボード設定、USBハブとの相性、ケーブル長などにより、プリンタの装置構成を自動的に取得できないことがあります。
  この場合は、「プリンタ情報取得」ボタンがグレーになりますので、プリンタの装置構成に合わせ、上記（手順４）の操作で装置構成を設定してください。

5. 「OK」ボタンをクリックします。

試し刷り印刷を設定する

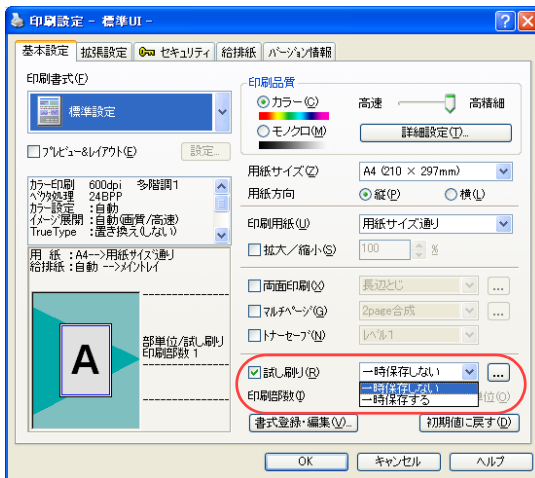
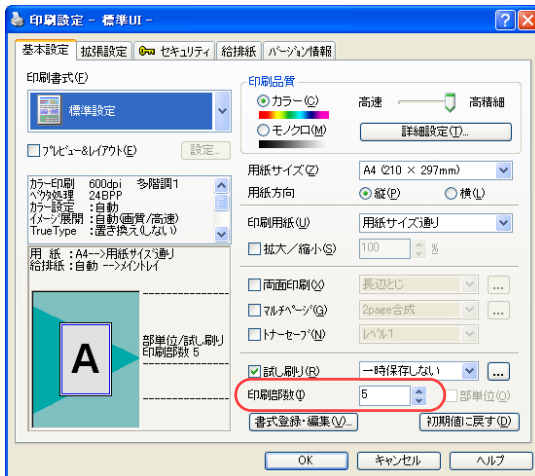
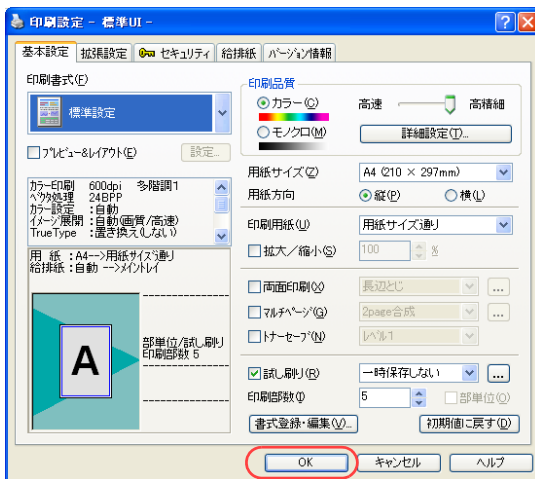
アプリケーションから印刷するときに、プリンタのプロパティで「試し刷り印刷」を設定します。

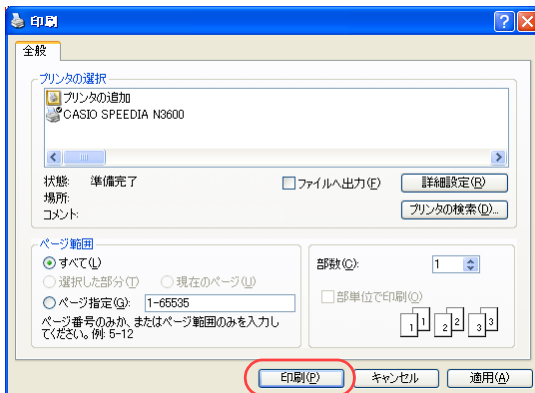
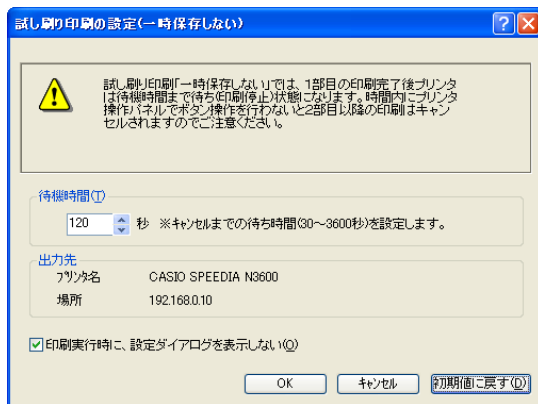
※ 試し刷り印刷は、標準UIの場合にだけ設定できます。簡単UIでは設定できません。

※ ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. 「試し刷り」にチェックマークを付け、「一時保存する」または「一時保存しない」を選択します。

一時保存しない	1部目の印刷が終了すると、印刷が中断します。プリンタ操作パネルから印刷開始を指示すると、残りの部数の印刷が再開されます。
一時保存する	すぐに印刷されず、印刷データはプリンタのハードディスクに保存されます。 プリンタ操作パネルの▶ボタンを押してユーザを選択し決定ボタンを押すと、1部目の印刷が開始され、その後印刷が中断します。 プリンタ操作パネルから印刷開始を指示すると、残りの部数の印刷が再開されます。

4. 印刷部数を設定します。

5. 「OK」ボタンをクリックします。

6. 「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。

7. 「試し刷り印刷の設定」ダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスで待機時間や出力先を変更できます。詳しくはプリンタドライバのヘルプをご覧ください。

8. １部目の印刷が終了すると、プリンタの表示パネルに次のようなメッセージが表示されます。残りの部数を印刷する場合は、［決定］ボタンを押します。

＜表示例＞

タメシスリ　ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ
トリケシ　／　インサツ

← ユーザ名などが表示されます。

●「一時保存する」に設定している場合は、印刷データがハードディスクに保存されます。
プリンタ操作パネルの［▶］ボタンを押してユーザを選択し［決定］ボタンを押すと、１部目の印刷が開始され、その後印刷が中断します。

●印刷を中止する場合は［ジョブ取消］ボタンを押します。

●１部目を印刷後、何も操作しない状態で「試し刷り印刷の設定」ダイアログボックスの「待機時間」で設定されている時間が経過すると、２部目以降の印刷は取り消されます（デフォルトでは120秒）。
［決定］ボタン、［ジョブ取消］ボタン以外のボタンを押すと、待機時間はリセットされ再度カウントが開始されます。

●試し刷り印刷中は、プリンタ表示パネルに次のようなメッセージが表示されます。

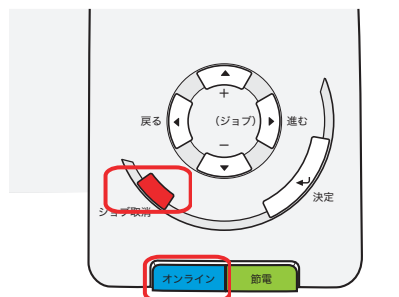
＜表示例＞

２部目以降は、残りの印刷枚数が減算して表示されます。

印刷を取消したい

プリンタに蓄積されているジョブを取消しできます。

●プリンタ操作パネルのボタンを押します。

≪N3000シリーズの場合≫

≪N6100の場合≫

1. 印刷中に、操作パネルの[ジョブ取消] ボタンを押します。

●印刷が停止します。

```
〔XXXXXXXXXXXXXXX〕 ← ユーザ名が表示されます。
トリケシ （リセット）
```

2. もう一度[ジョブ取消] ボタンを押します。

●ジョブがキャンセルされます（キャンセル中は、下記のメッセージが表示されます）。

```
〔XXXXXXXXXXXXXXX〕
トリケシ　チュウ
```

●印刷を継続する場合は、[オンライン] ボタンを押します。

●[ジョブ取消] ボタンを4秒以上長押しすると、プリンタがリセットされます。

3. プレビュー画面が表示されます。

自動的に節電スケジュールをしたい［自動スケジュール］

プリンタの使用頻度が高い時間帯は節電状態にならないようにし、使用頻度が低い時間帯は節電状態になるように、過去のプリンタ使用状況から自動的に節電スケジュールを作成します。

※ 使用できるWebブラウザとOSは、次のとおりです。
Webブラウザ
・Microsoft Internet Explorer 6.0 ServicePack1以上
・Mozilla Firefox 1.5以上
OS
・Windows 98/Me/2000/XP/Server2003/Vista

※ 詳しくは ☞ **ハードウェアマニュアル Web設定編**をご覧ください。

●Webブラウザから「機器設定」を開き、「節電」で「スケジュール機能自動」を設定します。

手 順

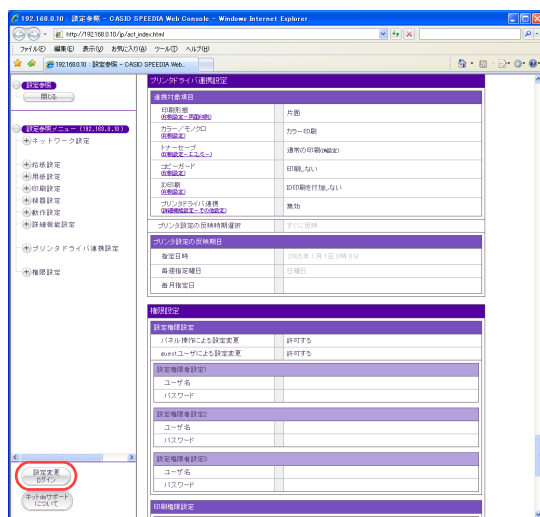
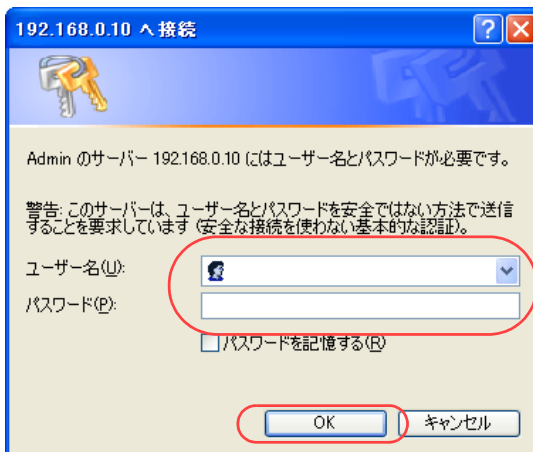
自動スケジュールを有効にする方法

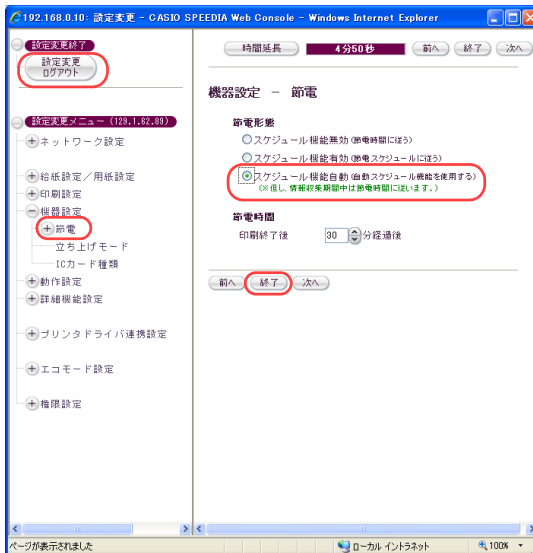
（例） IPアドレスが192.168.0.10の場合

1. Webブラウザを起動します。

2. アドレス欄にプリンタのIPアドレスを入力します。
●プリンタに接続され、Top画面にプリンタの動作状態が表示されます。

3. 「プリンタ設定参照へ」ボタンをクリックします。

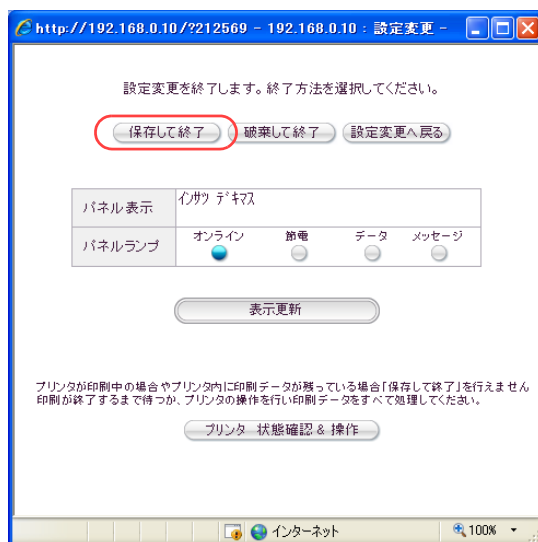
4. 「設定変更ログイン」ボタンをクリックします。

5. ログイン画面が表示された場合は、設定権限者登録で登録されているユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

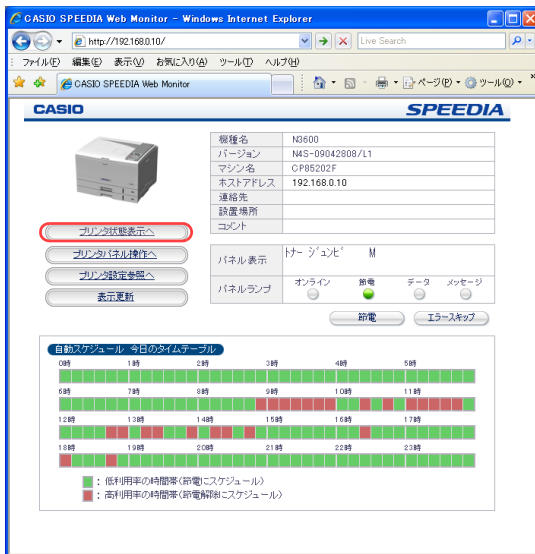
●ログイン画面は、Webブラウザの起動後に１回だけ表示されます。
●工場出荷時デフォルトでは、次のように設定されています。
ユーザー名：guest
パスワード：（パスワードなし）
●工場出荷時の状態でお使いいただくと、プリンタへアクセスできる多くのユーザが設定変更を行うことができ、印刷結果に思わぬ影響を及ぼすことがあります。
設定権限者登録でプリンタの管理者を登録した後は、「guest」ユーザは設定変更ができないように、権限を変更しておくことをおすすめします。

6. 「機器設定」の「＋」ボタンをクリックして、「節電」をクリックします。

7. 「スケジュール機能自動」をクリックします。

●プリンタ設置後１ヶ月間は節電スケジュールを作成するためにプリンタの使用状況を集計します。その間は「スケジュール機能自動」に設定してあっても、「節電時間」の設定に従い節電状態になります。図の例では印刷終了後30分経過すると節電状態になります。

8. 「設定変更ログアウト」ボタンまたは「終了」ボタンをクリックします。

9. 「保存して終了」ボタンをクリックします。

自動スケジュールの確認方法

（例）　IPアドレスが192.168.0.10の場合

1. Webブラウザを起動します。

2. アドレス欄にプリンタのIPアドレスを入力します。
●プリンタに接続され、Top画面にプリンタの動作状態が表示されます。

3. 「自動スケジュールの表示」ボタンをクリックします。

4. 「自動スケジュール　今日のタイムテーブル」が表示されます。（タイムテーブルはプリンタの使用状況によって毎日更新されます。）

■ の時間帯は、使用頻度が少ないので「節電機能」が「有効」にスケジュールされています。印刷終了後すぐに節電状態になりますので、次の印刷の前にウォームアップ待ち時間がかかります。

■ の時間帯は、使用頻度が多いので「節電機能」が「無効」にスケジュールされています。印刷終了後も節電状態になりませんので、すぐに次の印刷ができます。

※タイムテーブルがグレーのときは以下の状態です。

●プリンタを設置して１ヶ月以内のとき。
スケジュールを作成する為にプリンタの使用状況を集計しています。この間は「節電時間」の設定に従って節電状態になります。

●「スケジュール機能自動」以外に設定しているとき。
常に「節電時間」の設定に従って節電状態になります。「節電時間」については **7.「スケジュール機能自動」をクリックします。（50 ページ）**をご覧ください。

節電モードに入る時間をスケジュール化したい [機器設定]

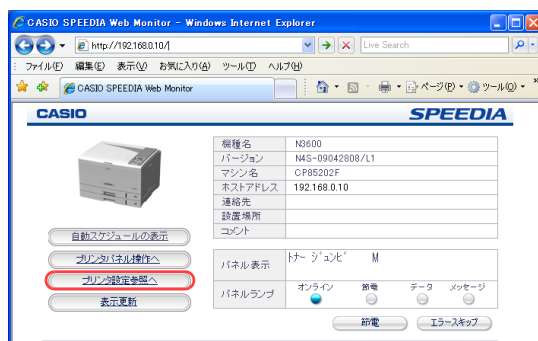
スケジュールを決め、いつも決まった時刻に節電（スリープ）モードに入るように設定できます。

※ 使用できるWebブラウザとOSは、次のとおりです。
Webブラウザ
・Microsoft Internet Explorer 6.0 ServicePack1以上
・Mozilla Firefox 1.5以上
OS
・Windows 98/Me/2000/XP/Server2003/Vista

※ 詳しくは ☞ **ハードウェアマニュアル Web設定編**をご覧ください。

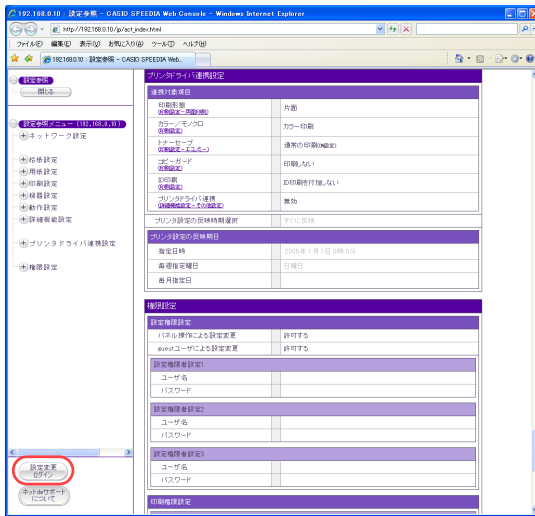
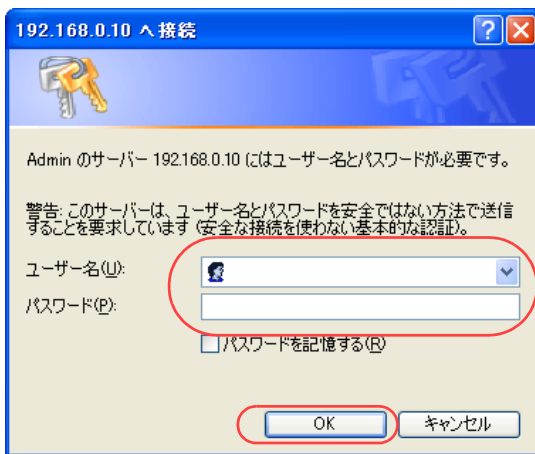
●Webブラウザから「機器設定」を開き、「節電スケジュール」を設定します。

手順

（例） IPアドレスが192.168.0.10の場合

1. Webブラウザを起動します。

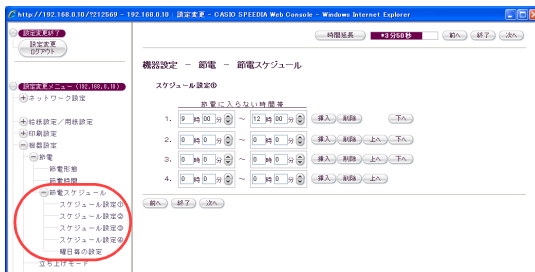
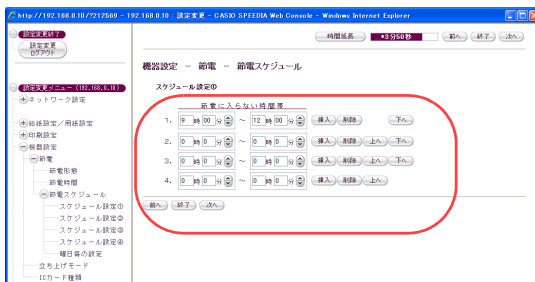
2. アドレス欄にプリンタのIPアドレスを入力します。
●プリンタに接続され、Top画面にプリンタの動作状態が表示されます。

3. 「プリンタ設定参照へ」ボタンをクリックします。

4. 「設定変更ログイン」ボタンをクリックします。

5. ログイン画面が表示された場合は、設定権限者登録で登録されているユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

●ログイン画面は、Webブラウザの起動後に1回だけ表示されます。
●工場出荷時デフォルトでは、次のように設定されています。
　ユーザー名：guest
　パスワード：（パスワードなし）
●工場出荷時の状態でお使いいただくと、プリンタへアクセスできる多くのユーザが設定変更を行うことができ、印刷結果に思わぬ影響を及ぼすことがあります。
　設定権限者登録でプリンタの管理者を登録した後は、「guest」ユーザは設定変更ができないように、権限を変更しておくことをおすすめします。

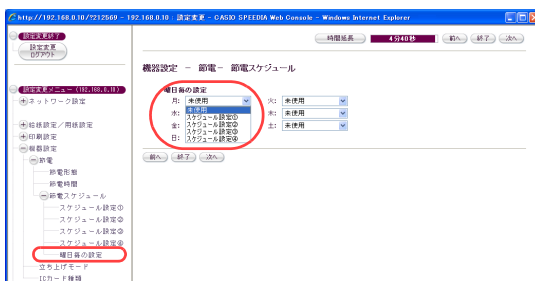
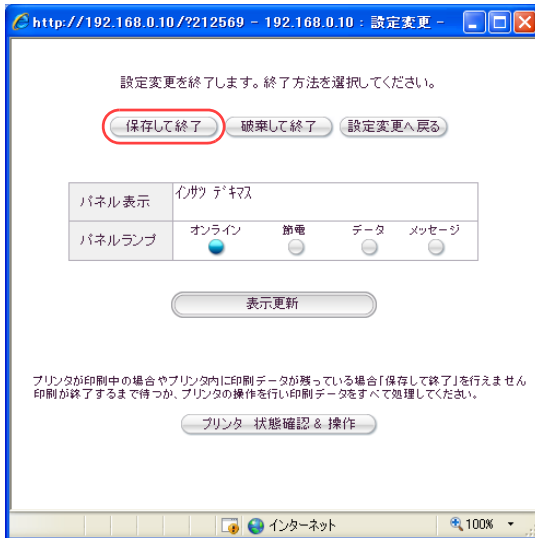
6. 「機器設定」、「節電」の順に「＋」ボタンをクリックし、「節電形態」をクリックします。

7. 「スケジュール機能有効（節電スケジュールに従う）」をクリックします。

8. 「節電スケジュール」の「+」ボタンをクリックし、「スケジュール設定①」～「スケジュール設定④」のいずれかをクリックします。

9. 節電モードに入らない時間帯を設定します。

10. 「曜日毎の設定」をクリックし、曜日毎の「スケジュール設定①～④」、または「未使用」を設定します。

11.「設定変更ログアウト」ボタン、または「終了」ボタンをクリックします。

12.「保存して終了」ボタンをクリックします。

●変更した設定内容がプリンタに反映されます。

セキュリティ編

この編では、印刷物の複写防止、ID情報の付加、親展印刷、ユーザの限定など、プリンタのセキュリティについて説明しています。

他の人に見られないように印刷したい［認証印刷（ICカード認証)］

コンピュータとプリンタにICカードリーダを取り付けると、プリンタのハードディスクに保存されている認証印刷文書を、暗証番号の代わりにICカードを使用して印刷できます。

※ この機能はN3000およびWindows 98/Me環境では使用できません。また、この機能を使用するには、別売の IC カードリーダ、ハードディスク、USB ホストボードが必要です。

認証用カードはFelicaやMifareなどのICカードなどや、携帯電話などのRFIDデバイスが使用できます。

＊ Fericaはソニー株式会社の登録商標です。
＊ MifareはRoyal Philips Electronics N.V.の登録商標です。

● プリンタにUSBホストボードとハードディスクを取り付け、ICカードリーダをUSBホストボードのコネクタに接続します。

☞ **各製品のマニュアルをご覧ください。**

● プリンタドライバのイントール後に、「環境設定」タブの「装置構成」でハードディスク、USBホストボード、ICカードリーダを設定しておく必要があります。この操作は 1 回だけで、以降は不要です。

☞ **装置構成を設定する（ハードディスク、USBホストボード、ICカードリーダの追加）（59 ページ）**

● 印刷を指示するときは、プリンタのプロパティで「認証印刷」を設定します。

☞ **認証印刷（ICカード認証）を設定する（61 ページ）**

● 実際に印刷をするときは、ICカードリーダにICカードを置きます。

☞ **ICカードで印刷を開始する（64 ページ）**

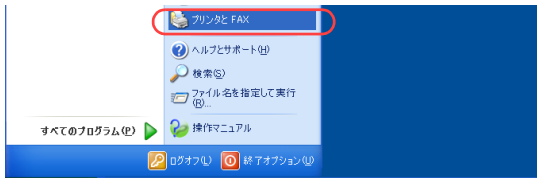
準 備

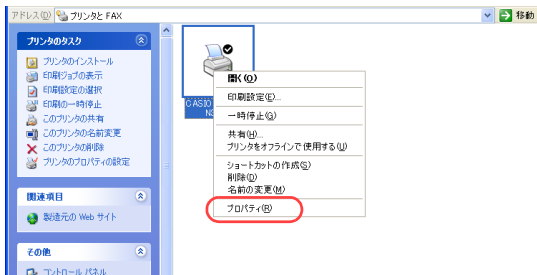
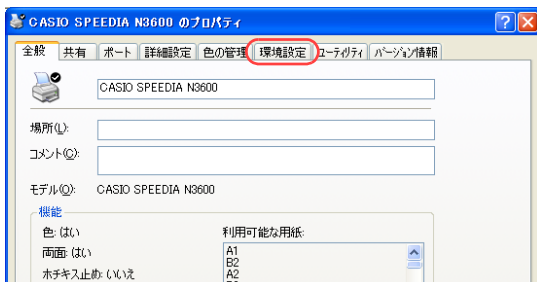
あらかじめ各製品のマニュアルをご覧いただき、USBホストボード、ハードディスク、ICカードリーダを取り付けてください。

手順

装置構成を設定する（ハードディスク、USBホストボード、ICカードリーダの追加）

※「環境設定」タブは、アプリケーション側からは表示できません。必ず、OSの「プリンタとFAX」フォルダから操作してください。

※「ハードディスク」、「USBホストボード」、「ICカードリーダ」が既に「装着済」に表示されている場合、この操作は不要です。

1.「スタート」メニューの「プリンタとFAX」を選択して「プリンタとFAX」フォルダを開きます。

●Windows 98/Me/2000の場合は、「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を開きます。

2.「CASIO SPEEDIA N3600」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

3.「環境設定」タブをクリックします。

「プリンタ情報取得」ボタン

4. 「装置構成」の「未装着」に表示されている「ハードディスク」、「USB ホストボード」、「ICカードリーダ」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

●「ハードディスク」、「USBホストボード」、「ICカードリーダ」が「装着済」に表示されます。

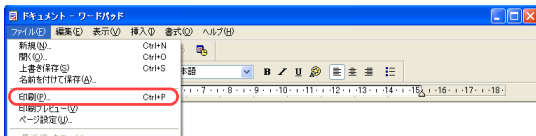
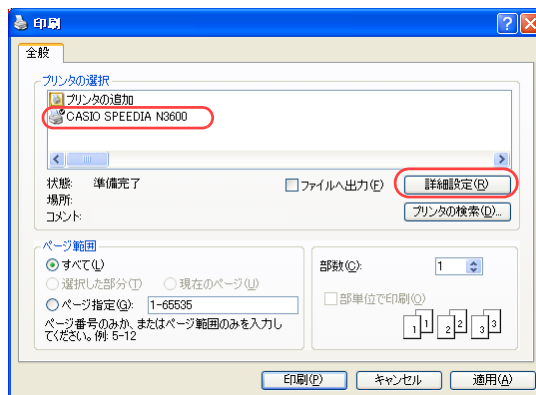
●「プリンタ情報取得」ボタン

- TCP/IPネットワーク接続で、印刷ポートに「Standard TCP/IP Port」を使用している場合、このボタンをクリックするとプリンタの装置構成を自動的に取得できます。
- USB接続の場合、コンピュータのUSBボード設定、USBハブとの相性、ケーブル長などにより、プリンタの装置構成を自動的に取得できないことがあります。
  この場合は、「プリンタ情報取得」ボタンがグレーになりますので、プリンタの装置構成に合わせ、上記（手順４）の操作で装置構成を設定してください。

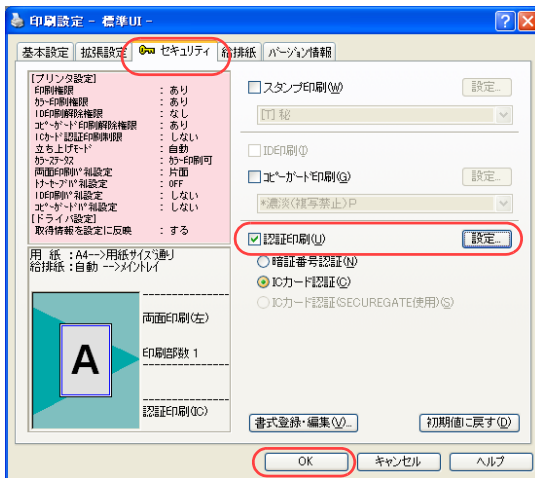
5. 「OK」ボタンをクリックします。

認証印刷（ICカード認証）を設定する

アプリケーションから印刷するときに、プリンタのプロパティで「認証印刷」を設定します。

※ ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. ■標準UIの場合

①「セキュリティ」タブをクリックします。
②「認証印刷」にチェックマークを付けます。
③「設定 ...」ボタンをクリックして「認証印刷の設定」ダイアログボックスを表示し、ドキュメント名（ジョブ名）やICカード情報を登録します。詳しくは手順4をご覧ください。
④「OK」ボタンをクリックします。

■簡単UIの場合

①「セキュリティ」タブをクリックします。
②「認証印刷」にチェックマークを付けます。
③「設定 ...」ボタンをクリックして「認証印刷の設定」ダイアログボックスを表示し、IC カード情報やドキュメント名を登録します。詳しくは手順4をご覧ください。
④「OK」ボタンをクリックします。

4. ICカード情報、ドキュメント名を設定し、「ＯＫ」ボタンをクリックします。（前回と同じ設定で印刷する場合は不要です。手順５に進んでください。）

●認証印刷の設定

① 「IC カード認証」を選択して「認証情報の登録／更新」ボタンをクリックし、「IC カード認証の設定」ダイアログボックスを表示します。

② 「登録開始」ボタンをクリックすると、プリンタ表示パネルが「ICカート゛カサ゛シテクタ゛サイ」に変わり、プリンタのデータ・ランプとメッセージ・ランプが点滅します。

③ ICカードリーダにICカードを置きます。(「待機時間」以内にICカードを置かないと登録は中止されます。)
情報読み取りが終わると、プリンタ表示パネルが「ICカート゛ヨミトリマシタ」に変わります。

④ 何のカードで登録したかを忘れないよう「登録カード情報の説明」に名称を入力し、「登録実行」ボタンをクリックします。(左図は「社員証」名で登録時の例です。)

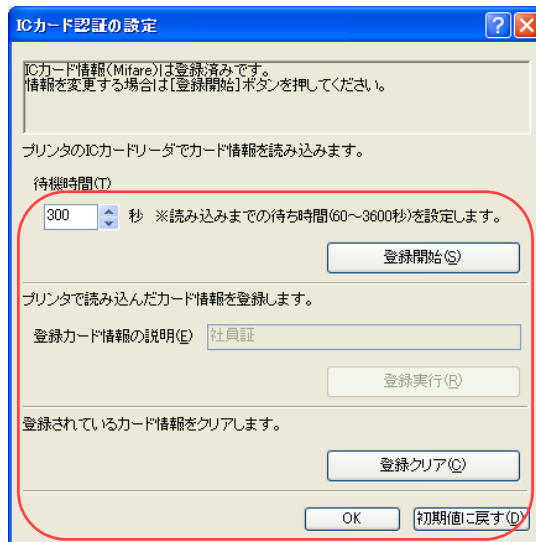
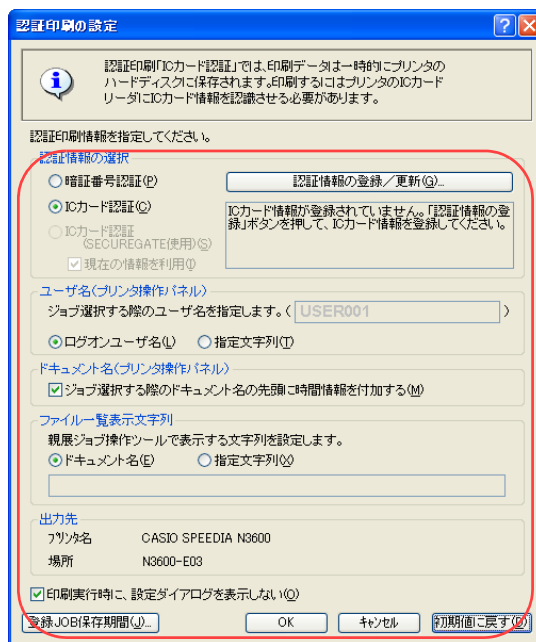
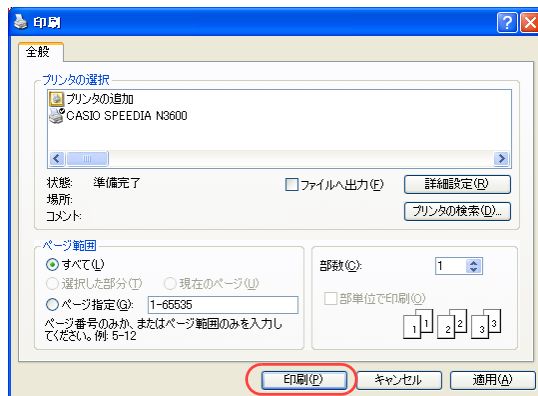
⑤ 「ＯＫ」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

●ユーザ名
「登録開始」時やジョブ登録／印刷時に、プリンタの表示パネルに表示するユーザ名を設定します。

●ドキュメント名
プリンタの表示パネルに表示するドキュメント名（ジョブ名）の先頭に、時刻を入れるか選択します。

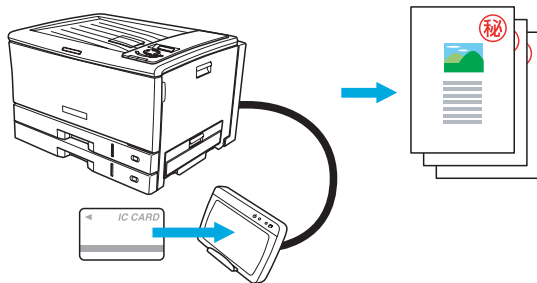
●ファイル一覧表示文字列
親展ジョブ操作ツールでハードディスクから印刷ジョブを削除する際のファイル名をドキュメント名にするか、指定文字にするかを選択します。

- ドキュメント名には、半角英数字カタカナ（ASCII<2A>H除く<20>H～<7F>H､<A0>H～<DF>H）だけを使用できます。

●印刷実行時に設定ダイアログを表示しない
ここのチェックマークを外すと、手順５の印刷実行時に再度「認証印刷の設定」ダイアログボックスが表示されます。

5. 「印刷」ボタンをクリックします。

●確認のため、「認証印刷の設定」ダイアログボックスが再度表示された場合は、内容を確認して「OK」ボタンをクリックします。

ICカードで印刷を開始する

認証印刷の指示をした印刷データは、すぐに印刷されず、一時的にプリンタのハードディスクに保存されます。
印刷を開始するには、ICカードリーダに手順4.で登録したICカードを置きます。

他の人に見られないように印刷したい［認証印刷（暗証番号認証)］

認証印刷を設定すると、印刷文書は一時的にプリンタのハードディスクに保存されます。
印刷を開始するには、プリンタ操作パネルの▶ボタンを押し、ジョブの実行を指示する必要があります。

※ この機能は、ハードディスクが装着されている場合にだけ使用できます。

- プリンタドライバのイントール後に、「環境設定」タブの「装置構成」でハードディスクを設定しておく必要があります。
  この操作は1回だけで、以降は不要です。
  ☞ 装置構成を設定する（ハードディスクの追加）（65 ページ）
- 印刷を指示するときは、プリンタのプロパティで「認証印刷」を設定します。
  ☞ 認証印刷（暗証番号認証）を設定する（68 ページ）
- 実際に印刷をするときは、プリンタ操作パネルで▶ボタンを押しジョブの実行を指示します。
  ☞ 暗証番号認証で印刷を開始する（72 ページ）

手 順

装置構成を設定する（ハードディスクの追加）

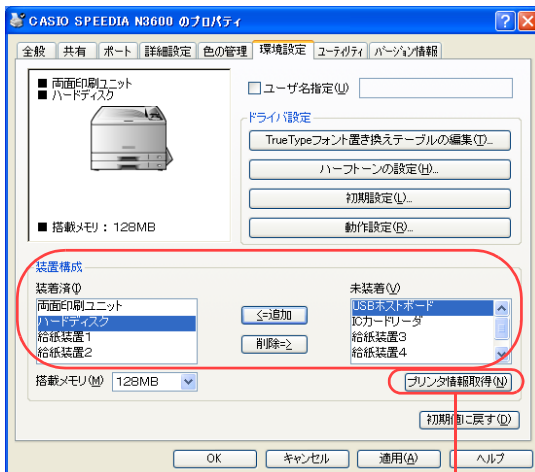
※「環境設定」タブは、アプリケーション側からは表示できません。必ず、OSの「プリンタとFAX」フォルダから操作してください。

※「ハードディスク」が既に「装着済」に表示されている場合、この操作は不要です。

1. 「スタート」メニューの「プリンタとFAX」を選択して「プリンタとFAX」フォルダを開きます。

●Windows 98/Me/2000の場合は、「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を開きます。

2. 「CASIO SPEEDIA N3600」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

3. 「環境設定」タブをクリックします。

「プリンタ情報取得」ボタン

4. 「装置構成」の「未装着」に表示されている「ハードディスク」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

●「ハードディスク」が「装着済」に表示されます。

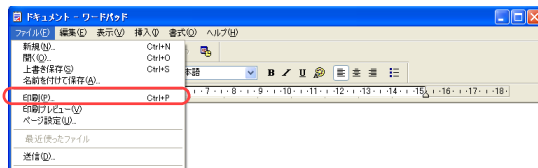
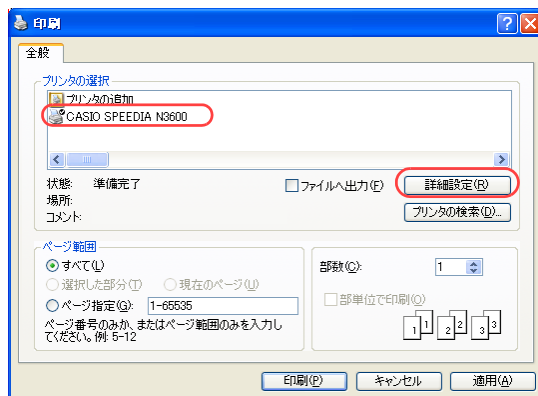
●「プリンタ情報取得」ボタン

- TCP/IPネットワーク接続で、印刷ポートに「Standard TCP/IP Port」を使用している場合、このボタンをクリックするとプリンタの装置構成を自動的に取得できます。
- USB接続の場合、コンピュータのUSBボード設定、USBハブとの相性、ケーブル長などにより、プリンタの装置構成を自動的に取得できないことがあります。
  この場合は、「プリンタ情報取得」ボタンがグレーになりますので、プリンタの装置構成に合わせ、上記（手順4）の操作で装置構成を設定してください。

5.「OK」ボタンをクリックします。

認証印刷（暗証番号認証）を設定する

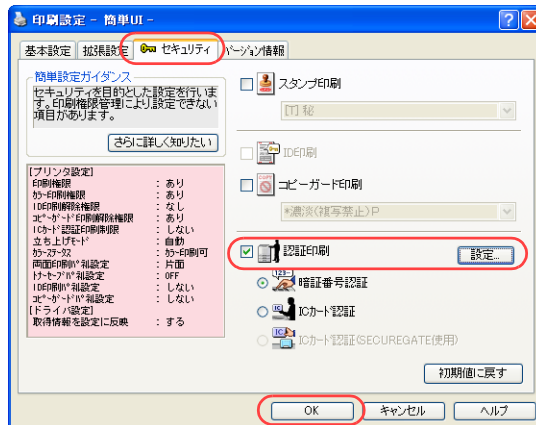
アプリケーションから印刷するときに、プリンタのプロパティで「認証印刷」を設定します。

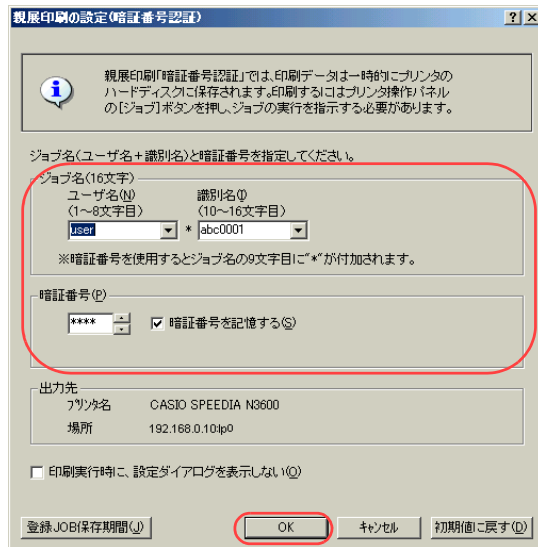
※ ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. ■標準UIの場合

①「セキュリティ」タブをクリックします。
②「認証印刷」（Windows 98/Meの場合は「親展印刷」）にチェックマークを付けます。
③「設定...」ボタンをクリックして「認証印刷の設定」（Windows 98/Meの場合は「親展印刷設定（暗証番号認証）」）ダイアログボックスを表示し、ドキュメント名（ジョブ名）や暗証番号を設定します。詳しくは手順4をご覧ください。
④「OK」ボタンをクリックします。

■簡単UIの場合

①「セキュリティ」タブをクリックします。
②「認証印刷」にチェックマークを付けます。
③「設定 ...」ボタンをクリックして「認証印刷の設定」ダイアログボックスが表示し、ドキュメント名（ジョブ名）や暗証番号を設定します。詳しくは手順4をご覧ください。
④「OK」ボタンをクリックします。

<Windows 98/Me>

4. Windows 98/Meの場合

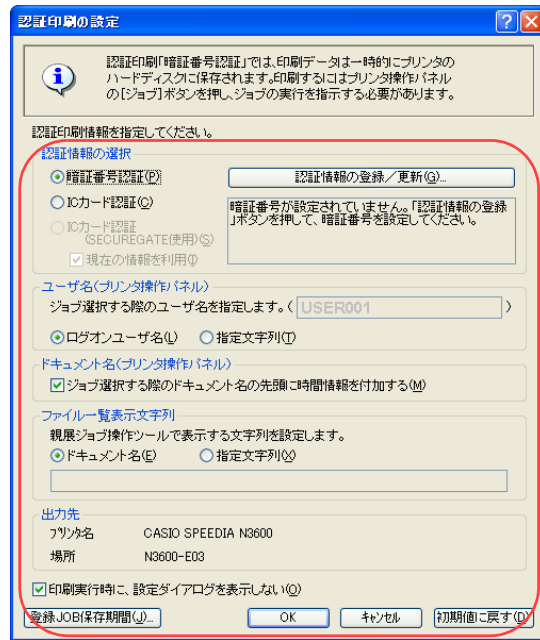
ユーザ名、識別名、暗証番号を設定し、「OK」ボタンをクリックします。
（前回と同じ設定で印刷する場合は不要です。手順5に進んでください。）

- ジョブ名
  ジョブ名は16文字で構成されます。前半の8文字はユーザ名、9文字目は暗証番号が「あり」のマーク（*）、10文字目以降は識別名です。
- 指定したジョブ名は、プリンタ操作パネルの▶ボタンを押したときにプリンタの表示パネルに表示されます。
- ユーザ名は前回使用した名前が表示されます。
- ユーザ名、識別名には、以前に使用した名前をリストから選択できます。
- ユーザ名、識別名には、半角英数字カタカナ（ASCII<2A>H除く<20>H～<7F>H､<A0>H～<DF>H）だけを使用できます。

●暗証番号
4桁の暗証番号を入力します。

- 暗証番号は必ず４桁入力する必要があります。
- 暗証番号は忘れないようご注意ください。

●印刷実行時に設定ダイアログを表示させない
ここのチェックマークを外すと、手順５の印刷実行時に再度「親展印刷設定（暗証番号認証）」ダイアログボックスが表示されます。

<Windows 2000/XP/Server2003/Vista>

Windows 2000/XP/Server2003/Vistaの場合

暗証番号、ユーザ名、ドキュメント名を設定し、「ＯＫ」ボタンをクリックします。（前回と同じ設定で印刷する場合は不要です。手順５に進んでください。）

●認証印刷の設定

①「暗証番号認証」を選択して「認証情報の登録／更新」ボタンをクリックし、「暗証番号認証の設定」ダイアログボックスを表示します。

② ４桁の暗証番号を入力して「OK」ボタンをクリックします。

- 暗証番号は必ず４桁入力する必要があります。
- 暗証番号は忘れないようご注意ください。

●ユーザ名

ユーザ名を、ログオンユーザ名にするか指定文字にするかを選択します。

- 指定したユーザ名は、プリンタ操作パネルの▶ボタンを押したときにプリンタの表示パネルに表示されます。
- ユーザ名には、半角英数カタカナ（ASCII<2A>H除く<20>H～<7F>H、<A0>H～<DF>H）だけ、最大16文字を使用できます。

●ドキュメント名

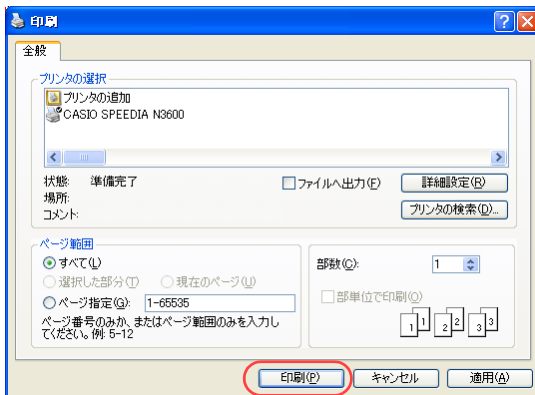
プリンタの表示パネルに表示するジョブ名の先頭に、時刻を入れるか選択します。

●ファイル一覧表示文字列

親展ジョブ操作ツールでハードディスクから印刷ジョブを削除する際のファイル名をドキュメント名にするか、指定文字にするかを選択します。

- ドキュメント名には、半角英数字カタカナ（ASCII<2A>H除く<20>H～<7F>H､<A0>H～<DF>H）だけを使用できます。

●印刷実行時に設定ダイアログを表示しない

ここのチェックマークを外すと、手順５の印刷実行時に再度「認証印刷の設定」ダイアログボックスが表示されます。

5. 「印刷」ボタンをクリックします。

●確認のため、「認証印刷の設定」(Windows 98/Meの場合は「親展印刷設定（暗証番号認証)」）ダイアログボックスが再度表示された場合は、内容を確認して「OK」ボタンをクリックします。

暗証番号認証で印刷を開始する

認証印刷の指示をした印刷データは、すぐに印刷されず、一時的にプリンタのハードディスクに保存されます。
印刷を開始するには、プリンタ操作パネルの▶ボタンを押し、ジョブの実行を指示する必要があります。

1. プリンタ操作パネルの▶ボタンを押します。

2. ▼または▲ボタンを押してユーザ名を選択し、決定ボタンを押します。

<Windows 2000/XP/Server2003/Vistaの場合>

プリンタドライバで設定したユーザ名を選択します。

<Windows 98/Meの場合>

「フメイユーザ」を選択します。

3. ▼または▲ボタンを押して印刷するジョブを選択し、決定ボタンを押します。

ジ゛ョブ゛　センタク
▼▲１１：３０＿ト゛キュメント０１

●◀ボタンを押すと、ジョブの選択が中止されます。
●［ＡＬＬ］はすべての印刷ジョブを選択します。

4. 暗証番号（４桁）を入力し、決定ボタンを押します。

シンテン　×××××××××××
▼▲アンショウ　Ｎｏ．　０００００

▲ボタン：番号を１ずつカウントアップします。
▼ボタン：番号を１ずつカウントダウンします。
▶ボタン：入力する桁を右に１桁移動します。

5. 選択したジョブを印刷、または削除するかを選択します。

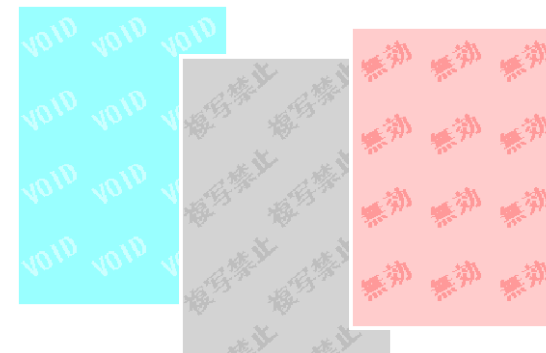
１１：３０＿ト゛キュメント０１
サクシ゛ョ　／　インサツ

決定ボタン　：選択したジョブを印刷します。
ジョブ取消ボタン：選択したジョブを削除します。
◀ボタン　：ジョブの選択（手順３）に戻ります。

複写防止のパターンを印刷したい [コピーガード印刷]

文書の不正使用/流出を防止するため、文書に複写防止のコピーガードパターンを付加して印刷できます。コピーガードパターンが印刷された文書をコピーすると、コピーガードパターンの種類により、次のいずれかの効果が得られます。

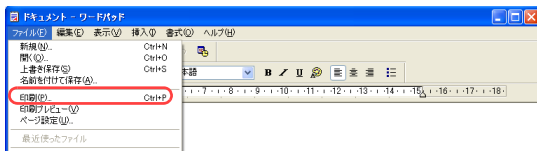
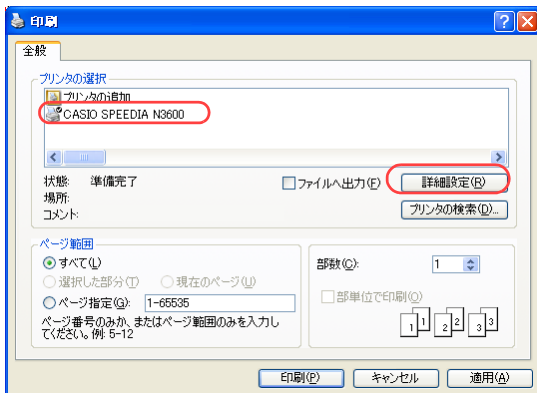
●複写すると文字が浮かび上がる（P：ポジ）
●複写すると文字の部分が消える（N：ネガ）
●原本だけに文字が表示される

コピーガードパターンを印刷

注意

・ コピーガード印刷を利用する場合は、同梱のCD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールしてください。
  OS の「プリンタの追加」からインストールした場合は、プリンタドライバセット内の「CGSystem」フォルダ内のセットアッププログラムを実行する必要があります。
・ コピーガードパターンは、拡大/縮小やマルチページ設定に影響されず、用紙全面に印刷されます。
・ 印刷できるコピーガードパターンは、あらかじめ設定されているパターンだけです。
  ただし、「コピーガードツール」（有償）をインストールすると、コピーガードレジスタを起動して、コピーガードパターンの追加、変更ができます。
・ 次のように設定されている場合は、コピーガード印刷を[ON]にするとメッセージを表示して、下記の設定を解除または変更し設定不可（グレー表示）になります。
  ・解像度が[600dpi]以外に設定されている場合、解像度を[600dpi]にします。
  ・マルチページの設定で[分割]または[BOOK合成]が選択されている場合、マルチページを[OFF]にします。
  ・フォームオーバーレイ印刷のフォーム処理で[フォームファイル出力]が選択されている場合、フォームオーバーレイを[OFF]にします。
  ・フォームオーバーレイ印刷の発生オプションで[先展開]が選択されている場合、フォームオーバーレイを[OFF]にします。
  ・セパレータの挿入の[１ページごとにセパレータを挿入する]の設定で[セパレータにコピーを印刷する]が[ON]の場合、[OFF]にします。
・ プリンタに登録されている印刷権限により、コピーガードが強制的に設定される場合があります。

●プリンタのプロパティで「コピーガード印刷」を設定します。

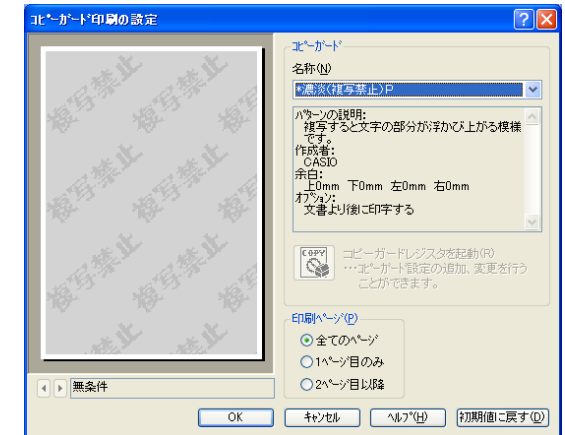
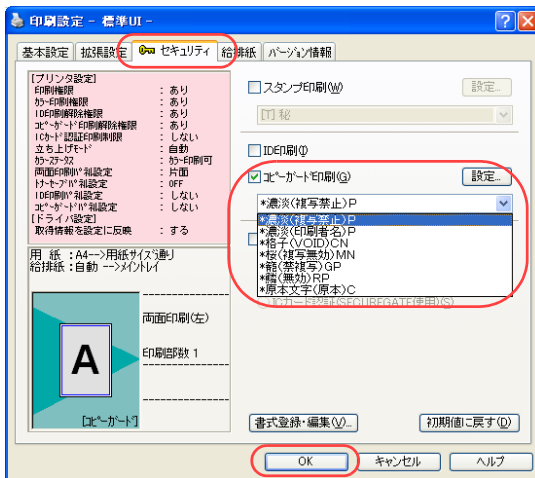
※ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

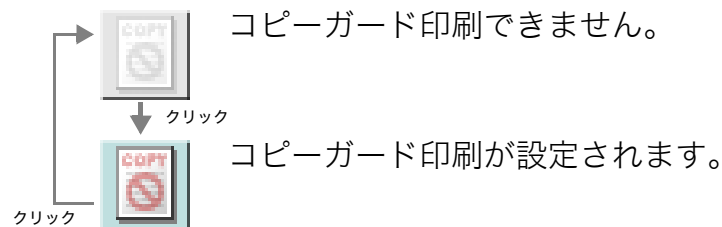
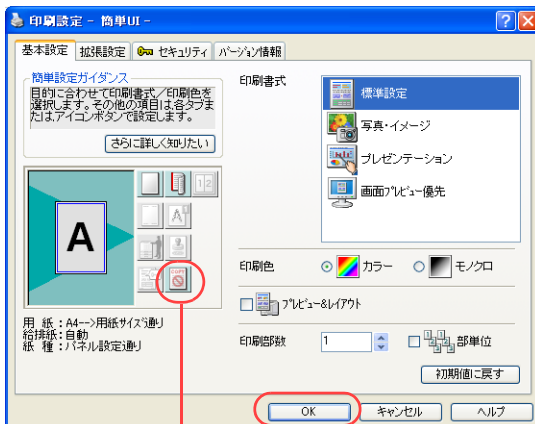
手 順

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. ■標準UIの場合

①「セキュリティ」タブをクリックします。
②「コピーガード印刷」にチェックマークを付け、コピーガードパターンを選択します。
③「OK」ボタンをクリックします。

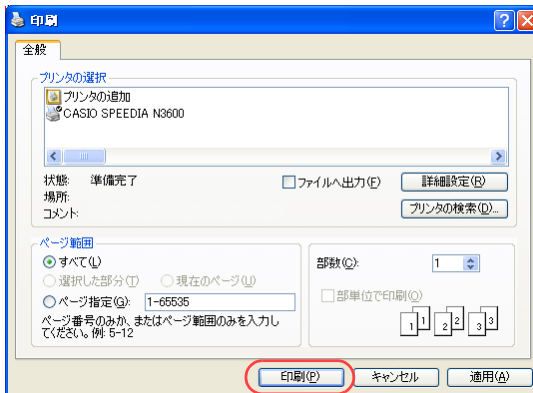
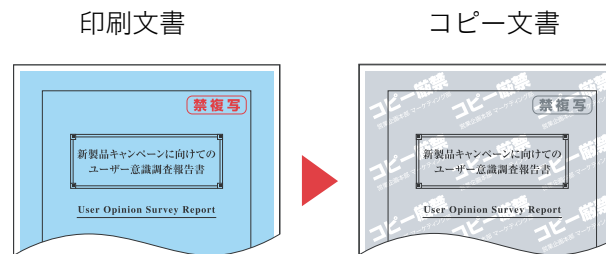
●「設定 ...」ボタンをクリックすると、「コピーガード印刷の設定」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでコピーガードを印刷するページを変更できます。
「印刷ページ」ボタンをクリックして、「全てのページ」、「1ページ目のみ」、「2ページ目以降」から選択します。
また、「コピーガードツール」（有償）をインストールすると、通常はグレーアウトされている「コピーガードレジスタを起動」アイコンが表示され、コピーガードパターンを追加、変更することができます。

■簡単UIの場合

① コピーガードのアイコンをクリックします。

②「OK」ボタンをクリックします。

コピーガード印刷のアイコン

●次の手順で設定することもできます。
コピーガードパターンを変更したい場合は、この手順で操作してください。

①「セキュリティ」タブをクリックします。
②「コピーガード印刷」にチェックマークを付け、コピーガードのパターンを選択します。
③「OK」ボタンをクリックします。

4. 「印刷」ボタンをクリックします。

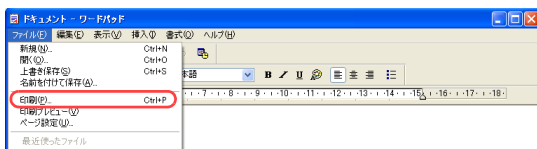
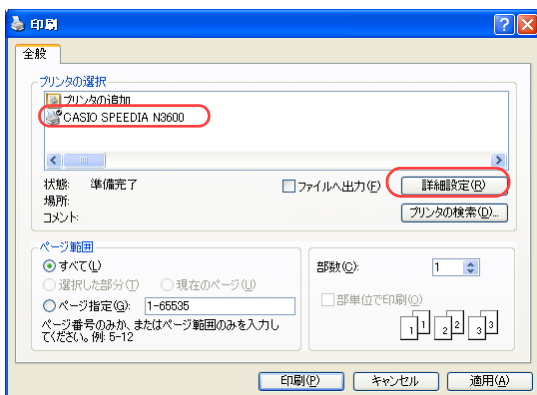
●印刷が開始されます。

■印刷イメージとコピーイメージ

※　図はイメージサンプルです。実際とは異なります。

誰が印刷したかわかるように印刷したい [ID印刷]

文書にセキュリティ情報（Windowsログオンユーザ名/ホスト名/日付と時刻/プリンタシリアル番号）を付加し、誰が印刷した文書かわかるようにして印刷できます。

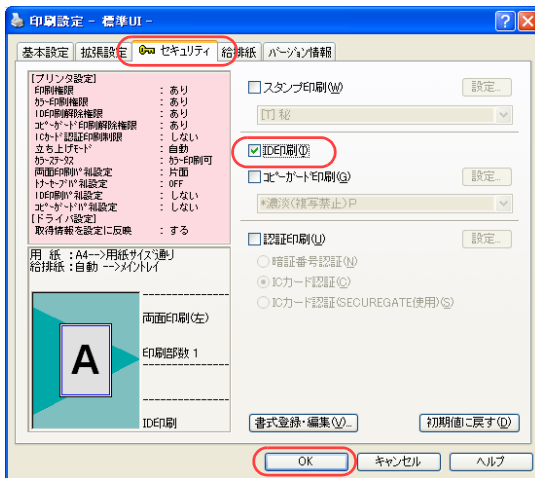
● プリンタのプロパティで「ID印刷」を設定します。

※ ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

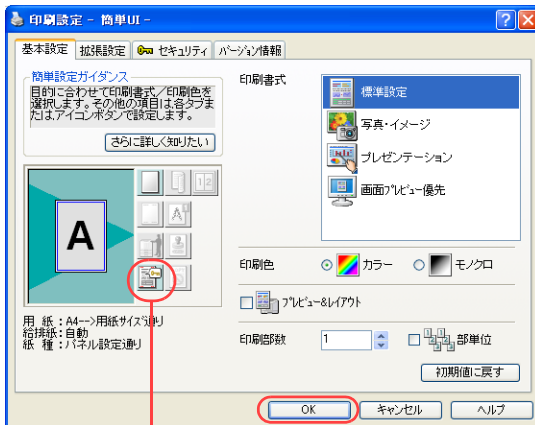
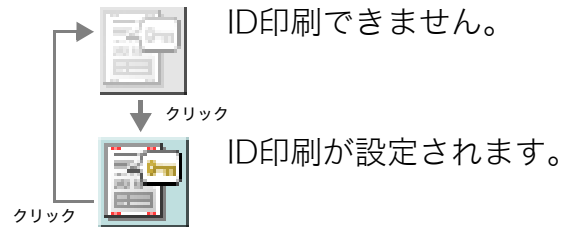
手順

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

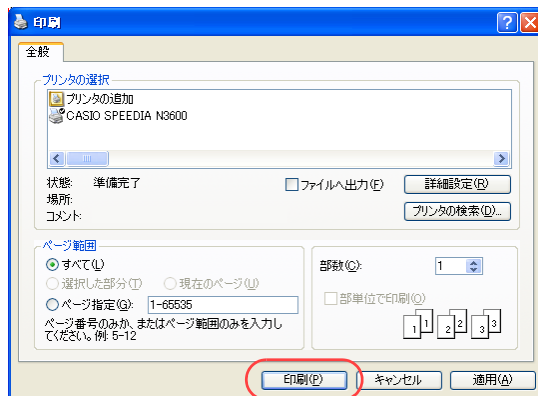
3. ■標準UIの場合

①「セキュリティ」タブをクリックします。
②「ID印刷」にチェックマークを付けます。
③「OK」ボタンをクリックします。

ID印刷のアイコン

■簡単UIの場合

① ID印刷のアイコンをクリックします。

②「OK」ボタンをクリックします。

●次の手順で設定することもできます。

①「セキュリティ」タブをクリックします。
②「ID印刷」にチェックマークを付けます。
③「OK」ボタンをクリックします。

4. 「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。

全ユーザの印刷物にIDを付けたい [印刷権限設定]

プリンタの権限設定を変更し、常にIDを印刷するように設定できます。

※ 使用できるWebブラウザとOSは、次のとおりです。
Webブラウザ
・Microsoft Internet Explorer 6.0 ServicePack1以上
・Mozilla Firefox 1.5以上
OS
・Windows 98/Me/2000/XP/Server2003/Vista

※ 詳しくは ☞ ハードウェアマニュアル Web設定編をご覧ください。

●Webブラウザから「印刷設定」の「ID印刷」で「ID印刷を付加する」を設定します。次に権限設定を開き、「印刷権限設定」で「ID印刷」を設定します。

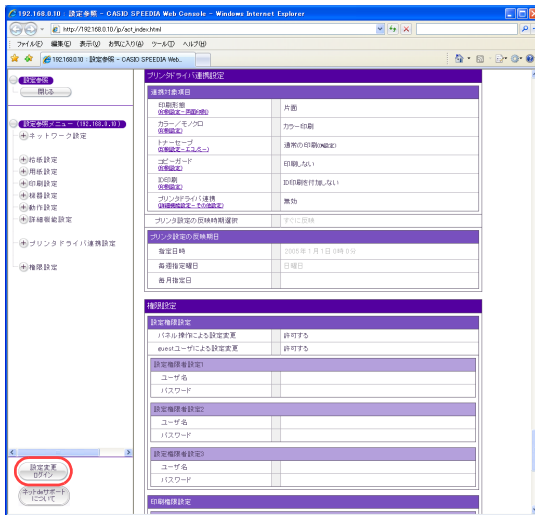
手順

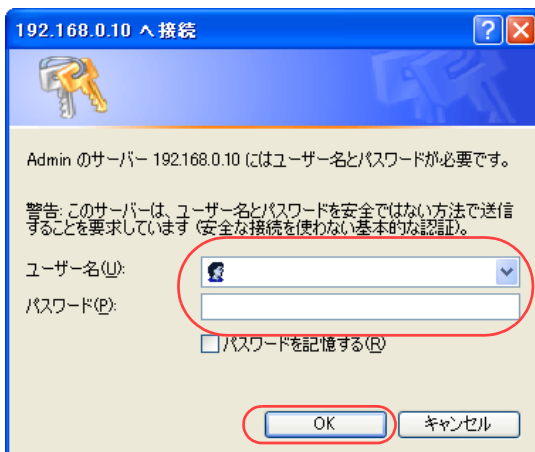
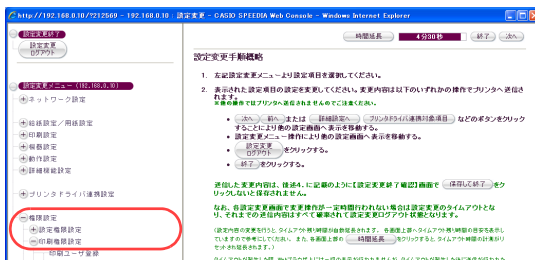
（例） IPアドレスが192.168.0.10の場合

1. Webブラウザを起動します。

2. アドレス欄にプリンタのIPアドレスを入力します。
●プリンタに接続され、Top画面にプリンタの動作状態が表示されます。

3. 「プリンタ設定参照へ」ボタンをクリックします。

4. 「設定変更ログイン」ボタンをクリックします。

5. ログイン画面が表示された場合は、設定権限者登録で登録されているユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

●ログイン画面は、Webブラウザの起動後に 1 回だけ表示されます。
●工場出荷時デフォルトでは、次のように設定されています。
　ユーザー名：guest
　パスワード：（パスワードなし）
●工場出荷時の状態でお使いいただくと、プリンタへアクセスできる多くのユーザが設定変更を行うことができ、印刷結果に思わぬ影響を及ぼすことがあります。
　設定権限者登録でプリンタの管理者を登録した後は、「guest」ユーザは設定変更ができないように、権限を変更しておくことをおすすめします。

6. 「権限設定」、「印刷権限設定」の順に「＋」ボタンをクリックします。

7. 「未登録ユーザのセキュリティ設定」の「ID印刷」をクリックします。

8. 「ID 印刷を解除できない（se)」をクリックし、「設定変更ログアウト」ボタン、または「終了」ボタンをクリックします。

9. 「保存して終了」ボタンをクリックします。

●変更した設定内容がプリンタに反映されます。
●プリンタドライバのID印刷がグレー表示されます。

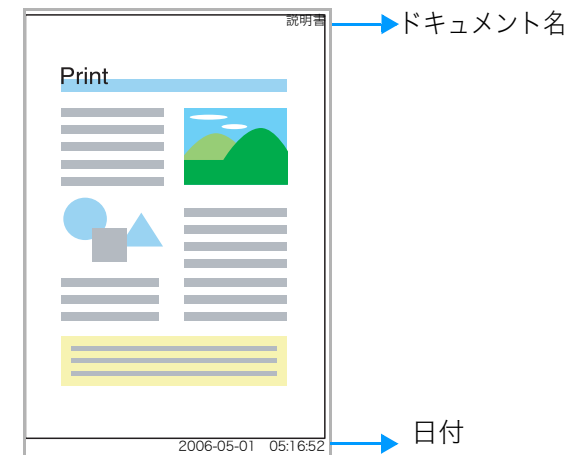
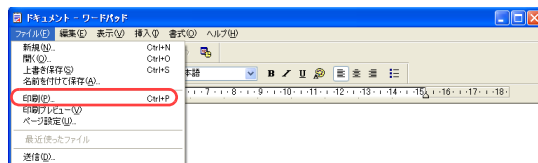
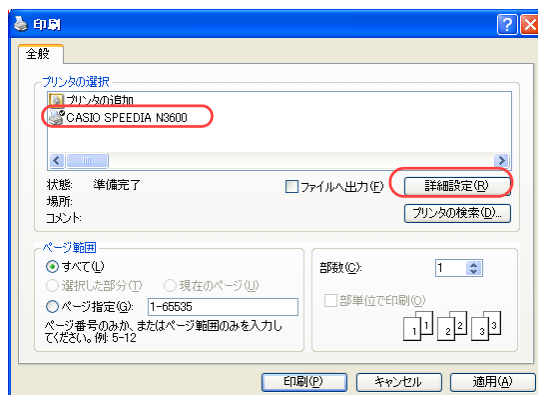
ヘッダやフッタを付けて印刷したい [ヘッダ・フッタ印刷]

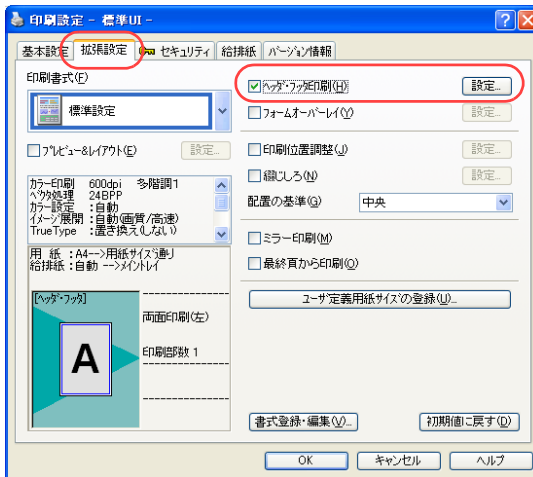
文書にヘッダやフッタを付加して印刷できます。
ヘッダやフッタとして印刷できる情報は、ユーザ名、ドキュメント名、日付と時刻、ページ番号、任意のテキストです。

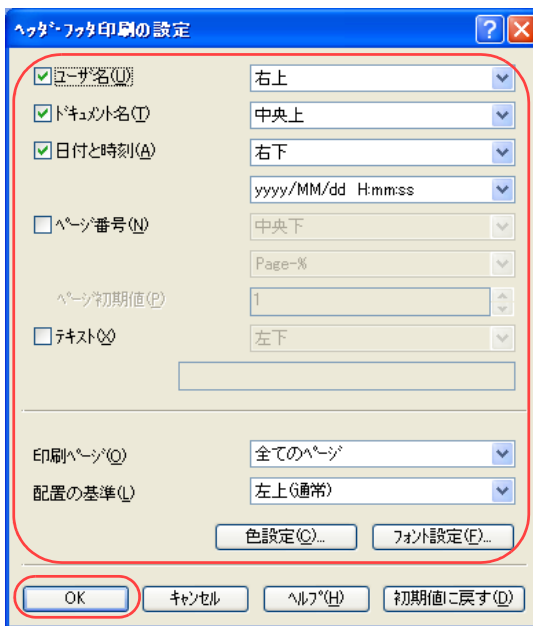
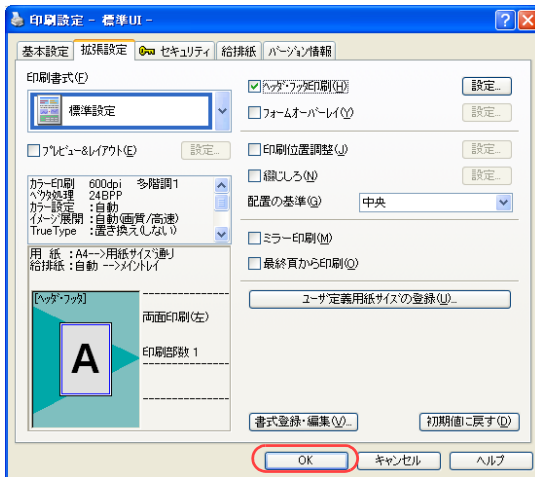
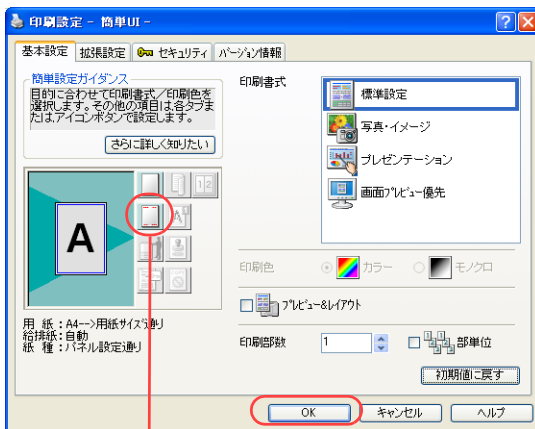
ヘッダ･フッタを印刷(例)

● プリンタのプロパティで「ヘッダ・フッタ印刷」を設定します。

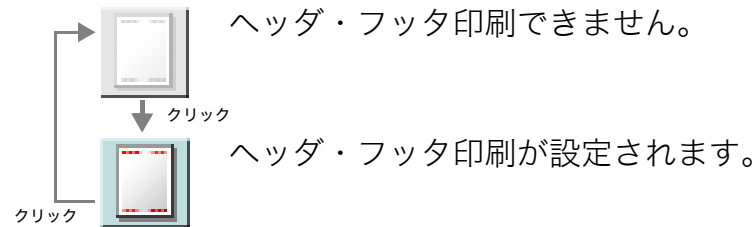
※ ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。
他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

手 順

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. ■標準UIの場合

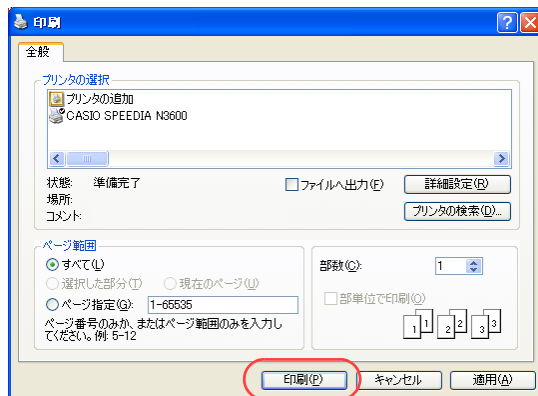
①「拡張設定」タブをクリックします。
②「ヘッダ・フッタ印刷」にチェックマークを付けます。
③「設定...」ボタンをクリックします。
●「ヘッダ・フッタ印刷の設定」ダイアログボックスが表示されます。

④ ヘッダ・フッタとして印刷する情報にチェックマークを付け、印刷する位置を選択します。
●必要に応じて、「印刷ページ」、「配置の基準」を設定します。
●「色設定」ボタン、「フォント設定」ボタンをクリックすると、ヘッダやフッタの色やフォントを設定できます。
⑤「OK」ボタンをクリックします。

⑥「OK」ボタンをクリックします。

ヘッダ・フッタ印刷のアイコン

■簡単UIの場合

① ヘッダ・フッタ印刷のアイコンをクリックします。

②「OK」ボタンをクリックします。

●「拡張設定」タブの「ヘッダ・フッタ印刷の設定」で設定されている情報と印刷位置が反映されます。

●次の手順で設定することもできます。

①「拡張設定」タブをクリックします。
②「ヘッダ・フッタ印刷」にチェックマークを付けます。
③「設定 ...」ボタンをクリックし、「ヘッダ・フッタ印刷の設定」ダイアログボックスで、ヘッダ・フッタとして印刷する情報や印刷位置などを設定し、「OK」ボタンをクリックします。
詳しくは ☞ ■標準UIの場合（86 ページ） をご覧ください。
④「OK」ボタンをクリックします。

4. 「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。

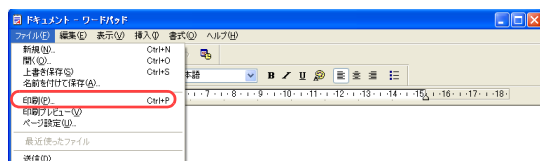
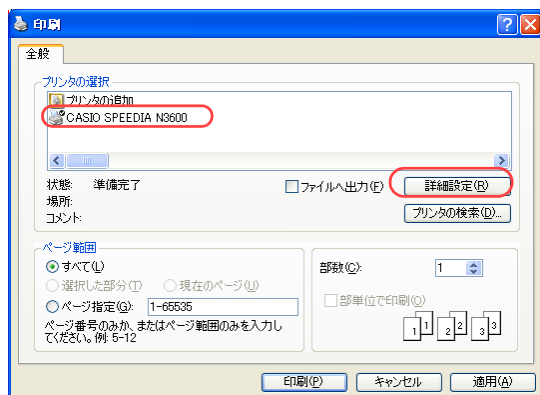
複写禁止などのスタンプを付けて印刷したい [スタンプ印刷]

印刷文書に、会社のロゴや、複写禁止/機密を示すスタンプを付加して印刷できます。

ロゴや、機密を示すスタンプを付加して印刷

● プリンタのプロパティで「スタンプ印刷」を設定します。

※ ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。
他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

手順

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

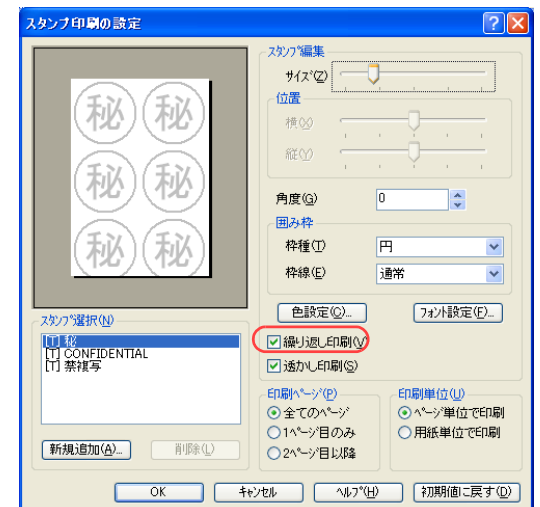
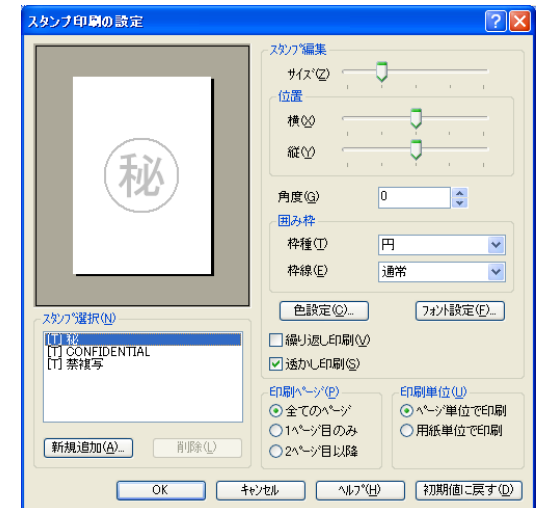
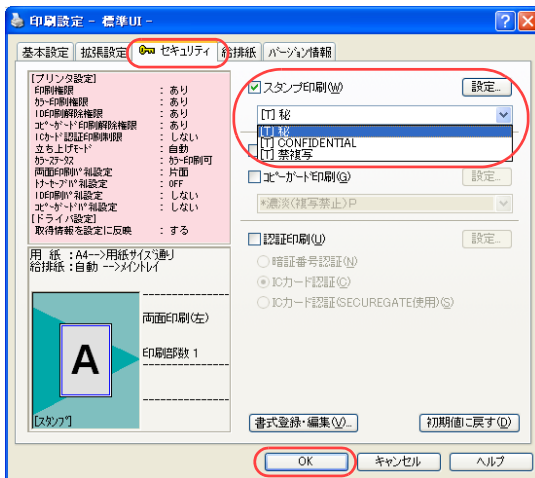
●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. ■標準UIの場合

①「セキュリティ」タブをクリックします。
②「スタンプ印刷」にチェックマークを付け、スタンプの種類を選択します。
③「OK」ボタンをクリックします。

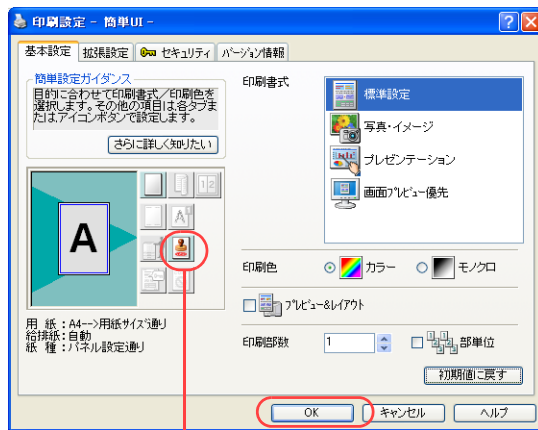
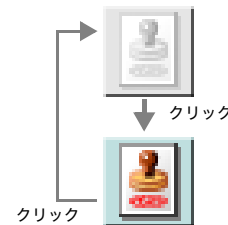
●「設定 ...」ボタンをクリックすると、「スタンプ印刷の設定」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、スタンプの形、色、大きさなどを変更できます。

- 新しくスタンプを追加したい場合は、「新規追加」ボタンをクリックします。スタンプにする文字を入力したり、ビットマップ形式の画像を取り込んでスタンプを作成できます。

- 「繰り返し印刷」にチェックマークを付けると、スタンプ画像を用紙全体に繰り返し、用紙の地模様のように印刷できます。

スタンプ印刷のアイコン

■簡単UIの場合

※簡単UIでは、スタンプの形、色、大きさなどを変更したり、スタンプを新規追加したりすることはできません。このような場合は、標準UIを使用してください。

①スタンプ印刷のアイコンをクリックします。

スタンプ印刷は設定されません。

スタンプ印刷が設定されます。

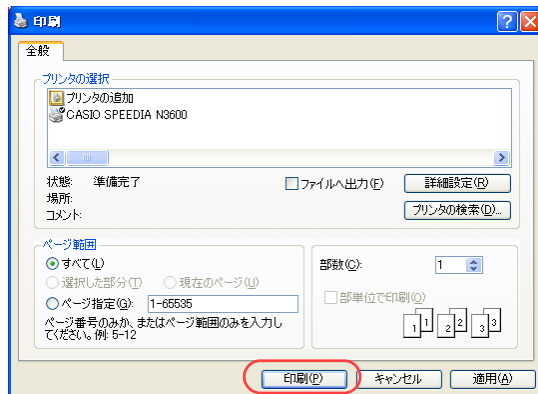
- スタンプの種類は、「セキュリティ」タブの「スタンプ印刷」の初期値が選択されます。
  プリンタドライバインストール時は、初期値が㊙に設定されています。

②「OK」ボタンをクリックします。

●次の手順で設定することもできます。

①「セキュリティ」タブをクリックします。
②「スタンプ印刷」にチェックマークを付けます。
③「OK」ボタンをクリックします。

4. 「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。

カラー印刷できるユーザを制限したい [印刷権限設定]

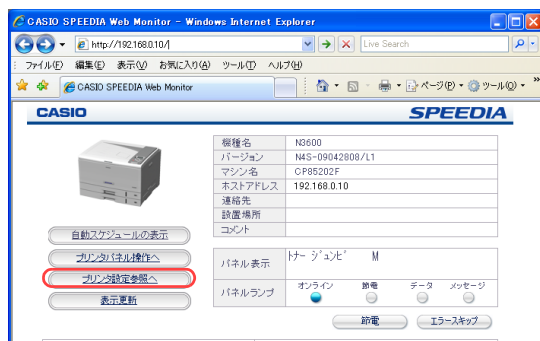
プリンタの権限設定を変更し、カラー印刷できるユーザを制限するように設定できます。

※ 使用できるWebブラウザとOSは、次のとおりです。
Webブラウザ
・Microsoft Internet Explorer 6.0 ServicePack1以上
・Mozilla Firefox 1.5以上
OS
・Windows 98/Me/2000/XP/Server2003/Vista

※ 詳しくは ハードウェアマニュアル Web設定編をご覧ください。

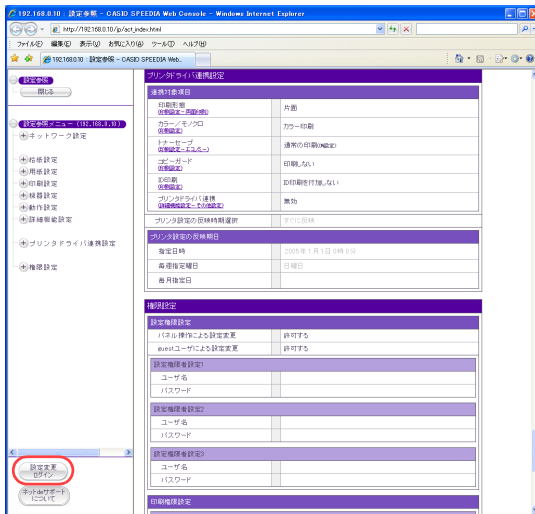
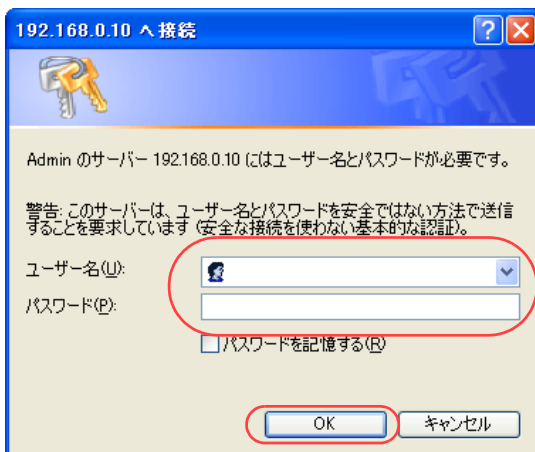
●Webブラウザから「権限設定」を開き、「印刷権限設定」で「モノクロ印刷のみを許可する」を設定します。

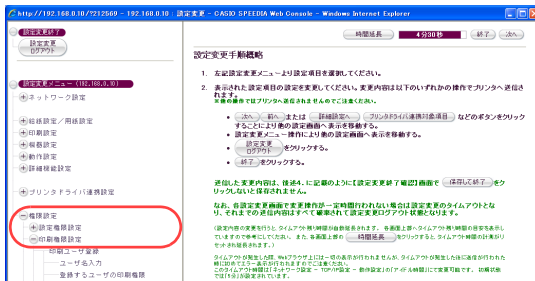
手順

（例） IPアドレスが192.168.0.10の場合

1. Webブラウザを起動します。

2. アドレス欄にプリンタのIPアドレスを入力します。
●プリンタに接続され、Top画面にプリンタの動作状態が表示されます。

3. 「プリンタ設定参照へ」ボタンをクリックします。

4. 「設定変更ログイン」ボタンをクリックします。

5. ログイン画面が表示された場合は、設定権限者登録で登録されているユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

●ログイン画面は、Webブラウザの起動後に1回だけ表示されます。
●工場出荷時デフォルトでは、次のように設定されています。
　ユーザー名：guest
　パスワード：（パスワードなし）
●工場出荷時の状態でお使いいただくと、プリンタへアクセスできる多くのユーザが設定変更を行うことができ、印刷結果に思わぬ影響を及ぼすことがあります。
　設定権限者登録でプリンタの管理者を登録した後は、「guest」ユーザは設定変更ができないように、権限を変更しておくことをおすすめします。

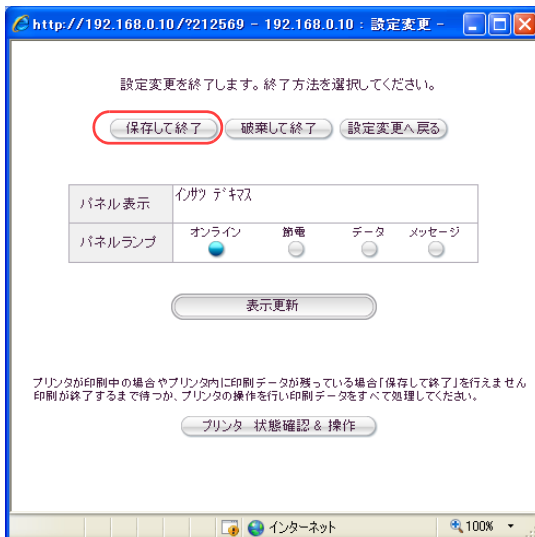
6. 「権限設定」、「印刷権限設定」の順に「＋」ボタンをクリックします。

7. 「印刷ユーザ登録」をクリックします。

8. 次の手順でカラー印刷を許可するユーザを登録します。

①「ユーザ名入力」にカラー印刷を許可するユーザを入力します。
②「登録するユーザの印刷権限」の「印刷を制限しない（pa）」にチェックマークを付けます。
③「追加」ボタンをクリックします。
④ ①〜③の手順を繰り返し、カラー印刷を許可するユーザを登録します。
⑤「未登録ユーザの設定」の「未登録ユーザの印刷権限」で「モノクロ印刷のみ許可する（pm）」にチェックマークを付けます。

9. 「設定変更ログアウト」ボタン、または「終了」ボタンをクリックします。

10. 「保存して終了」ボタンをクリックします。

●変更した設定内容がプリンタに反映されます。

印刷できるユーザをIPアドレスで制限したい [ネットワーク印刷制限設定]

プリンタの権限設定で印刷を許可するIPアドレスを登録し、印刷できるユーザを制限するように設定できます。

※ 使用できるWebブラウザとOSは、次のとおりです。
Webブラウザ
・Microsoft Internet Explorer 6.0 ServicePack1以上
・Mozilla Firefox 1.5以上
OS
・Windows 98/Me/2000/XP/Server2003/Vista

※ 詳しくは ☞ **ハードウェアマニュアル Web設定編**をご覧ください。

●Webブラウザから「権限設定」を開き、「印刷制限設定」で「ネットワーク印刷制限設定」を設定します。

手 順

1. Webブラウザを起動します。

2. アドレス欄にプリンタのIPアドレスを入力します。
●プリンタに接続され、Top画面にプリンタの動作状態が表示されます。

（例） IPアドレスが192.168.0.10の場合

3. 「プリンタ設定参照へ」ボタンをクリックします。

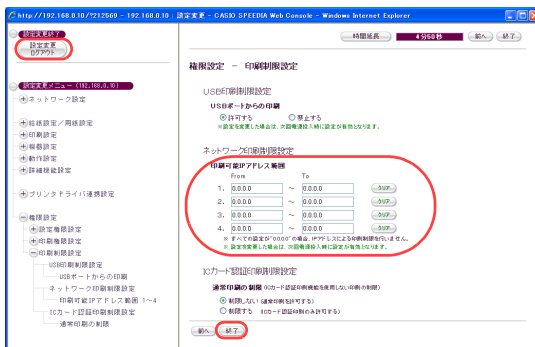
4. 「設定変更ログイン」ボタンをクリックします。

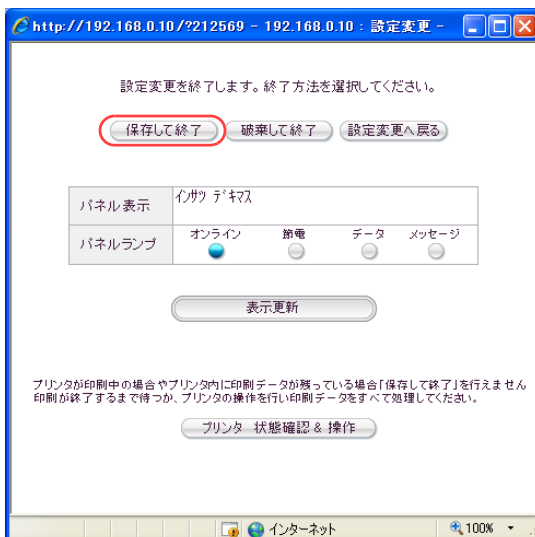
5. ログイン画面が表示された場合は、設定権限者登録で登録されているユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

●ログイン画面は、Webブラウザの起動後に 1 回だけ表示されます。
●工場出荷時デフォルトでは、次のように設定されています。
ユーザー名：guest
パスワード：（パスワードなし）
●工場出荷時の状態でお使いいただくと、プリンタへアクセスできる多くのユーザが設定変更を行うことができ、印刷結果に思わぬ影響を及ぼすことがあります。
設定権限者登録でプリンタの管理者を登録した後は、「guest」ユーザは設定変更ができないように、権限を変更しておくことをおすすめします。

6. 「権限設定」、「印刷制限設定」の順に「＋」ボタンをクリックします。

7. 「ネットワーク印刷制限設定」をクリックします。

8. 「印刷可能IPアドレス範囲」に印刷を許可するIPアドレスの範囲を入力し、「設定変更ログアウト」ボタン、または「終了」ボタンをクリックします。

9. 「保存して終了」ボタンをクリックします。

●変更した設定内容がプリンタに反映されます。

10. プリンタの電源をOFF/ONします。

USBポートを利用できないようにしたい [USB印刷制限設定]

プリンタの権限設定でUSBポートを利用できないように設定できます。

※ 使用できるWebブラウザとOSは、次のとおりです。
　Webブラウザ
　　・Microsoft Internet Explorer 6.0 ServicePack1以上
　　・Mozilla Firefox 1.5以上
　OS
　　・Windows 98/Me/2000/XP/Server2003/Vista

※ 詳しくは ハードウェアマニュアル Web設定編をご覧ください。

●Webブラウザから「権限設定」を開き、「印刷制限設定」で「USB印刷制限設定」を設定します。

手順

（例） IPアドレスが192.168.0.10の場合

1. Webブラウザを起動します。

2. アドレス欄にプリンタのIPアドレスを入力します。
   ●プリンタに接続され、Top画面にプリンタの動作状態が表示されます。

3. 「プリンタ設定参照へ」ボタンをクリックします。

4. 「設定変更ログイン」ボタンをクリックします。

5. ログイン画面が表示された場合は、設定権限者登録で登録されているユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

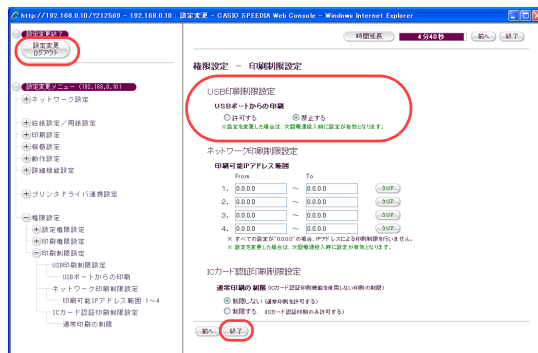
●ログイン画面は、Webブラウザの起動後に 1 回だけ表示されます。

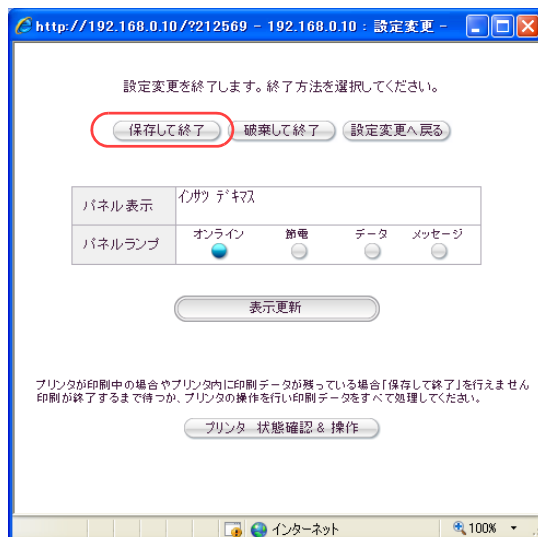
●工場出荷時デフォルトでは、次のように設定されています。
ユーザー名：guest
パスワード：（パスワードなし）

●工場出荷時の状態でお使いいただくと、プリンタへアクセスできる多くのユーザが設定変更を行うことができ、印刷結果に思わぬ影響を及ぼすことがあります。
設定権限者登録でプリンタの管理者を登録した後は、「guest」ユーザは設定変更ができないように、権限を変更しておくことをおすすめします。

6. 「権限設定」、「印刷制限設定」の順に「＋」ボタンをクリックします。

7. 「USB印刷制限設定」をクリックします。

8. 「USBポートからの印刷」の「禁止する」にチェックマークを付け、「設定変更ログアウト」ボタン、または「終了」ボタンをクリックします。

9. 「保存して終了」ボタンをクリックします。

●変更した設定内容がプリンタに反映されます。

10. プリンタの電源をOFF/ONします。

知っていると便利な使い方編

この編では、写真を高画質で印刷する方法、不定形サイズ、封筒／はがきなど特殊な用紙への印刷方法、大きな印刷物の作成方法など、知っていると便利な操作について説明しています。

部単位で高速に印刷したい [部単位]

部単位で文書を印刷する場合に、「部単位」を設定するとより高速で印刷できます。
プリンタにハードディスクを搭載すると、さらに高速な部単位コピー印刷が可能になります。

注意

- 「環境設定」タブの「動作設定」－「部単位コピー印刷の設定」により動作が異なります。
- 「環境設定」タブの「動作設定」－「部単位コピー印刷の設定」－「プリンタ側ハードディスク／メモリを使用する」を設定せずにこの機能を利用する場合、部数分の印刷データをコンピュータ側のディスクに作成した上でプリンタに出力するため、印刷開始までに時間がかかる場合があります。また、コンピュータ側のディスク（Windowsテンポラリ領域）には、全部数分の印刷データを格納するための空き容量が必要となります。
- 「印刷部数」が 1 部の場合、この設定は無効となります。

● プリンタドライバのイントール後に、「環境設定」タブの「装置構成」でハードディスクを設定しておく必要があります。この操作は 1 回だけで、以降は不要です。

☞ 装置構成を設定する（ハードディスクの追加）（103 ページ）

● 印刷を指示するときは、プリンタのプロパティで「部単位」を設定します。

☞ 部単位を設定する（105 ページ）

手 順

装置構成を設定する（ハードディスクの追加）

※「環境設定」タブは、アプリケーション側からは表示できません。必ず、OSの「プリンタとFAX」フォルダから操作してください。

※「ハードディスク」が既に「装着済」に表示されている場合、この操作は不要です。

1. 「スタート」メニューの「プリンタとFAX」を選択して「プリンタとFAX」フォルダを開きます。

●Windows 98/Me/2000の場合は、「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を開きます。

2. 「CASIO SPEEDIA N3600」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

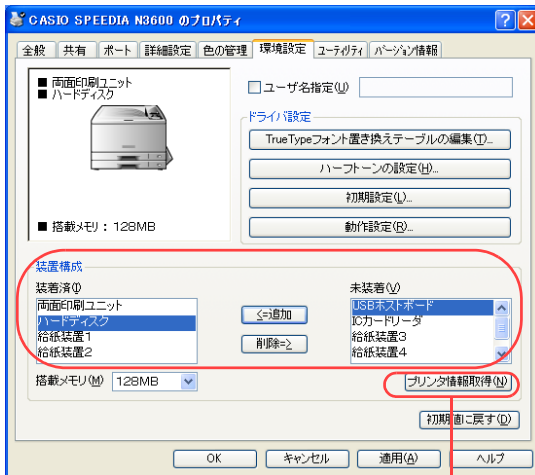
3. 「環境設定」タブをクリックします。

「プリンタ情報取得」ボタン

4. 「装置構成」の「未装着」に表示されている「ハードディスク」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

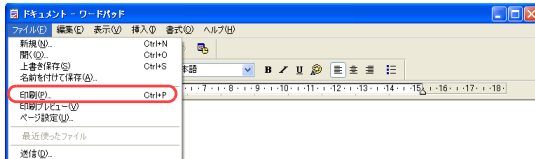
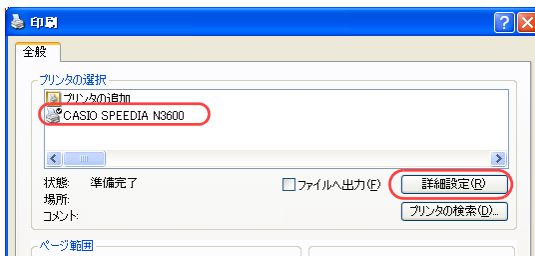
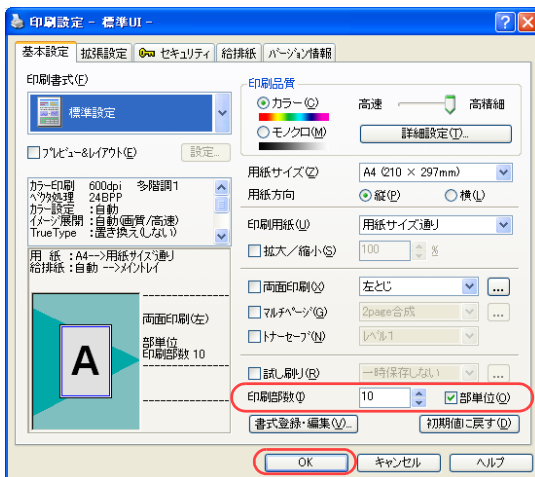
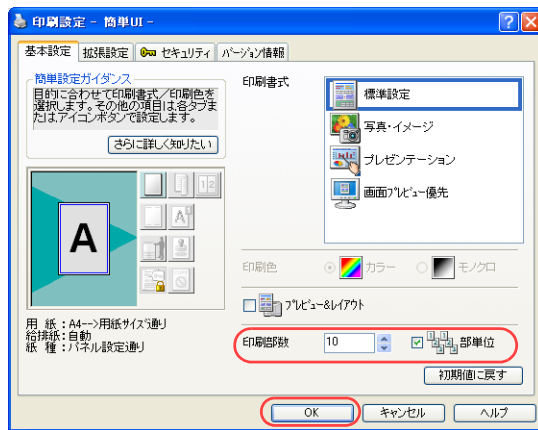
●「ハードディスク」が「装着済」に表示されます。

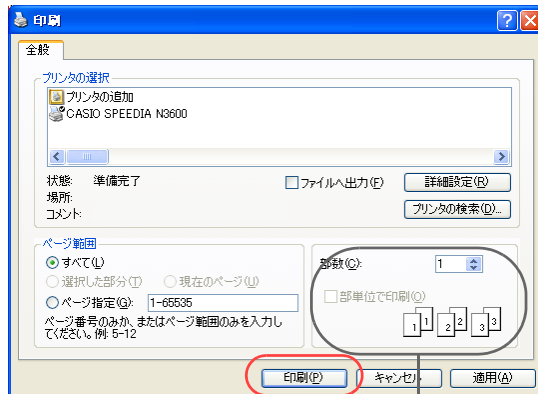
●「プリンタ情報取得」ボタン

- TCP/IP ネットワーク接続で、印刷ポートに「Standard TCP/IP Port」を使用している場合、このボタンをクリックするとプリンタの装置構成を自動的に取得できます。
- USB接続の場合、コンピュータのUSBボード設定、USBハブとの相性、ケーブル長などにより、プリンタの装置構成を自動的に取得できないことがあります。
  この場合は、「プリンタ情報取得」ボタンがグレーになりますので、プリンタの装置構成に合わせ、上記（手順４）の操作で装置構成を設定してください。

5. 「OK」ボタンをクリックします。

部単位を設定する

アプリケーションから印刷するときに、プリンタのプロパティで「部単位」を設定します。

※ ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。
   ●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. ■標準UIの場合
   ①「印刷部数」を設定します。
   ②「部単位」にチェックマークを付けます。
   ③「OK」ボタンをクリックします。

■簡単UIの場合

①「印刷部数」を設定します。
②「部単位」にチェックマークを付けます。
③「OK」ボタンをクリックします。

プリンタドライバで設定した部数や部単位

4. 「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。
印刷中は、プリンタの表示パネルに次のようなメッセージが表示されます。

<表示例>

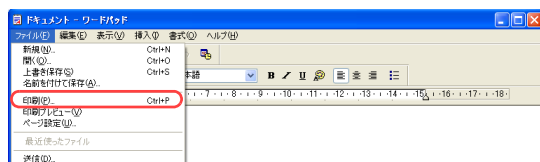
注意　・アプリケーションによっては、プリンタドライバで設定した部数や部単位の設定内容が「印刷」画面に反映されない場合あります。このようなときは、アプリケーション側の部数や部単位も設定してください。

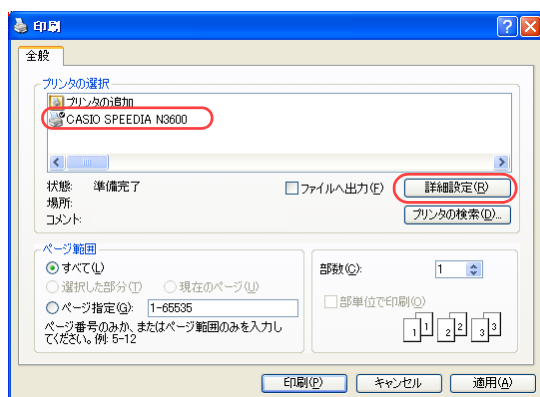
写真をきれいに印刷したい [写真・イメージ]

写真原稿の場合に、プリンタドライバの印刷書式を変更すると、より鮮明に印刷できます。

●プリンタのプロパティで「印刷書式」を「写真・イメージ」に設定します。

●「写真・イメージ」では、解像度600dpi、多階調に設定されます。「標準設定」の場合に比べて、階調を重視した方式（色の変化を細かく表す方式）で印刷され、文字、写真、画像が統一した色合いで印刷されます。
文字や画像については「標準設定」の場合に比べて、若干明るめの印刷結果になります。

※ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

手順

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

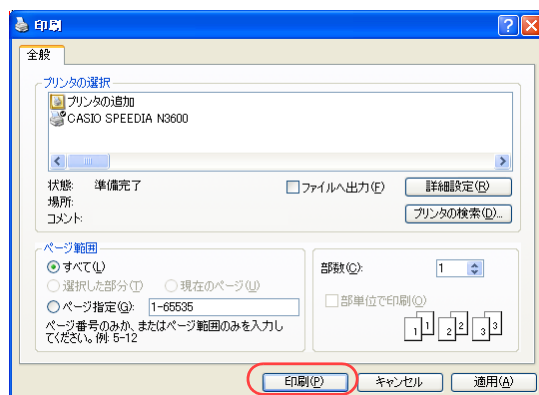
●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. ■標準UIの場合/簡単UIの場合

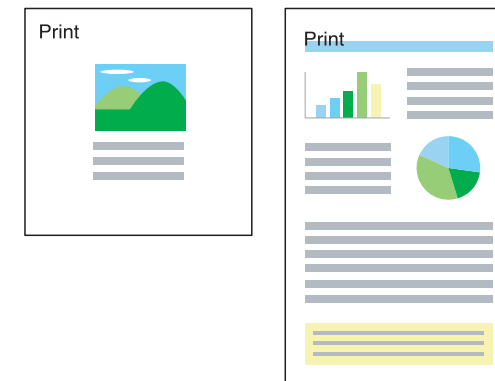
①「印刷書式」の「写真・イメージ」を選択します。

②「OK」ボタンをクリックします。

4. 「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。

不定形サイズの用紙に印刷したい [ユーザ定義用紙サイズ]

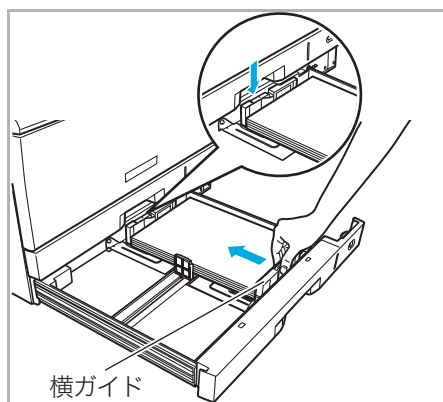
不定型サイズの用紙に印刷するように設定できます。ここでは、一時的に設定を不定形サイズに変更して印刷する操作を説明します。

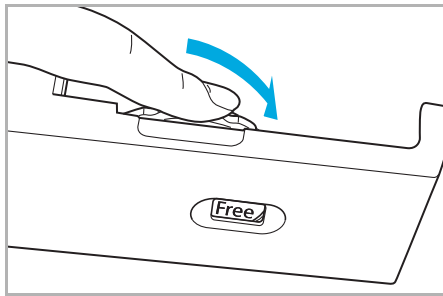
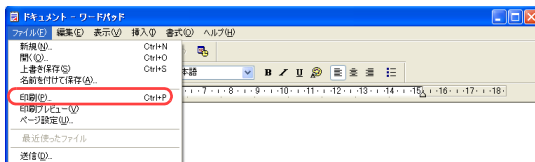
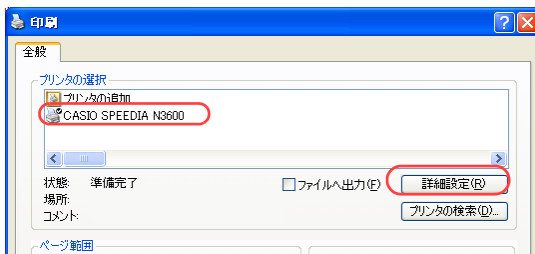
不定形サイズに印刷

※ 常に不定形サイズに印刷する場合は、☞ **不定形サイズを登録しておく [ユーザ定義用紙サイズ]（113 ページ）**を参照して、Webブラウザまたはプリンタ操作パネルで、ユーザ定義用紙を登録してください。

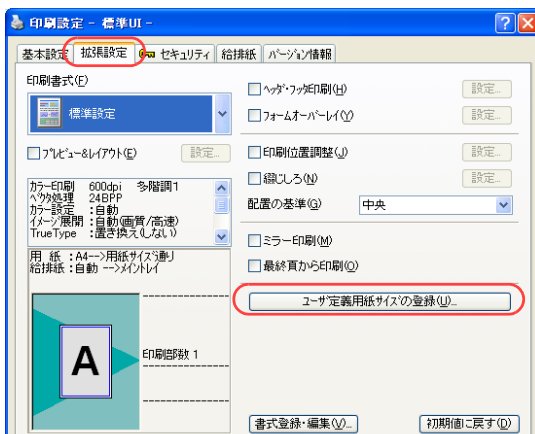
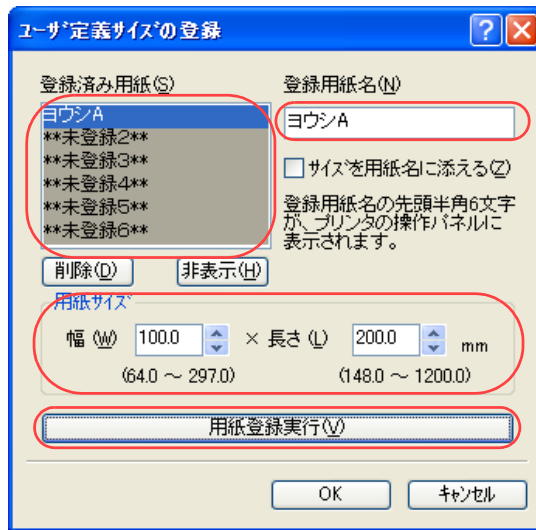
※ 不定形サイズとは、長辺の長さが432mm以下の用紙を指します。432mmより長い用紙は「長尺紙」と呼んで区別しています。長尺紙に印刷したい場合は、☞ **長尺紙に印刷したい [長尺紙]（128 ページ）**をご覧ください。

※ ユーザ定義用紙サイズは、標準UIの場合にだけ設定できます。簡単UIでは設定できません。

● プリンタのプロパティで「ユーザ定義用紙」を設定します。

※ ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

手 順

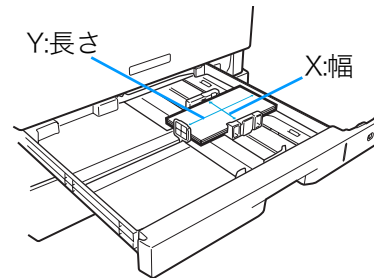
1. 用紙をそろえ、印刷する面を上向きにしてカセットに入れます。横ガイドと後ろガイドを用紙に軽く当たる位置に固定します。

2. 用紙サイズダイヤルを「Free」に合わせて、ペーパカセットをプリンタに奥までゆっくり差し込みます。

3. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

4. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

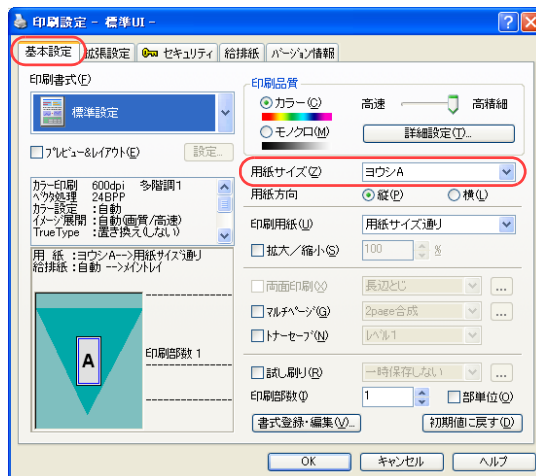
●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

5. 次の手順で、「ユーザ定義サイズの登録」ダイアログボックスを表示します。

①「拡張設定」タブをクリックします。

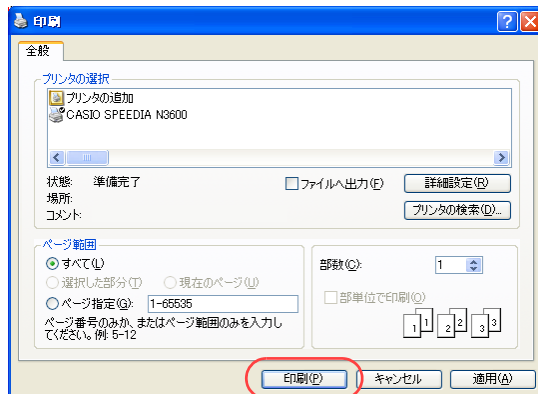
②「ユーザ定義用紙サイズの登録」ボタンをクリックします。

6. 次の手順で、ユーザ定義サイズを登録します。
（例）100mm×200mmの用紙を登録する場合

①「登録済み用紙」から「**未登録1**」を選択します。
②「登録用紙の名前」に用紙名を入力します。
- 20文字まで登録できます。ただし、「基本設定」タブの「用紙サイズ」リストボックスに表示できる文字は10文字までです。

③「用紙サイズ」の「幅」と「長さ」に、用紙サイズを入力します。

X......................用紙の幅です。
プリンタの用紙給紙方向(用紙が進む方向)に対し、垂直方向の長さです。
Y......................用紙の長さです。
プリンタの用紙給紙方向(用紙が進む方向)に対し、水平方向の長さです。

④「用紙登録実行」ボタンをクリックします。
⑤「OK」ボタンをクリックします。

7. 「基本設定」タブをクリックし、「用紙サイズ」に手順6で登録した用紙名が表示されていることを確認します。

8. 「給排紙」タブをクリックし、「位置」から用紙をセットした給紙口を選択して「OK」ボタンをクリックします。

9. 「印刷」ボタンをクリックします。

●プリンタの表示パネルに用紙交換のメッセージが表示されます。

＜表示例＞

ヨウシ　コウカン　　ヨウシ A 　CPF 1

10. 設定された用紙がカセットにセットされていることを確認し、決定ボタンを押します。

●表示できない用紙名の場合は、「□□□」が表示されます。

●次回も同じ用紙に印刷する場合は、手順９のメッセージは表示されません。

不定形サイズを登録しておく［ユーザ定義用紙サイズ］

よく不定形サイズに印刷する場合は、用紙サイズに不定形サイズが表示されるように設定しておくことができます。

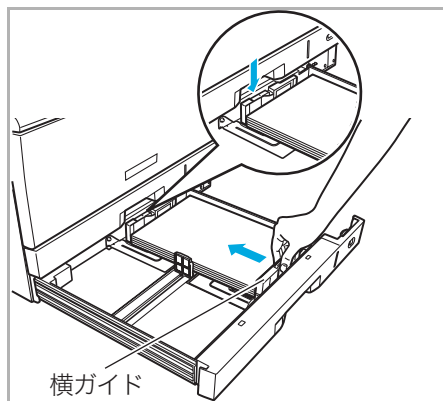
※ ここでは、常に不定形サイズに印刷する場合の操作を説明します。
一時的に不定形サイズに印刷する場合は、☞ **不定形サイズの用紙に印刷したい［ユーザ定義用紙サイズ］（109 ページ）**をご覧ください。

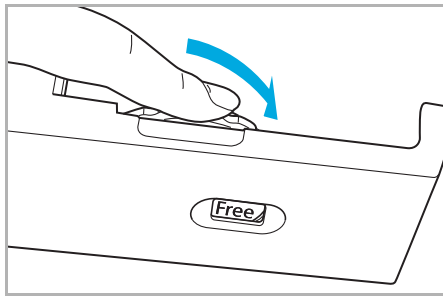
※ 不定形サイズとは、長辺の長さが432mm以下の用紙を指します。432mmより長い用紙は「長尺紙」と呼んで区別しています。長尺紙に印刷したい場合は、☞ **長尺紙に印刷したい［長尺紙］（128 ページ）**をご覧ください。

※ ユーザ定義用紙サイズは、標準UIの場合にだけ設定できます。簡単UIでは設定できません。

不定形サイズに印刷

● Webブラウザから「給紙設定／用紙設定」を開き、「ユーザ定義用紙」を設定します。
☞ **Webブラウザでユーザ定義用紙を設定する（114 ページ）**

● プリンタ操作パネルで「ユーザ定義用紙」を設定することもできます。
詳しくは ☞ **ハードウェアマニュアル 操作パネル編**をご覧ください。

手 順

1. 用紙をそろえ、印刷する面を上向きにしてカセットに入れます。横ガイドと後ろガイドを用紙に軽く当たる位置に固定します。

2. 用紙サイズダイヤルを「Free」に合わせて、ペーパカセットをプリンタに奥までゆっくり差し込みます。

≪N6100の場合≫

●用紙サイズダイヤルを「＊」または「＊＊」に合わせます。

Webブラウザでユーザ定義用紙を設定する

Webブラウザで、ユーザ定義用紙サイズを設定します。

※ 使用できるWebブラウザとOSは、次のとおりです。
Webブラウザ
・Microsoft Internet Explorer 6.0 ServicePack1以上
・Mozilla Firefox 1.5以上
OS
・Windows 98/Me/2000/XP/Server2003/Vista

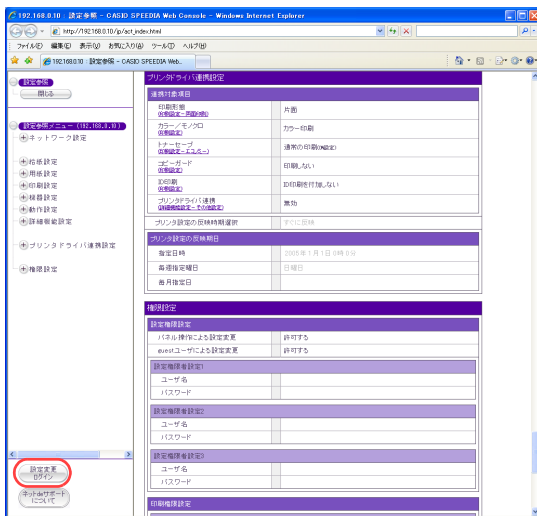
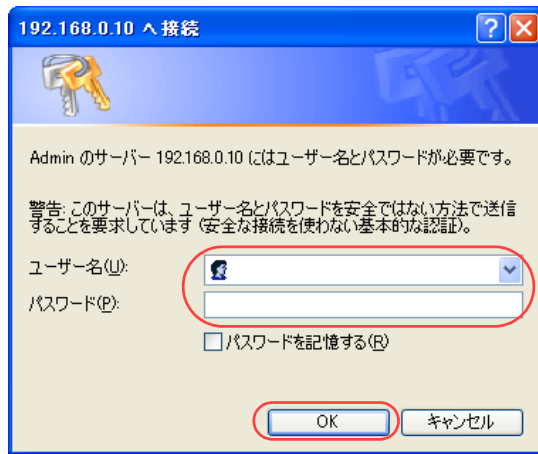
※ 詳しくは ☞ **ハードウェアマニュアル Web設定編**をご覧ください。

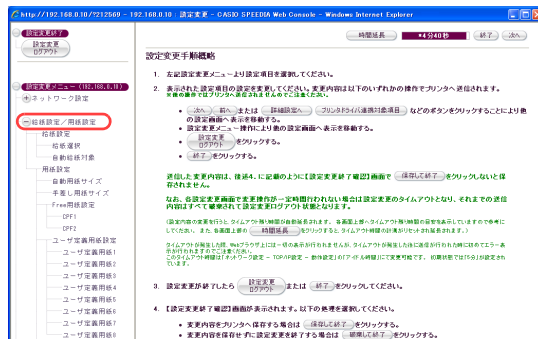
（例） IPアドレスが192.168.0.10の場合

3. Webブラウザを起動します。

4. アドレス欄にプリンタのIPアドレスを入力します。
●プリンタに接続され、Top画面にプリンタの動作状態が表示されます。

5. 「プリンタ設定参照へ」ボタンをクリックします。

6. 「設定変更ログイン」ボタンをクリックします。

7. ログイン画面が表示された場合は、設定権限者登録で登録されているユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

●ログイン画面は、Webブラウザの起動後に 1 回だけ表示されます。
●工場出荷時デフォルトでは、次のように設定されています。
　ユーザー名：guest
　パスワード：（パスワードなし）
●工場出荷時の状態でお使いいただくと、プリンタへアクセスできる多くのユーザが設定変更を行うことができ、印刷結果に思わぬ影響を及ぼすことがあります。
　設定権限者登録でプリンタの管理者を登録した後は、「guest」ユーザは設定変更ができないように、権限を変更しておくことをおすすめします。

8. 「給紙設定／用紙設定」の「＋」ボタンをクリックします。

9. 「ユーザ定義用紙設定」をクリックします。

10. 次の手順でユーザ定義用紙を設定します。

①「ユーザ定義用紙」の「名前」に用紙名を入力します。

（例）ヨウシA

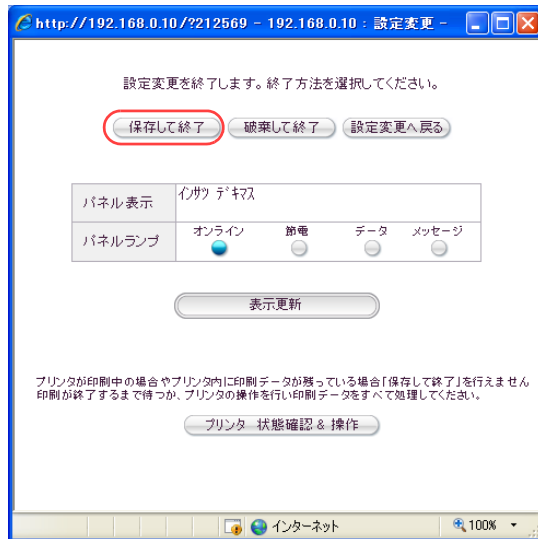
●用紙名は、6 文字まで入力できます。半角英数字カタカナ（ASCII<2A>H 除く <20>H 〜 <7F>H､<A0>H〜<DF>H）だけを使用できます。

②「横サイズ」、「縦サイズ」にそれぞれサイズを入力します。

（例）横サイズ：100.0mm、縦サイズ：200.0mm

11.「Free用紙設定」の、不定形サイズの用紙をセットした給紙口に手順10のユーザ定義用紙を設定します。

（例）CPF1（本体上段カセット）に不定形用紙をセットした場合

12.「設定変更ログアウト」ボタン、または「終了」ボタンをクリックします。

13.「保存して終了」ボタンをクリックします。

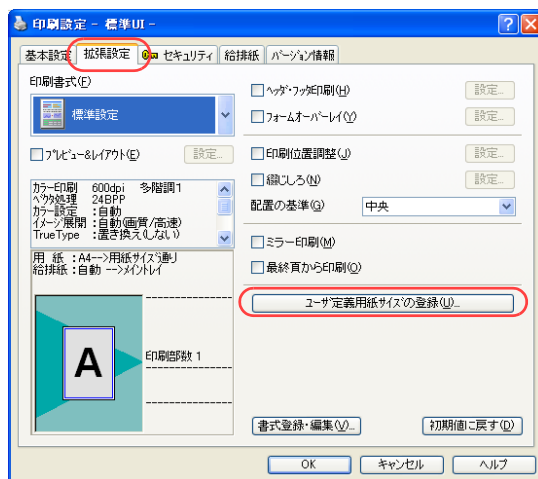
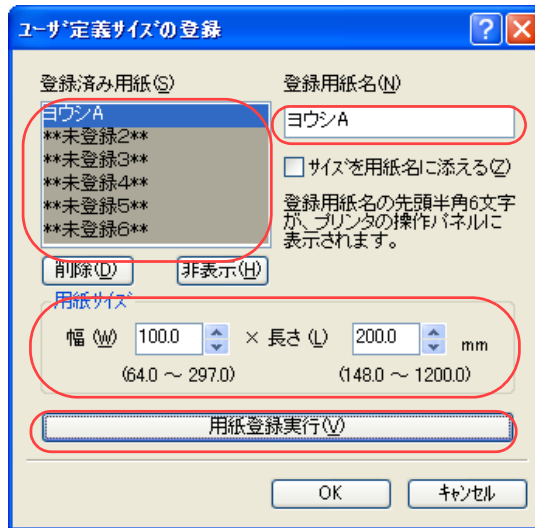
●変更した設定内容がプリンタに反映されます。
●不定形サイズの用紙に印刷する操作については、☞ **実際に印刷するには（119 ページ）**をご覧ください。

実際に印刷するには

ユーザ定義サイズの登録が終了したら、次のように操作します。

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

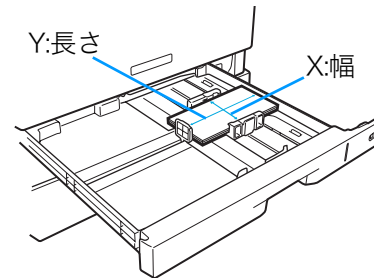
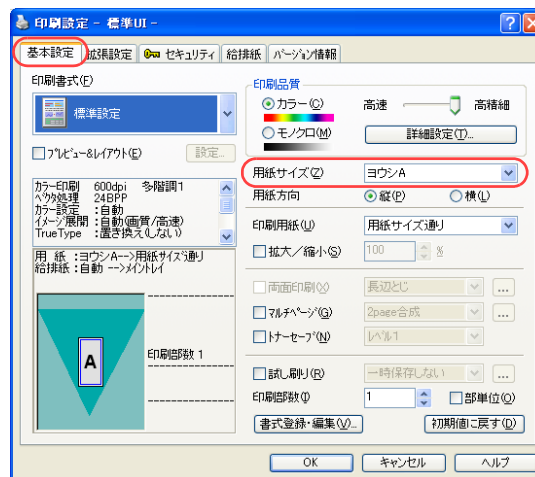
●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. 次の手順で、「ユーザ定義サイズの登録」ダイアログボックスを表示します。

①「拡張設定」タブをクリックします。
②「ユーザ定義用紙サイズの登録」ボタンをクリックします。

4. 次の手順で、ユーザ定義サイズを登録します。
（例）100mm×200mmの用紙を登録する場合

①「登録済み用紙」から「**未登録1**」を選択します。

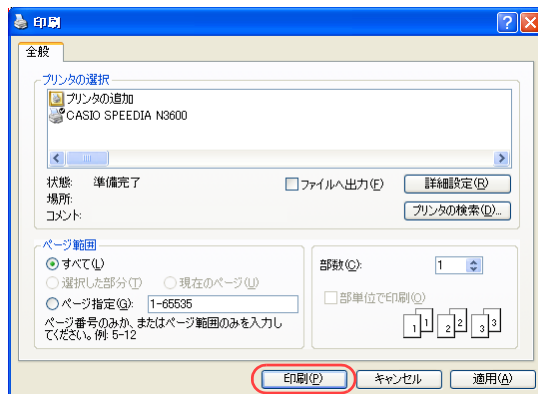
②「登録用紙の名前」に用紙名を入力します。

- 20 文字まで登録できます。ただし、「基本設定」タブの「用紙サイズ」リストボックスに表示できる文字は10文字までです。

③「用紙サイズ」の「幅」と「長さ」に、用紙サイズを入力します。

④「用紙登録実行」ボタンをクリックします。

⑤「OK」ボタンをクリックします。

5. 「基本設定」タブをクリックし、「用紙サイズ」に手順４で登録した用紙名が表示されていることを確認します。

6. 「給排紙」タブをクリックし、「位置」から用紙をセットした給紙口を選択して「OK」ボタンをクリックします。

●プリンタに設定した用紙名（手順10「ヨウシＡ」）と、プリンタドライバに登録した用紙名「手順４「ヨウシＡ」）が同じ場合は「位置」の指定は「自動」のままでも印刷できます。

7. 「印刷」ボタンをクリックします。
プリンタに設定されている用紙とプリンタドライバで設定した用紙が一致していれば印刷を開始します。

●プリンタに設定されている用紙とプリンタドライバで設定した用紙が異なると、表示パネルに用紙交換のメッセージが表示されます。

＜表示例＞

ヨウシ　コウカン　　ヨウシＢ ＣＰＦ ２

●表示できない用紙名の場合は、「□□□」が表示されます。

封筒やはがきに印刷したい ［封筒・はがき］

本プリンタでは、封筒や官製はがきに印刷できます。
印刷できる封筒やはがきは、次のとおりです。

・封筒
　長形３号　（120×235mm）
　長形４号　（ 90×205mm）
　洋形１号　（120×176mm）

・官製はがき
　官製はがき、往復はがき

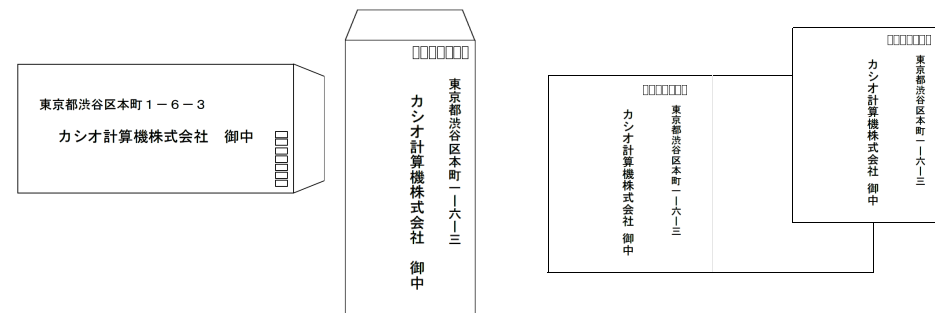
注意

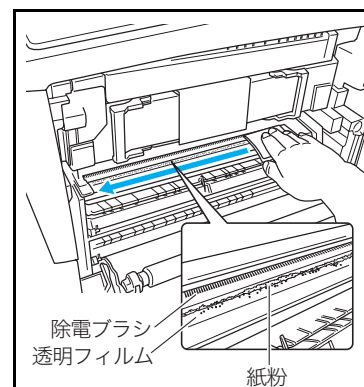
※ 次のようなはがきには印刷できません。
- 私製はがき
- 絵はがきのように厚みのあるはがき
- 絵入りはがきなど、裏映り防止の粉がついているはがき
- インクジェットプリンタ専用のはがき
- 一度印刷したはがき
- 表面加工されたはがき
- 表面に凸凹があるはがき
- 中央に折り目のある往復はがき

※ 郵便はがきに印刷する場合は、事前に同じサイズの用紙でテストし、印刷位置などを確認してください。

※ 次のような封筒には印刷できません。
- 開封口にのりがついている封筒
- 窓付き、留め金付き、ファスナー付きなどの封筒
- 箔押し、エンボスなどの表面加工された封筒
- 大きく反った封筒
- 二重（裏張りがある封筒）

※ 推奨用紙については、☞ **ハードウェアマニュアル　本体編 付録2. 用紙について（88ページ）**をご覧ください。

封筒やはがきに印刷

＜再生紙で作られたはがきについて（年賀状やかもめーるなど）＞

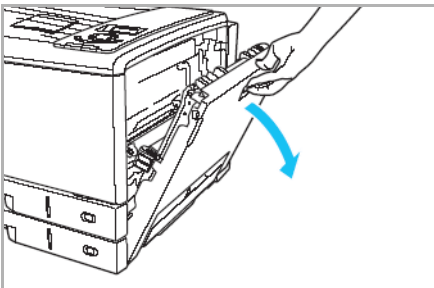
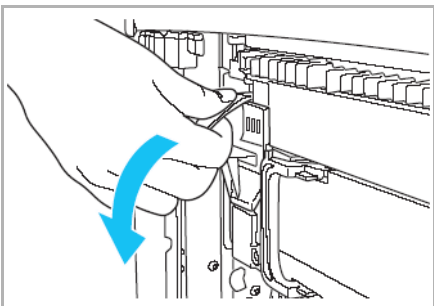
再生紙で作られたはがきは、紙粉（用紙の白い粉）などの影響により正しく印刷できない場合があります。そのような場合は、紙粉をはたき落とし反りやバリを取ってご使用ください。
紙粉やバリの付いたはがきを大量に使用すると、画像汚れや故障の原因になる場合があります。

用紙搬送部の透明フィルムに付着した紙粉（用紙の白い粉）が目立ってきたら、乾いた布またはティッシュペーパーで紙粉を取り除いてください。紙粉が多量に付着したまま使用し続けると、転写ベルトユニットに紙粉が詰まり、画像汚れ（縦スジ）が発生する場合があります。紙粉が詰まった転写ベルトは交換が必要になる場合がありますのでご注意ください。

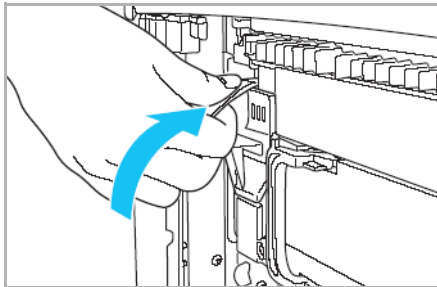
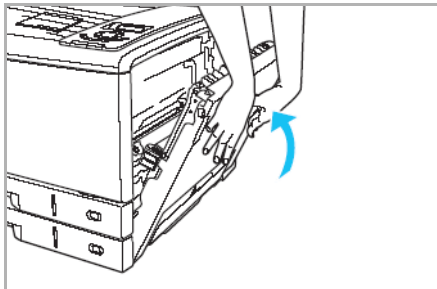
※ 奥にある除電ブラシ（黒い植毛）部分にできるだけ触れないようにしてください。

● 封筒に印刷する場合は、定着ユニットの圧力切り替えレバーを封筒側に切り替えます。
圧力切り替えレバーを切り替える（封筒に印刷する場合）（123 ページ）
● プリンタのプロパティで、封筒・はがきに適した設定に変更します。
封筒やはがきに印刷する（125 ページ）

手 順

圧力切り替えレバーを切り替える（封筒に印刷する場合）

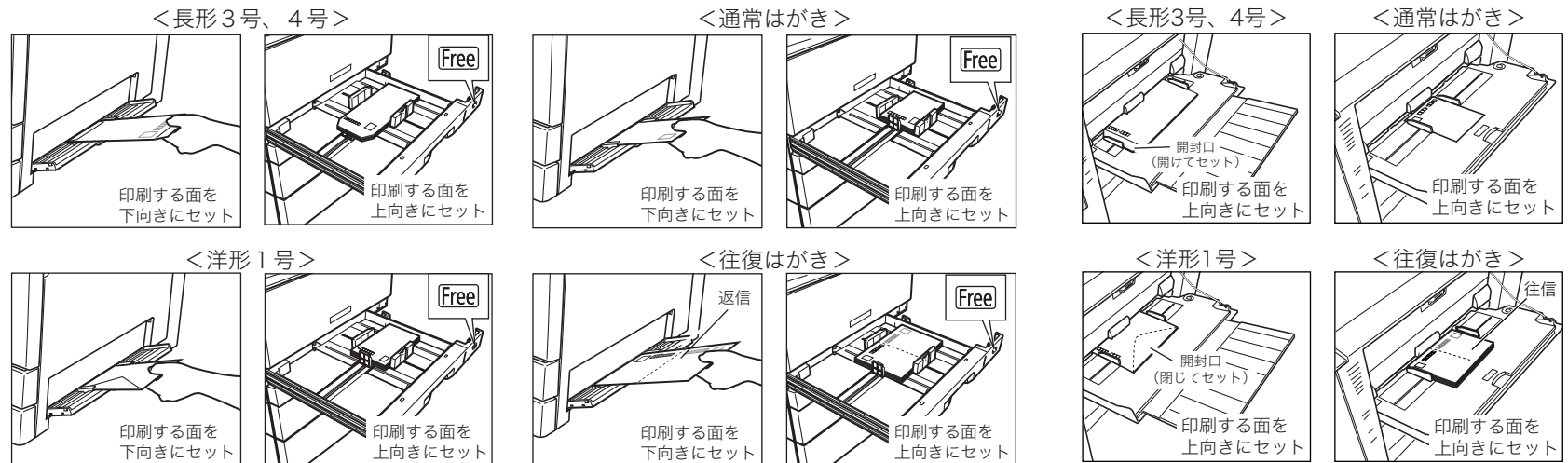
≪N6100の場合≫
定着ユニットの圧力切り替えは不要です。次の手順へ進んでください。封筒やはがきに印刷する（125 ページ）
定着ユニットの圧力切り替えレバーを、封筒に切り替えます。

1. サイドカバーを開けます。

2. 定着解除レバーを下げます。

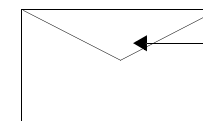
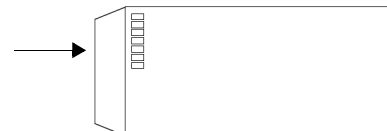
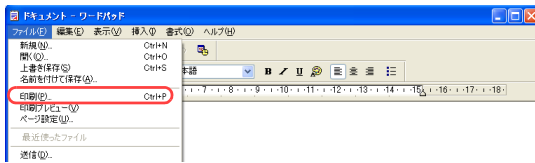
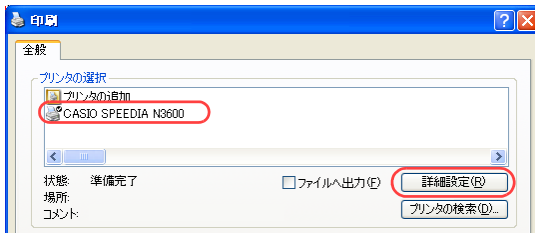
3. 定着切り替えレバーを封筒（右）側に倒します。

4. 定着解除レバーを上げます。

5. サイドカバーを両手でしっかり閉めます。

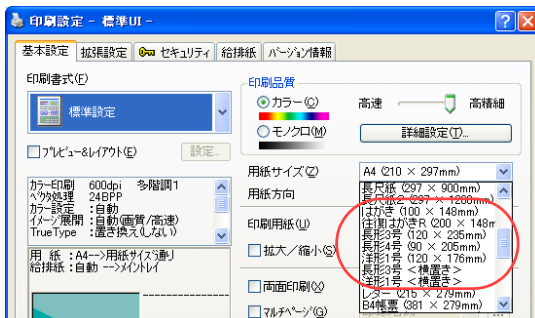
●印刷が終了したら、圧力切り替えレバーを普通紙（左）側に戻してください。

封筒やはがきに印刷する

封筒やはがきを、プリンタのカセット1または手差しトレイにセットし、プリンタドライバの「用紙サイズ」と「紙種」を設定して印刷します。

1. 封筒やはがきを図のようにプリンタにセットします。

注意

- N6100は、封筒やはがきなどの特殊紙をカセットにセットできません。
- プリンタドライバの設定を、セットした用紙と同じサイズに設定して印刷してください。設定が異なると正しく印刷できない場合があります。
- 封筒の裏側には印刷できません。紙詰まりの原因となります。
- 封筒の種類によっては、本体上段カセットにセットすると、シワや紙詰まりが発生しやすいものがあります。このような封筒は手差しで１枚ずつ印刷してください。
- 手差し印刷の場合、長形４号以外の封筒は横送りでセットできます。長形４号の横送りは紙詰まりの原因となります。
- 長形３号／長形４号の場合は開封口を開けて、洋形１号の場合は開封口を閉じてセットします。

2. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

3. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

4. ■標準UIの場合

①「用紙サイズ」で、セットした封筒やはがきを選択します。

●封筒の場合は「紙種」が「はがき・封筒・ラベル紙」に設定されます。

②「給排紙」タブをクリックし、次のように設定します。

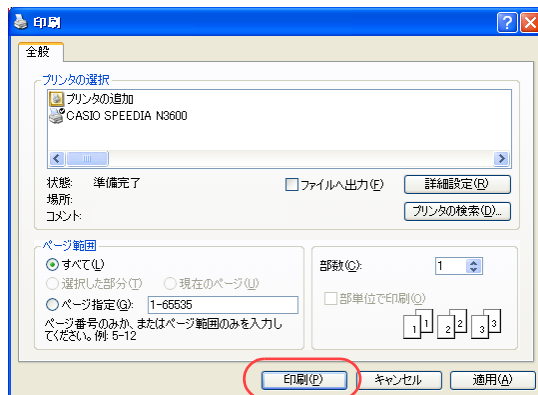
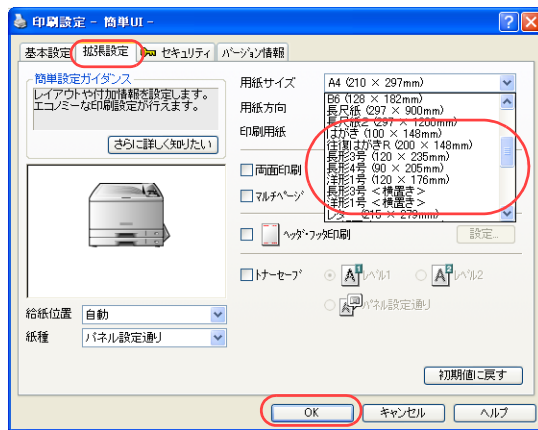
●「位置」は封筒やはがきをセットした給紙口を選択します。

●「紙種」は「はがき・封筒・ラベル紙」を選択します。

≪N6100の場合≫

●「紙種」は「封筒・はがき」を選択します。

●「位置」が「MPF」に設定されます。

③「OK」ボタンをクリックします。

■簡単UIの場合

①「拡張設定」タブをクリックします。

②「用紙サイズ」で、セットした封筒やはがきを選択します。

●「紙種」が「はがき・封筒・ラベル紙」に設定されます。

≪N6100の場合≫

●「紙種」は「封筒・はがき」を選択します。

●「位置」が「MPF」に設定されます。

●カセット（CPF1～5）から封筒・はがきは印刷できません。

③「OK」ボタンをクリックします。

5. 「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。

●プリンタの表示パネルに図のメッセージが表示されたときは、「決定」ボタンを押してください。

ヨウシ　コウカン　ハガ゛キ ＣＰＦ １

●このメッセージを表示させたくないときは、プリンタの操作パネルで用紙サイズを登録します。

＜ＣＰＦ１に「はがき」を登録する例（N3000シリーズのみ）

① オンライン ボタンを押します。

② ▼ ボタンを３回、▶ ボタンを１回押します。

③ ▼ ボタンを２回、▶ ボタンを１回押します。

④ ▶ ボタンを１回押します。

⑤ ▼ ボタンを押して「ハガキ」を選択し 決定 ボタンを押して登録します。

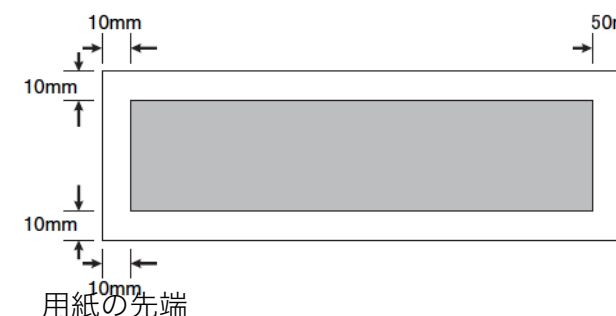
⑥ オンライン ボタンを押して終了します。

長尺紙に印刷したい [長尺紙]

長尺紙（長辺の長さが432mmより長い用紙）に印刷できます。

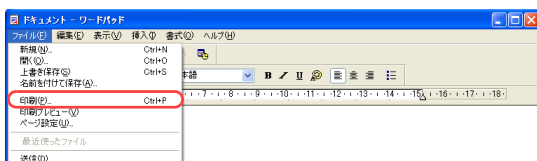
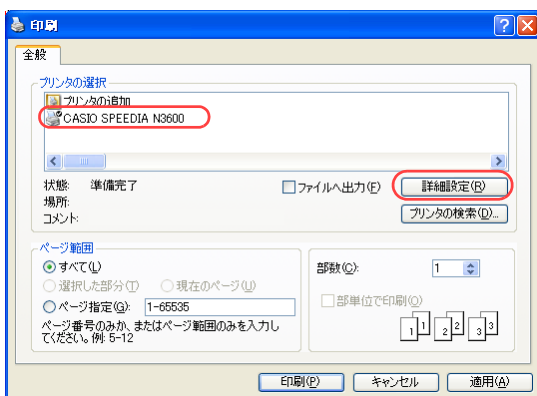
長尺紙に印刷

注意

- 最大297×1200mmのサイズ、厚さ64～216g/m²の用紙に印刷できます。
- 裁断が直角でなかったり、裁断面にバリがある用紙は印刷できません。
- アプリケーションで長尺紙のサイズを設定できない場合は印刷できません。また、アプリケーションによっては、サイズを設定できても正しく印刷できない場合があります。
- 長尺紙の印刷は大量のデータを処理するため、プリンタの標準メモリ（128MB）ではメモリ不足となり、印刷速度が極端に遅くなったり、印刷できない場合があります。
  このような場合、「画面プレビュー優先」を設定すると改善される場合があります。「プレビュー優先」については、ソフトウェアマニュアル プリンタドライバ編をご覧ください。「画面プレビュー優先」を設定しても状態が改善されない場合は、メモリを増設すると改善される場合があります。
- 長尺紙は用紙ズレが発生しやすいため、用紙端からの余白を十分とって（右図を参照）印刷してください。
- 印字率が高い（ベタ部分が多い）画像を印刷すると、トナーの供給が追いつかず途中から印刷がかすれることがあります。このような場合、ベタ部分を網掛けにしたり、色を薄くするなどして低い印字率で印刷してください。
- トナーが少ない状態で印字率が高い画像を印刷すると印刷がかすれる場合があります。そのまま印刷を続けるとドラムセットが劣化して、交換しないと画像が回復しなくなる場合があります。印字率が高い画像を連続して印刷するときは、新しいトナーセットに交換して印刷することをおすすめします。

注意

・ わずかな斜め送りでも、用紙の後半になるほど大きくずれて紙詰まりすることがあります。まっすぐに給紙するように気をつけて印刷してください。

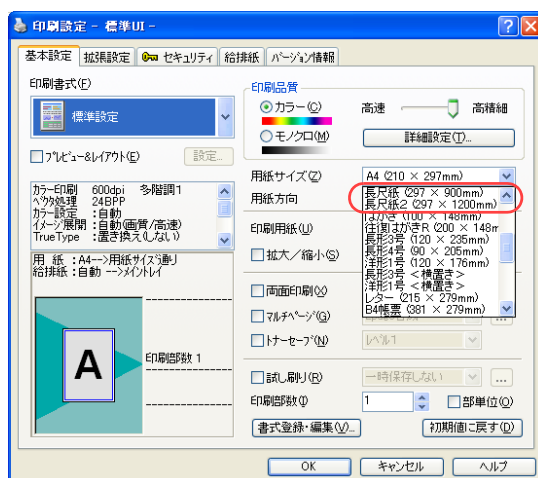
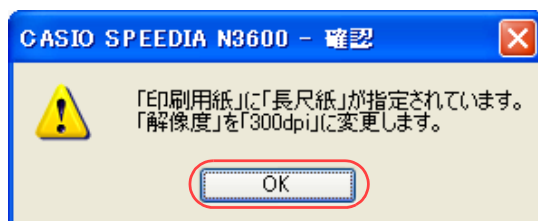
概要 ●プリンタのプロパティで、長尺紙に適した設定に変更します。

手順

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. ■標準UIの場合

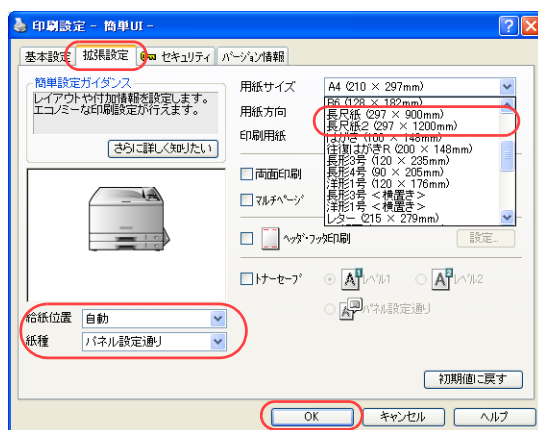
①「用紙サイズ」で、セットした用紙に合わせ「長尺紙（297 × 900mm）」または「長尺紙２（297×1200mm）」を選択します。

●「解像度」が自動的に300dpiに設定されます。

②「OK」ボタンをクリックします。

③「給排紙」タブをクリックし、次のように設定します。

「位置」は「手差し」を選択します。

≪N6100の場合≫

- 「位置」は「MPF」を選択します。

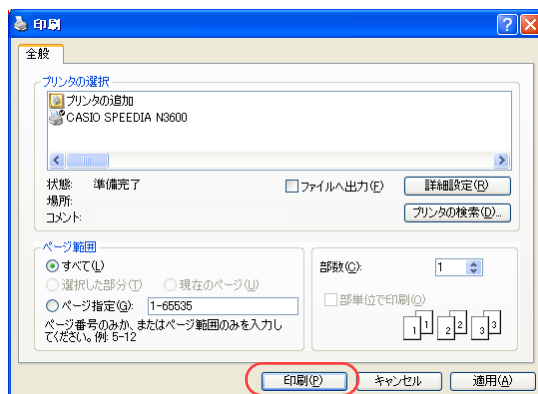
④「紙種」は、セットした用紙の種類や厚さに合わせて選択します。

⑤「OK」ボタンをクリックします。

■簡単UIの場合

①「拡張設定」タブをクリックします。
② セットした用紙に合わせ「長尺紙（297×900mm）」または「長尺紙２（297×1200mm）」を選択します。
●「解像度」が自動的に300dpiに設定されます。
③「給紙位置」は「手差し」を選択します。

≪N6100の場合≫
- 「位置」は「MPF」を選択します。

④「紙種」は、セットした用紙の種類や厚さに合わせて選択します。
⑤「OK」ボタンをクリックします。

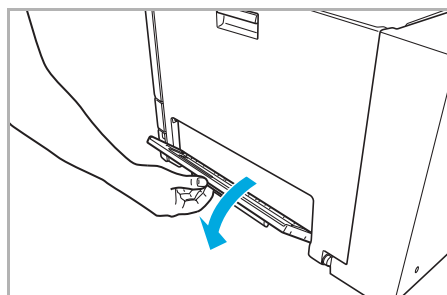
4. 「印刷」ボタンをクリックします。

<長尺紙２（297 × 1200mm）の表示例>
≪ N3000 シリーズの場合≫

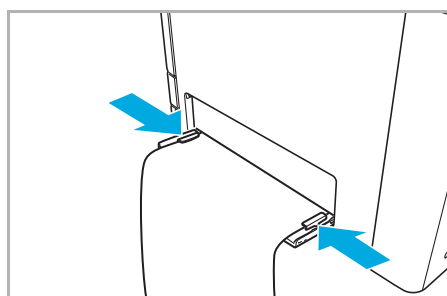
テサシトレイ　ニ　ロンク゛１２
ヨウシヲ　セット　シテクダ゛サイ

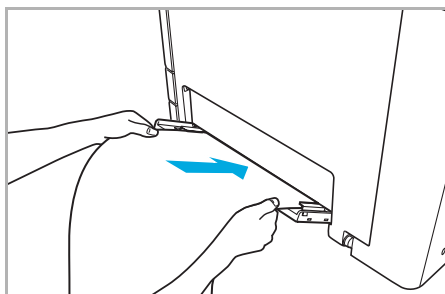
≪ N6100 の場合≫

ヨウシ　コウカン　ロンク゛１２
ＭＰＦ

5. プリンタの表示パネルに左記のメッセージが表示されたら、印刷面を下向きにして長尺紙を１枚セットします。

≪N6100の場合≫
印刷面を上向きに長尺紙を１枚セットします。

6. 手差しトレイを開けます。

≪N6100の場合≫
マルチペーパフィーダを開けます。

7. 左右の用紙ガイドを長尺紙にピッタリと当たる位置に調整します。

●一度に複数枚の長尺紙をセットすることはできません。

8. 用紙を奥に突き当たるまでゆっくりと差し込みます。

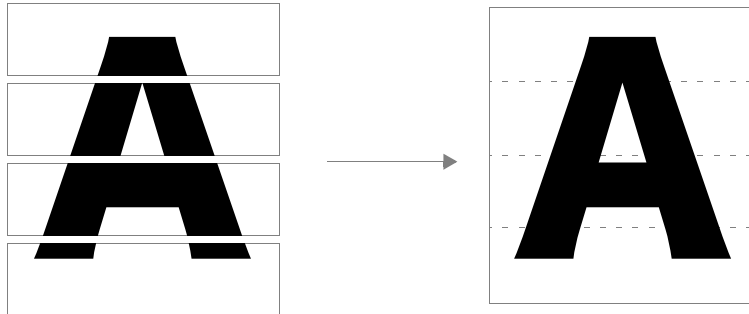
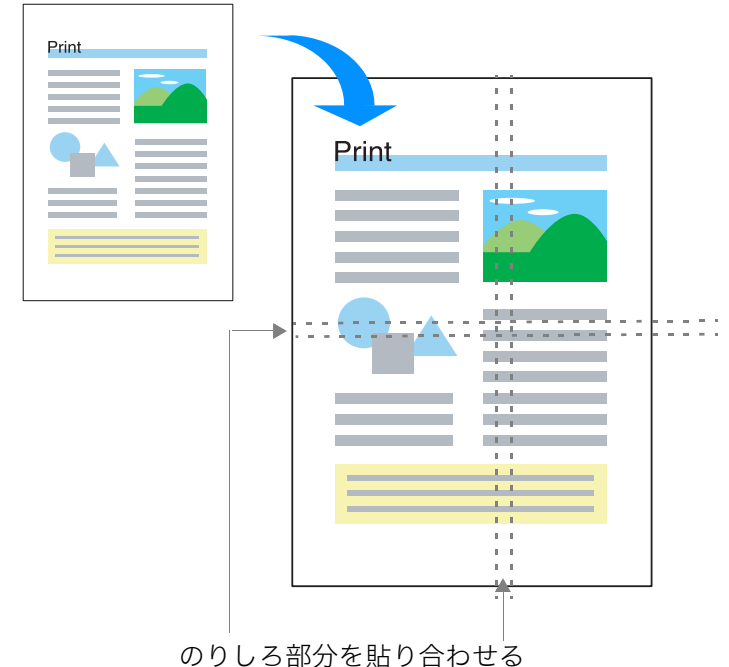
●用紙が自動的に引き込まれ、印刷が開始されます。
●長尺紙がまっすぐ入るように注意して差し込んでください。
●引き込まれる用紙の両端で手を切らないようご注意ください。

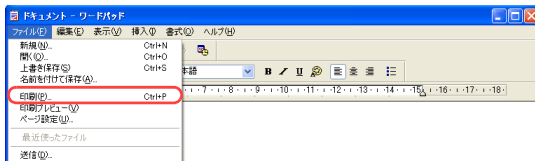
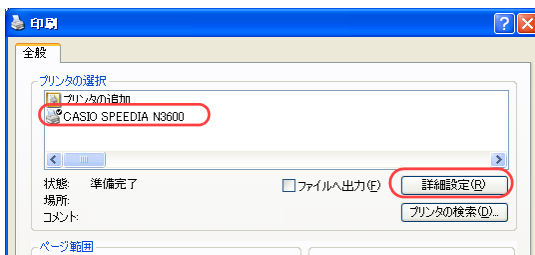
ポスターのような大きな印刷物を作りたい［マルチページ（分割）］

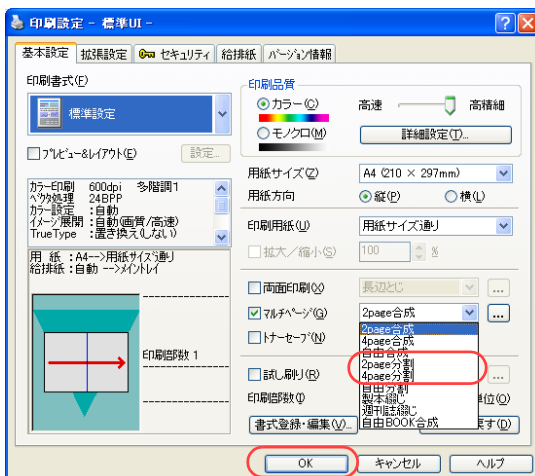
ひとつの画像を分割して印刷し重なり部分を貼り合わせることで、大きな印刷物を作ることができます。

※マルチページ（分割）は、標準UIの場合にだけ設定できます。簡単UIでは設定できません。

注意

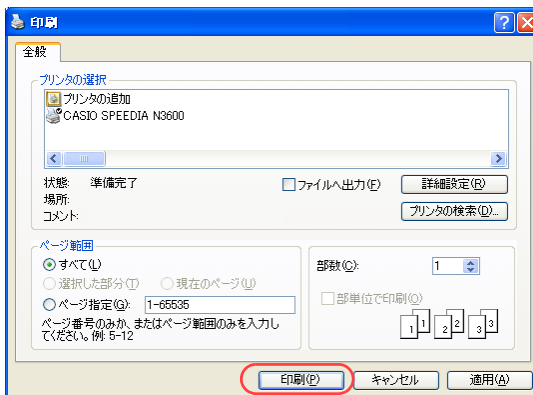
- 一定の拡大率を超えると、Windows側の処理能力を超え、拡大部分の劣化が目立つようになります。
- 分割によって作成できるサイズは次のとおりです。
  - A3サイズを4ページに分割→A1サイズ（594×840mm）
  - B4サイズを4ページに分割→B2サイズ（514×728mm）
  - A4サイズを4ページに分割→A2サイズ（420×594mm）
  - B5サイズを4ページに分割→B3サイズ（364×514mm）
- 長尺紙（297×900mm）を横向きに使用し、「自由指定」ダイアログボックスを使用して「X」を１分割、「Y」を4分割に設定して印刷すると、貼り合わせ後、模造紙大（790×1083mm）の印刷物を作成できます。

- ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

●プリンタのプロパティで「マルチページ」を設定します。

手順

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. 次の手順で分割を設定します。

①「マルチページ」にチェックマークを付け、「2page分割」または「4page分割」を選択します。

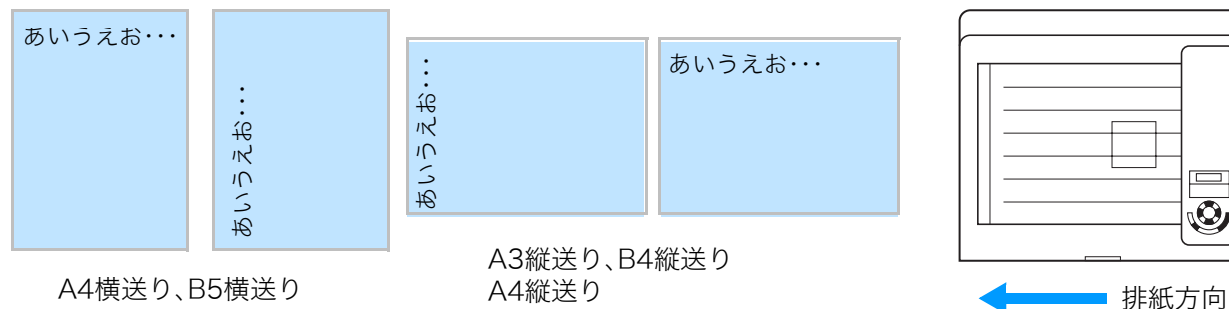
②「OK」ボタンをクリックします。

●「...」ボタンをクリックすると、「マルチページの設定」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで分割のバリエーションを変更できます。

4. 「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。

5. 境界線を参考にして、印刷文書を貼り合わせます。

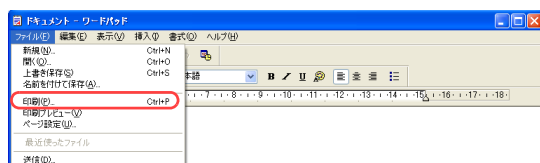
排紙方向を180°回転して印刷したい [リバース印字]

プリンタドライバの設定を何も変更せずにN3600で印刷すると、印刷された用紙は、右図のように排紙されます。
プレプリント用紙や封筒などに印刷する場合に排紙方向を変更したいときは、プリンタドライバの設定を変更してください。

※ 図は印刷されたものを左右にめくった場合です。

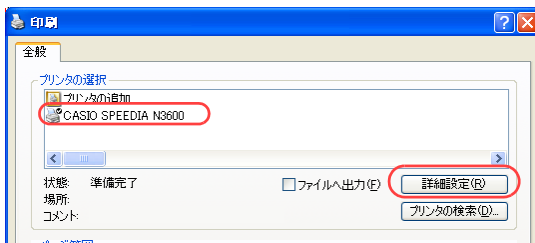
● プリンタのプロパティの「給排紙」タブで「排紙オプションの設定」ダイアログボックスを表示し、リバース印字を設定します。

※ リバース印字は、標準UIの場合にだけ設定できます。簡単UIでは設定できません。

※ ここでは、ワードパッドから印刷する手順を例にして印刷の操作を説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、説明を適宜読み替えてください。

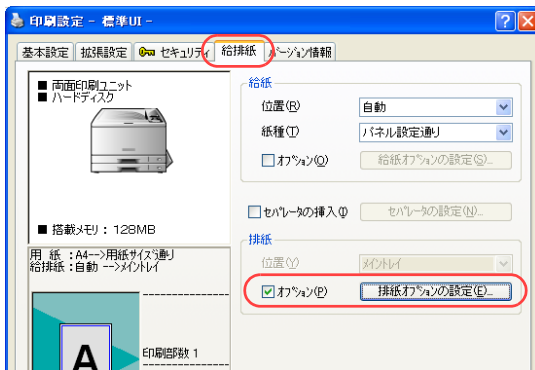
手順

1. 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。

2. 「プリンタの選択」で「CASIO SPEEDIA N3600」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

●「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3. 次の手順で「排紙オプションの設定」ダイアログボックスを表示します。

①「給排紙」タブをクリックします。

②「排紙オプションの設定」ボタンをクリックします。

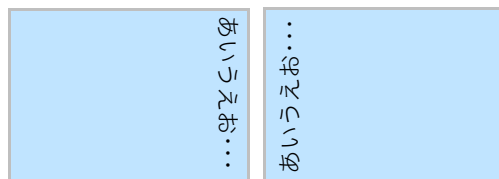
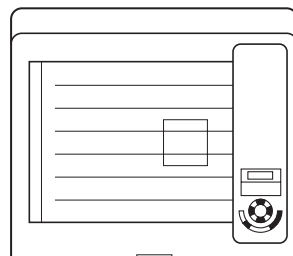
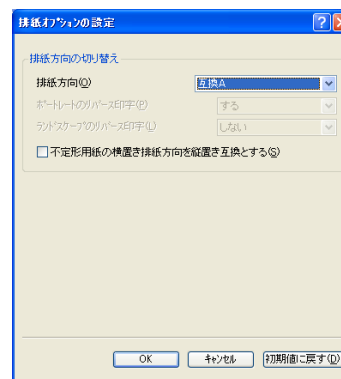
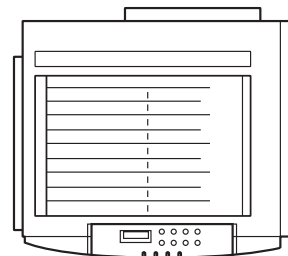
●「排紙オプションの設定」ダイアログボックスが表示されます。

4. 次ページの＜ケース１＞～＜ケース４＞を参照し、「排紙方向の切り替え」を設定し、「OK」ボタンをクリックします。

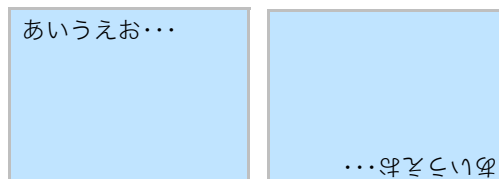
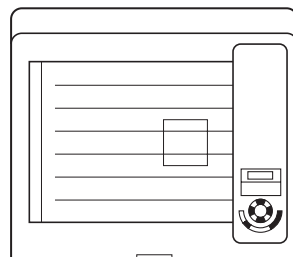
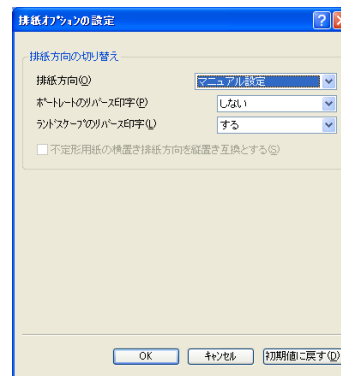
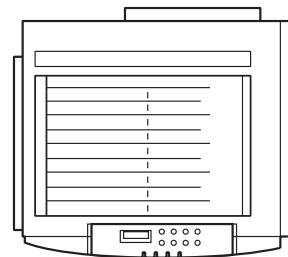
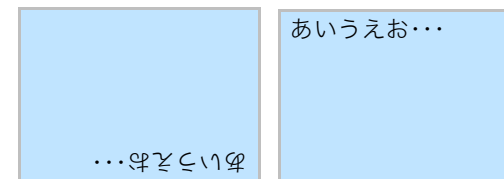
＜ケース１＞

ポートレートのリバース印字
「しない」
「する」
あいうえお・・・
あいうえお・・・
A4横送り、B5横送り
※ 印刷されたものを左右にめくった場合です。
≪N3000シリーズの場合≫
排紙方向
排紙ｵﾌﾟｼｮﾝの設定
排紙方向の切り替え
排紙方向(O)
マニュアル設定
ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄのﾘﾊﾞｰｽ印字(P)
する
ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟのﾘﾊﾞｰｽ印字(L)
しない
不定形用紙の横置き排紙方向を縦置き互換とする(S)
OK
ｷｬﾝｾﾙ
初期値に戻す(D)
≪N6100シリーズの場合≫
排紙方向
ポートレートのリバース印字
「しない」
「する」
あいうえお・・・
あいうえお・・・
A4横送り、B5横送り
※ 印刷されたものを左右にめくった場合です。

＜ケース２＞

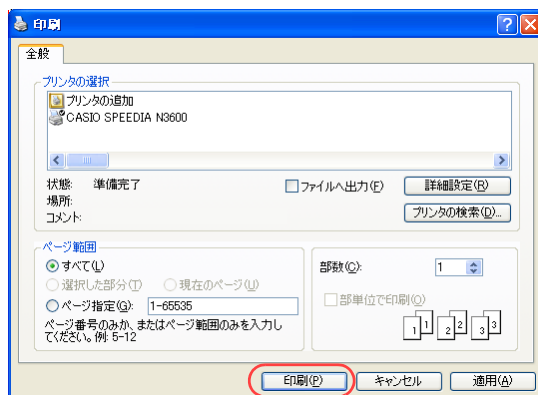
ランドスケープのリバース印字
「しない」
「する」
あいうえお・・・
あいうえお・・・
A4横送り、B5横送り
※ 印刷されたものを左右にめくった場合です。
≪N3000シリーズの場合≫
排紙方向
排紙ｵﾌﾟｼｮﾝの設定
排紙方向の切り替え
排紙方向(O)
互換A
ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄのﾘﾊﾞｰｽ印字(P)
する
ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟのﾘﾊﾞｰｽ印字(L)
しない
不定形用紙の横置き排紙方向を縦置き互換とする(S)
OK
ｷｬﾝｾﾙ
初期値に戻す(D)
≪N6100シリーズの場合≫
排紙方向
ランドスケープのリバース印字
「しない」
「する」
あいうえお・・・
あいうえお・・・
A4横送り、B5横送り
※ 印刷されたものを左右にめくった場合です。

＜ケース３＞

ポートレートのリバース印字
「しない」
「する」
あいうえお・・・
あいうえお・・・
A3縦送り、B4縦送り
A4縦送り
※ 印刷されたものを左右にめくった場合です。
≪N3000シリーズの場合≫
排紙方向
排紙オプションの設定
排紙方向の切り替え
排紙方向(O)
互換A
ポートレートのリバース印字(P)
する
ランドスケープのリバース印字(L)
しない
不定形用紙の横置き排紙方向を縦置き互換とする(S)
OK
キャンセル
初期値に戻す(D)
≪N6100シリーズの場合≫
排紙方向
ポートレートのリバース印字
あいうえお・・・
あいうえお・・・
A3縦送り、B4縦送り
A4縦送り
※ 印刷されたものを左右にめくった場合です。

＜ケース４＞

ランドスケープのリバース印字
「しない」
「する」
あいうえお・・・
あいうえお・・・
A3縦送り、B4縦送り
A4縦送り
※ 印刷されたものを左右にめくった場合です。
≪N3000シリーズの場合≫
排紙方向
排紙オプションの設定
排紙方向の切り替え
排紙方向(O)
マニュアル設定
ポートレートのリバース印字(P)
しない
ランドスケープのリバース印字(L)
する
不定形用紙の横置き排紙方向を縦置き互換とする(S)
OK
キャンセル
初期値に戻す(D)
≪N6100シリーズの場合≫
排紙方向
ランドスケープのリバース印字
「しない」
「する」
あいうえお・・・
あいうえお・・・
A3縦送り、B4縦送り
A4縦送り
※ 印刷されたものを左右にめくった場合です。

5. 「OK」ボタンをクリックします。

6. 「印刷」ボタンをクリックします。

●印刷が開始されます。

プリンタの状態をコンピュータから監視したい [SPEEDIAマネージャ]

SPEEDIAマネージャからステータスモニタを起動すると、消耗品の残量やエラー状態などをコンピュータから監視できます。

ステータスモニタ

●SPEEDIAマネージャからステータスモニタを表示します。

●Webブラウザで「プリンタ状態詳細表示」をクリックし、プリンタの状態を監視することもできます。
詳しくは ☞ ハードウェアマニュアル Web設定編をご覧ください。

●SPEEDIAマネージャのインストールについては、☞ SPEEDIAマネージャマニュアルをご覧ください。

手 順

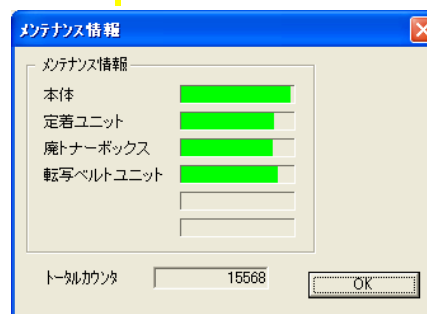
1. Windowsのタスクバーで、SPEEDIAマネージャのアイコンをクリックし、「CASIO SPEEDIA N3600」を選択します。
●ステータスモニタが表示されます。

2. プリンタの状態を確認します。

プリンタの基本情報が表示されます。

トナー残量、ドラムセットの交換目安が表示されます。
●バーが小さいほど、トナー残量が少なく、ドラム交換の時期が近いことを示します。

セットされている用紙サイズが表示されます。

排紙方法が表示されます。

メンテナンスが必要な部位の情報と、トータルカウントが表示されます。
●緑色のバーが小さいほど、メンテナンスの時期が近いことを示します。

ROM バージョン、メモリ容量、ハードディスク容量、オプション情報、拡張機能が表示されます。

3. ステータスモニタを終了する場合は、「終了」ボタンをクリックします。

消耗品の寿命予告による一時停止をスキップしたい [予告エラー解除]

「トナー交換予告」や「ドラム交換予告」などの消耗品の寿命予告のように取消可能なエラーが表示された場合に、エラーによる一時停止を自動的にスキップして、印刷を継続するように設定できます。

次のどちらからの操作をします。

- Webブラウザの Top画面で、「エラースキップ」を実行します。
- プリンタ操作パネルで「予告エラー解除」を設定することもできます。
  詳しくは ☞ ハードウェアマニュアル 操作パネル編をご覧ください。

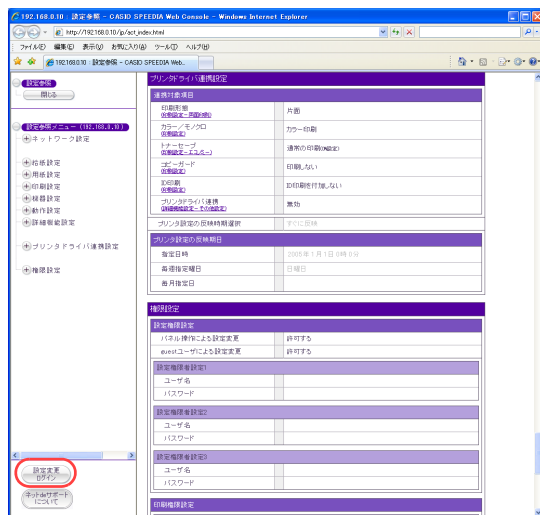
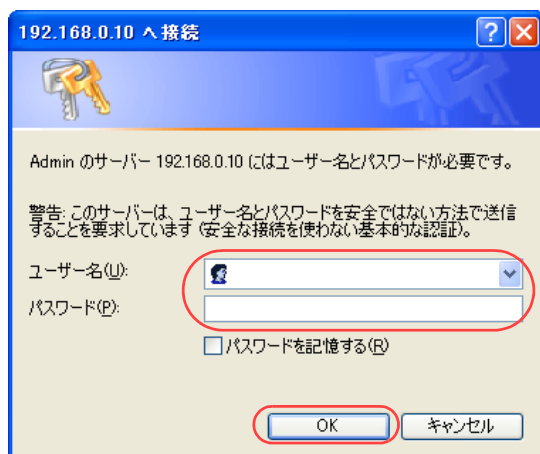
手 順

(例) IPアドレスが192.168.0.10の場合

1. Webブラウザを起動します。

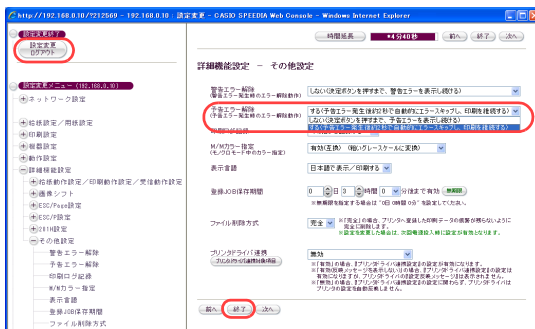
2. アドレス欄にプリンタのIPアドレスを入力します。
   ●プリンタに接続され、Top画面にプリンタの動作状態が表示されます。

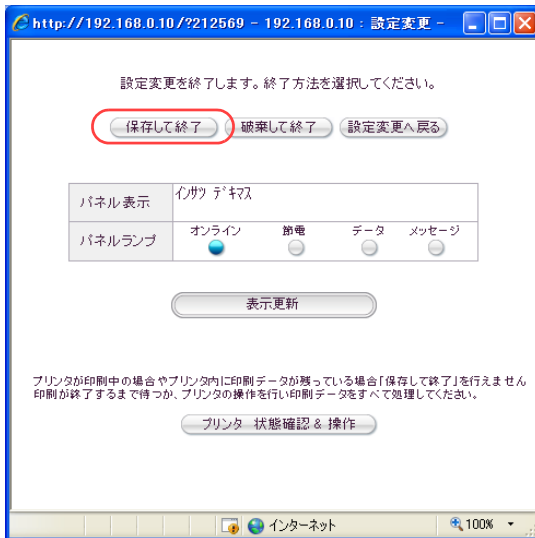
3. 「プリンタ設定参照へ」ボタンをクリックします。

4. 「設定変更ログイン」ボタンをクリックします。

5. ログイン画面が表示された場合は、設定権限者登録で登録されているユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

●ログイン画面は、Webブラウザの起動後に１回だけ表示されます。
●工場出荷時デフォルトでは、次のように設定されています。
ユーザー名：guest
パスワード：（パスワードなし）
●工場出荷時の状態でお使いいただくと、プリンタへアクセスできる多くのユーザが設定変更を行うことができ、印刷結果に思わぬ影響を及ぼすことがあります。
設定権限者登録でプリンタの管理者を登録した後は、「guest」ユーザは設定変更ができないように、権限を変更しておくことをおすすめします。

6. 「詳細機能設定」、「その他設定」の順に「＋」ボタンをクリックします。

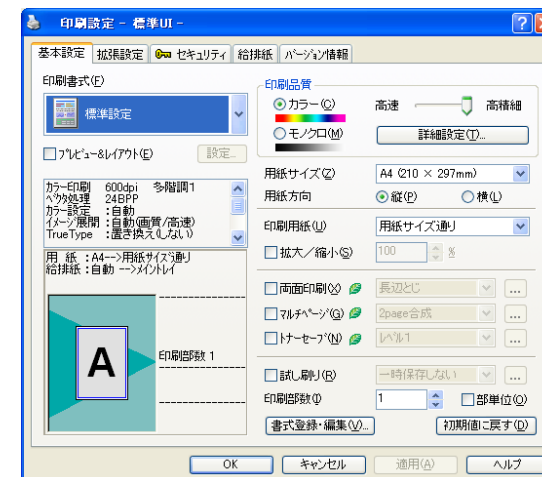
7. 「予告エラー解除」をクリックします。

8. 「予告エラー解除」で「する（予告エラー発生後約２秒で自動的にエラースキップし、印刷を継続する）」を選択し、「設定変更ログアウト」ボタン、または「終了」ボタンをクリックします。

9. 「保存して終了」ボタンをクリックします。

●変更した設定内容がプリンタに反映されます。

簡単UIを標準UIに変更したい [環境設定]

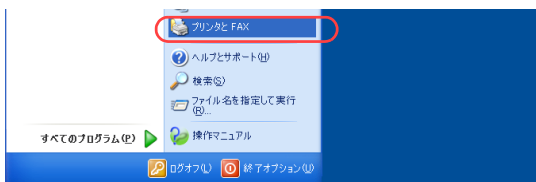
簡単UIと標準UIを変更したい場合は、下記手順で操作します。

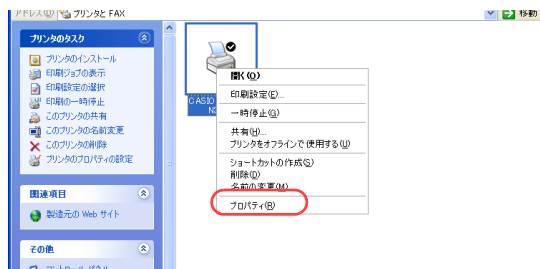
簡単UI

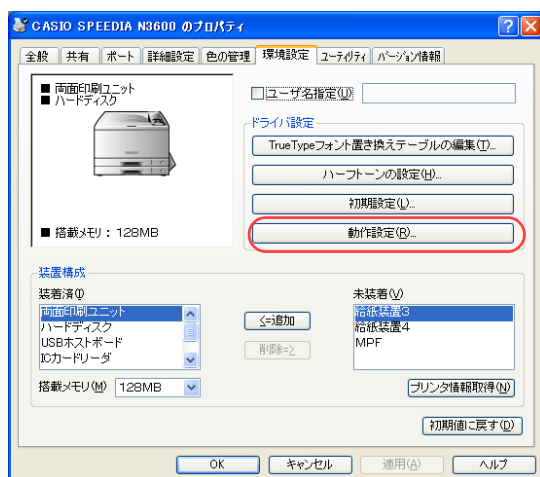
標準UI

●プリンタドライバの「環境設定」タブで「動作設定」を変更します。

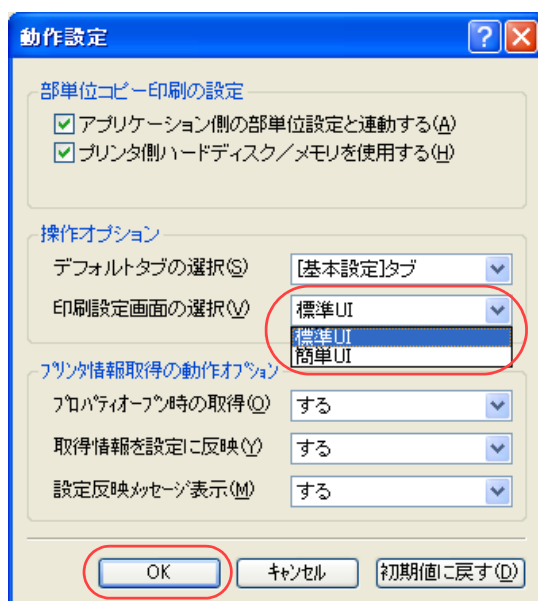
※この操作は、アプリケーション側からは設定できません。必ず、OSの「プリンタとFAX」フォルダから操作してください。

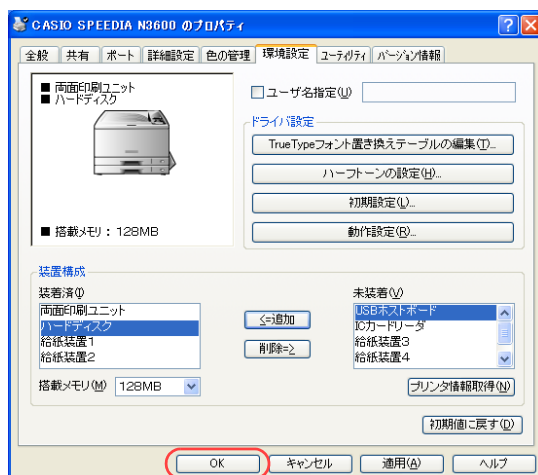
※簡単UIと標準UIについて、詳しくは ソフトウェアマニュアル プリンタドライバ編をご覧ください。

手順

1. 「スタート」メニューの「プリンタとFAX」を選択して「プリンタとFAX」フォルダを開きます。

●Windows 98/Me/2000の場合は、「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を開きます。

2. 「CASIO SPEEDIA N3600」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

3. 「環境設定」タブをクリックします。

4. 「動作設定」ボタンをクリックします。

5. 「操作オプション」の「印刷設定画面の選択」リストボックスから「標準UI」または「簡単UI」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

6. 「OK」ボタンをクリックします。

●印刷設定画面が変更されます。

今までに印刷したトータル枚数を確認したい [印刷枚数]

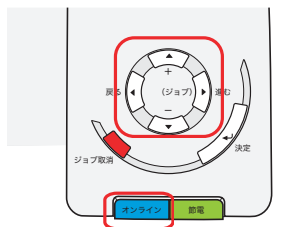
プリンタ操作パネルで、カラー印刷、モノクロ印刷それぞれのトータル枚数を表示パネルに表示できます。

・表示される値は、ライフカウンタの値とは異なります。

概要 次のどちらからの操作をします。
● プリンタの表示パネルに「印刷枚数」を表示します。
● プリンタ操作パネルからカウンタ情報を印刷します。

印刷枚数を表示する

手順

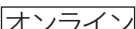
≪N3000シリーズの場合≫

≪N6100の場合≫

1. 未印字データがないことを確認し、操作パネルの[オンライン] ボタンを押します。

2. ▶ ボタンを１回押します。

3. ▼ ボタンを４回押します。
≪N6100の場合≫
▼ ボタンを３回押します。

4. ▶ボタンを１回押します。

```
<インサツマイスウ            >
▼    カラーインサツマイスウ   ▶
```

5. ▶ボタンを１回押します。

```
《カラーインサツマイスウ》
▼    Ａ３        ｘｘｘｘｘｘｘ
```

●モノクロ印刷のトータルカウントを表示するには、▼ボタンを押して「モノクロインサツマイスウ」に切り替えます。

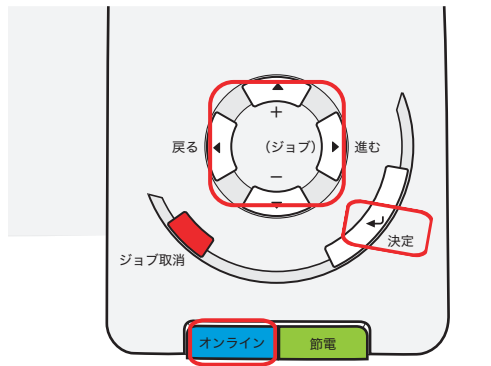
6. ▼ボタンを押すと、A3、B4、A4、B5、A5、ソノタの順に表示が変わります。

```
《カラーインサツマイスウ》
▼▲  Ｂ４        ｘｘｘｘｘｘｘ
```

7. オンラインボタンを押して終了します。

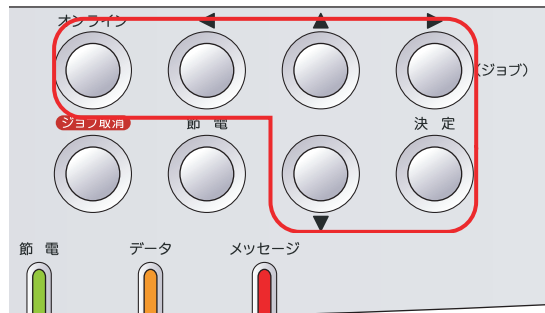
カウンタ情報を印刷する

手 順

≪N3000シリーズの場合≫

≪N6100の場合≫

1. 未印字データがないことを確認し、操作パネルのオンラインボタンを押します。

2. ▶ボタンを１回押します。

3. ▶ボタンを１回押します。

4. ▼ボタンを２回押します。

5. 決定 ボタンを押します。
●カウンタ情報が印刷されます。

6. オンラインボタンを押して終了します。

カウンタ情報印刷（例）

2007-12-05 13:39:18 +09:00

SPEEDIA N3600

カウンタ情報印刷（累計値）

印刷枚数		A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	その他	総合計
	カラー	19	1,531	2,267	1,021	0	17	4,855枚
	モノクロ	2,005	196	240	23	0	0	2,464枚
	総枚数	2,024	1,727	2,507	1,044	0	17	7,319枚

■プリンタ情報

Serial Number:
MAC Address:
RIP Version:
ENG Version:

LC.10551
DC.15K

☆搭載メモリ：１２８ＭＢ
☆ＨＤＤ装置：３７．２６ＧＢ
空容量：３６．６７ＧＢ
☆ＣＰＦ１　：Ａ３
☆ＣＰＦ２　：Ａ４
☆ＵＳＢ－Ｂ：ＩＣカードＲ／Ｗ

＊ドラム寿命
Ｋドラム：
Ｃドラム：
Ｍドラム：
Ｙドラム：

＊トナー残量
Ｋトナー：　G
Ｃトナー：　G
Ｍトナー：　G
Ｙトナー：　G

＊定着Ｕ寿命
８３％

＊ベルトＵ寿命
８６％

＊廃トナーＢｏｘ寿命
８２％

※印刷枚数…使用した用紙１枚を１カウント（両面印刷時は２カウント）として計算した値です（ライフカウンタ値とは異なります）。

CASIO

月間・年間の印刷履歴を管理したい [エコログ集計ツール]

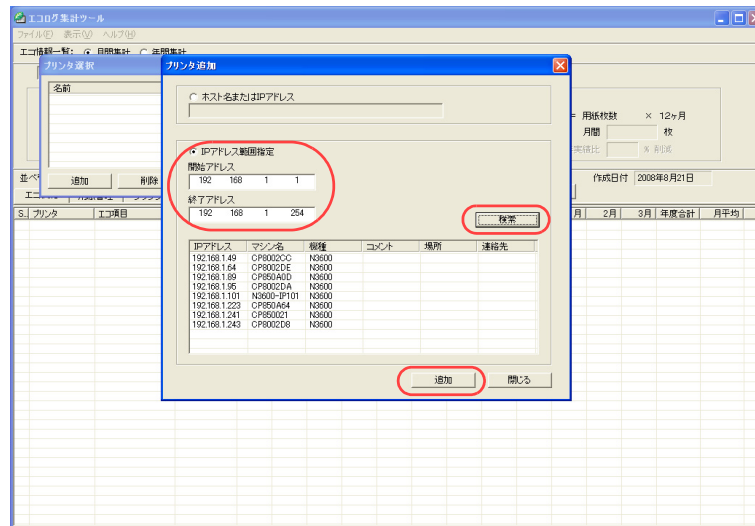
エコログ集計ツールを利用して、プリンタごとの印刷枚数、消費電力、CO_2排出量、両面印刷、マルチページ印刷、トナーセーブ印刷の利用率などの月間・年間履歴（以降これらの情報をエコログ情報と表記します）を一覧表示・印刷・データ（CSV形式）保存して管理できます。
CO_2排出量や用紙使用量の年間削減目標を設定して実績管理もできます。

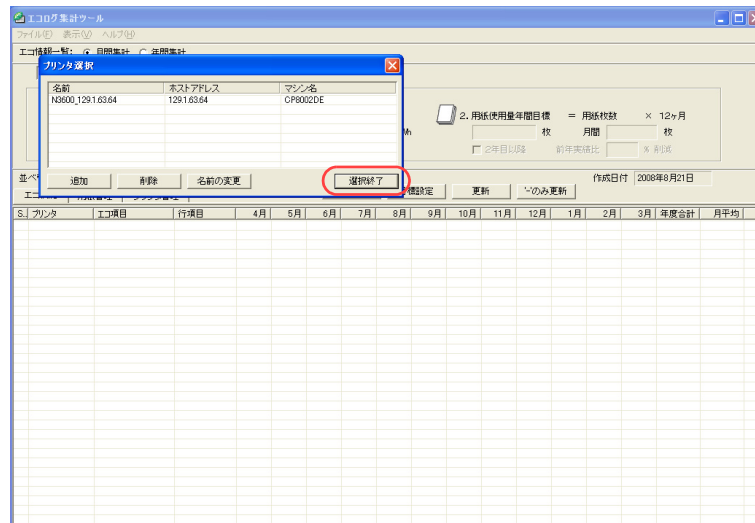
※ 使用できるOSは、次のとおりです。
OS
・Windows 2000/XP/Server2003/Vista

※ 詳しくは ☞ **エコログ集計ツール ソフトウェアマニュアル**をご覧ください。

● エコログ集計ツールを起動してプリンタを指定すると、プリンタに保存されているエコログ情報が収集（ダウンロード）されて一覧表で表示されます。

手 順

1.「スタート」メニューの「CASIO SPEEDIA」を選択して「エコログ集計ツール」をクリックし、エコログ集計ツールを起動します。

2. 初めてエコログ集計ツールを起動すると「プリンタ追加」画面が表示されます。
エコログ情報を集計するプリンタのIPアドレスの範囲を入力して「検索」ボタンをクリックします。見つかったプリンタの中からエコログ情報を収集するプリンタを選択して「追加」ボタンをクリックします。プリンタの追加が終わったら「閉じる」ボタンをクリックします。

- 複数のプリンタを「追加」することもできます。
- 「ホスト名またはIPアドレス」に直接入力して「追加」できます。
- ２回目以降の起動時は、「プリンタ追加」画面や「プリンタ選択」画面は表示されずに ☞ **エコ情報一覧画面（157 ページ）**が表示されます。

3. 「選択終了」ボタンをクリックします。

- プリンタからエコログ情報の収集が始まります。終わるまでしばらくお待ちください。

エコ情報一覧画面

エコログ情報の収集が終わるとエコ情報一覧画面が表示されます。表示内容の詳しい説明や操作方法は **エコログ集計ツール ソフトウェアマニュアル**をご覧ください。

お問い合わせ窓口

製品の修理・メンテナンスに関するお問い合わせ

修理の内容・方法・期間・費用など詳しくは下記までお問い合わせください。

0570-033066　携帯電話・PHS 等をご利用の場合　048-233-7243

製品の機能設定方法・ソフト障害に関するお問い合わせ

0570-066044　携帯電話・PHS 等をご利用の場合　048-233-7232

カシオテクノ株式会社　カスタマーコンタクトセンター

<受付時間>月曜日〜土曜日　AM9:00〜PM5:30（日･祝日･年末年始･夏期休暇等を除く）

消耗品やオプションのご購入に関するお問い合わせ

お買上の販売店および弊社営業所までお問い合わせください。

インターネット・インフォメーション

各種ドライバ類・製品情報などを提供しております。
http://casio.jp/ppr/

お問い合わせの多いご質問と答えをホームページに掲載しておりますのでご活用ください。
http://casio.jp/support/ppr/faq

SPEEDIA

プリンタ活用ガイド

2010年10月18日　第6版発行

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2
カシオ電子工業株式会社